

并TR-64

福岡縣庶務課校閱
筑後中原道夫編纂

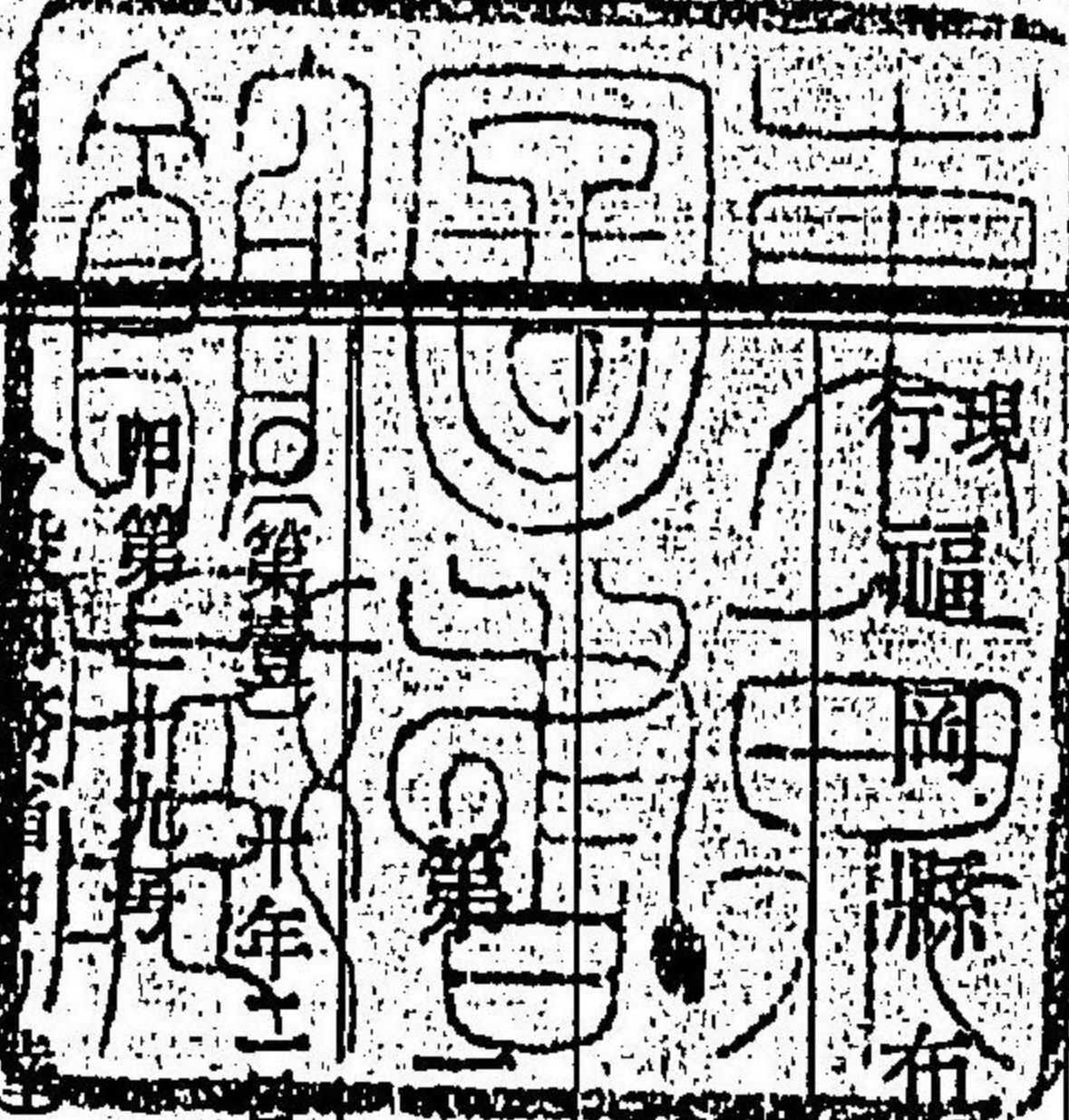
上卷

現行
福岡縣布達類聚
第貳篇

福岡
墨林舎藏版



特16
701



現 福岡縣布達類聚

第二篇 上卷

中原道夫編纂

第一欸 官廨

○(第一) 十年五月廿三日
甲第九十九号

各區々戸長

(地名ヲ云フ)警察署巡查屯所ヲ分署ト改稱シ從前之事務取扱候條此旨布達候事

○(第二) 十年七月十八日
甲第九十九号

筑前國各區

今般甘木警察署所轄宰府分署ヲ廢止更ニ御笠郡二日市村ニ分署設置候條此旨布達候事
但宰府村ニハ巡查派出所ヲ設置候事

○(第三) 十年七月十八日
甲第九十九号

久留米警察署所轄内筑後國山本郡飯田村ニ設置有之飯田分署ヲ同郡草野村ニ移シ來ル二十一日ヨリ開署草野分署ト稱シ候條此旨布達候事

第一欸 官廨

第十六欸	輸出入	百八十九丁
第十七欸	驛遞	同 丁
第十八欸	郵便	二百十丁
第十九欸	電信	二百十四丁
第二十欸	信地	同 丁
第二十一欸	園地	三百四十七丁
第二十二欸	山林	三百五十三丁
以上		

十五年第十六號ヲ以テ八屋警察署ヲ京都郡新井村ヘ移ス

○(第四) 十年十月廿五日

筆記

第四課

今般久留米小倉兩支廳相廢候ニ付同所へ警察署ヲ移轉シ事務可爲取扱候條此旨相達候事

○(第五) 十一年二月五日

甲第四十号

自今久留米柳川甘木飯塚芦屋小倉八屋ニ設置ノ各分署相廢シ該分署ノ事務該地警察署ニ於テ取扱候條此旨布達候事

○(第六) 十二年七月五日

(警)甲二号

第四課 警察署 分署

福岡警察署西町派出所ヲ廢シ更ニ福岡荒戸町ニ分署ヲ置キ荒戸分署ト相稱シ是迄西町派出所々轄ヲ管轄セシメ候條此旨相達候事

○(第七) 十三年四月廿九日

乙第五十一号

郡 區

應中警察課之儀自今警察本署ト相改メ候條爲心得此旨相達候事

○(第八) 十三年五月一日

甲第三十六号

十三年甲百五十五號ヲ以テ福岡警察署ヲ再設ス

今般警察課ヲ警察本署ト改稱シ福岡警察署ヲ廢シ警察本署ニ於テ直轄候條此旨布達候事

○(第九) 十三年九月十七日

甲第一百十八号

筑前國粕屋郡青柳分署ヲ同國宗像郡下西郷村ニ移シ福岡分署ト稱シ本月廿日ヨリ開署候條此旨布達候事

但所轄ハ従前青柳分署ノ通りニ候事

○(第十) 十三年十二月廿七日

甲第一百五拾貳号

今般福岡區ニ福岡警察署ヲ設ケ從來警察本署直轄ノ郡區ヲ管轄セシメ明治十四年一月四日ヨリ事務取扱候條此旨布達候事

但非現行犯罪ノ告訴告發ハ従前ノ通り警察本署ニナスヘキ事

第二款 官務

○(第十一) 十年六月四日

甲第七十三号

公私ノ文書ニハ總テ年号月日ヲ詳記可致旨六年六月第貳百十二号御布告之趣モ有之候ニ今尙往々年月日ノ内ヲ略記シタル文書ヲ互交候者モ有之哉ニ相聞候右ハ御布告ニ

第二款 官務

三

十年甲八十二號ヲ以テ福岡區ニ年号月日ヲ詳記可致旨六年六月第貳百十二号御布告之趣モ有之候ニ今尙往々年月日ノ内ヲ略記シタル文書ヲ互交候者モ有之哉ニ相聞候右ハ御布告ニ

背戻スル而已ナラス年月日起算又ハ編集ニ係ル分ハ其不都合不少且異日依証之爭端トモ相成候テハ不相濟儀ニ候條爾來屹度注意シ公私輕重ヲ不問如何ナル文書ニモ必ス年月日ヲ詳記可致此旨諭達候事

○(第十二) 十年七月六日

丙第六十九号

各區々戶長

公務上過誤失錯等ニヨリ進退伺始末書差出候節ハ美濃紙十三行界紙ニ認可差出此旨相達候事

○(第十三) 十年十月二日

丙第六十五号

各區々戶長

太政官第六十五号ヲ以別紙之通御達有之候條爲心得此旨相達候事

(別紙)

第六十五号

官院省使府縣

勅委任官大禮服ノ儀上下衣袴トモ黒羅紗地金飾章ノ大禮服用可致事

但朝儀ニ係リ白鼠色ノ下衣袴着用ノ節ハ其旨兼日式部寮ヨリ可及通知事

官吏通常禮服用ノ場合ハ黒若シクハ紺色ノ上服(英フロックコート)ヲ以テ換用

スルヲ得ヘシ

但判任以下ハ各廳長官ノ見込ニヨリ羽織袴ヲ以テ代用爲致不苦候事

右相達候事

明治十年九月十八日

太政大臣三條實美

○(第十四) 十年十月廿四日

乙第七十四号

各區々戶長

本年太政官第六十五号公達ニ因リ判任官以下之者通常禮服用之節ハ其時々別段相達候外羽織袴代用不苦候條爲心得此旨相達候事

○(第十五) 十一年一月十九日

廳内第十四号

各課

諸願伺ノ指令從來縣名ヲ以下附致シ來候處爾後拙者官名印ヲ署シ下附候條此旨相達候事

○(第十六) 十一年六月十二日

番外

各區々戶長

第六課ニ於テ相渡候諸費受取証用紙是迄美濃紙半紙取交相用來候處來ル七月一日ヨリ都テ半紙界紙相用候様可致尤右之趣各郵便局通運會社ヘモ無洩通知可致此段相達候事

○(第十七) 十一年十月十二日

乙第六十七号

郡區戶長

府縣官職制別冊之通被達候條此旨相達候事

第二款 官務

十七年本縣甲第百十八號ヲ以官林ニ關スル事務ハ福岡山林事ヲ示ス於テ取扱フ旨

十七年第十六號公達ヲ以月俸ノ件追加

(別冊) 第三十二号

府 縣

明治八年十一月 第貳百三十三号達府縣職制并ニ事務章程ヲ廢シ府縣官職制別冊之通被定候條此旨相達候事

明治十一年七月廿五日

太政大臣三條實美

府 縣 官 職 制

- 府 知 事 一 人
- 縣 令 一 人
- 第一 府知事縣令ハ部内ノ行政事務ヲ總理シ法律及ヒ政府ノ命令ヲ執行スルヲ掌ル
- 第二 府知事縣令ハ内務卿ノ監督ニ屬スト雖モ各省主任ノ事務ニ就テハ各省卿ノ指揮ヲ受ク
- 第三 府知事縣令ハ法律及政府ノ命令ヲ執行スル爲ニ要用ナリトスルトキハ其實施ノ順序ヲ設ケ部内ニ布達シ及ヒ其適宜處分ヲ許サレタル事件ニ就テハ規則ヲ設立シテ部内ニ布達スルヲ得而シテ後直チニ各省主務ノ卿ニ報告スベシ
- 第四 府知事縣令ノ布達若クハ處分法律若クハ政府ノ命令ト相背キ又ハ權限ヲ侵シタルトキハ太政大臣若クハ各省主務ノ卿ヨリ取消ヲ命セラルハコトアルヘシ
- 第五 府知事縣令行政事務ニ就キ主務ノ卿ニ稟請シ指揮ヲ待テ處分スヘキ者ハ別

ニ定ムル規則ニ從フヘシ

- 第六 府知事縣令ハ地方稅ヲ徵收シテ部内之支費ニ充ツルヲ得而シテ其豫算決算ヲ具ヘテ内務卿大藏卿ニ報告スルヲ要ス其府會縣會アル地方ハ之ヲ會議ニ附スヘシ
- 第七 府知事縣令ハ屬官ヲ判任進退シ其分課ヲ命ス
- 第八 府知事縣令ハ郡長以下郡ノ吏員ヲ判任進退シ郡務ヲ指揮監督ス
- 第九 府知事縣令ハ非常事變アレハ鎮臺若クハ分營ノ將校ニ通議シテ便宜處分スルヲ得
- 第十 府知事縣令ハ府會縣會ヲ召集シ及ヒ其會議ヲ中止スルヲ得
- 第十一 府知事縣令ハ議案ヲ發シテ府會縣會ニ付シ決議ノ後之ヲ認可シ或ハ認可セサルヲ得
- 大書記官 少書記官 (府ハ大少各一員ヲ置キ縣ハ大少ノ内一人ヲ置ク開港所ノ縣事務繁劇ナルハ上請ニ依リ府ト同ク各一員ヲ置クヲ許ス)
- 第一 書記官ハ府知事縣令ヲ輔ケテ部内ノ行政事務ヲ參判スルコトヲ掌ル
- 第二 府知事縣令不在ノ時又ハ事故アルハ書記官ハ代理ノ任ヲ受ク
- 屬 (一等ヨリ十等ニ至ル)
- 屬ハ事ヲ府知事縣令ニ受ク庶務ヲ分掌ス

第二款 官務

十四年第九十九號公達ヲ以總部長ノ件追加
十七年第四十八號公達ヲ以稅收長ノ件追加

十三年第六十一號ヲ以テ(第三十五)社寺創立云々ノ件)追加
十四年第三十八號ヲ以テ(第三十六)開墾地云々ノ件)追加

- 第十六 酒類ノ稅率ニ用ユル價ヲ定ムル事
- 第十七 官用ノ爲メ土地ヲ買上ル事
- 第十八 社寺除稅地ノ境域ヲ更正スル事
- 第十九 官林拂下ケノ事
- 第二十 官民有禁伐林ノ事
- 第二十一 森林地及竹木官民有ノ區別ヲ定ムル事
- 第二十二 鑛山借區境界ノ事
- 第二十三 鑛山借區稅猶豫并ニ減免ノ事
- 第二十四 坑法違犯ノ者處分ノ事
- 第二十五 舊金銀貨及通貨損傷ノモノヲ交換スル事
- 第二十六 外國人内地旅行ノ事
- 第二十七 外國人居留地外住居ノ事
- 第二十八 居留地々所外國人へ競貸ノ事
- 第二十九 内外人結婚願ヲ許可スル事
- 第三十 學校補助金ヲ例規外支消スル事
- 第三十一 私立學校ヲ停止スル事
- 第三十二 府知事縣令ノ名ヲ以テ外國人ト條約ヲ結ブ事
- 第三十三 府知事縣令ノ名ヲ以テ官金辨償トナルヘキ貸借ノ契約ヲナス事
- 第三十四 例規ナキ恩典ヲ施行スル事

- 一 布告布達々指令ヲ以テ專任サレタル事件并ニ定規成則アルノ事件ハ地方官各自ノ責任ヲ以テ處分シ上司ニ稟請スルノ例ニアラス其例規ニヨリ難キ事情アリテ特別ノ處分要スルモノニ限リ理由ヲ具シ申請スルヲ得
- 一 諸會社設立願諸鑛開採圖書板權願賣藥願等ノ條例規則ニ依リ地方官ヲ經由スル者ハ府縣掌管ノ事務各省ニ稟請スルノ類ト同シカラザルヲ以テ知事令ハ事實ヲ公証スル爲ニ與書若クハ加印シテ主務ノ省ニ進達スルモノトス
- 一 嗣後發行スル法律規則中ノ條件府縣長官ノ上司ニ稟請シテ然ル後處分スヘキモノハ每件明文ヲ掲クヘシ
- 一 事重大ニ屬シ例規ナキモノ及非常ノ事件ヲ除クノ外凡ソ地方ノ常務前條ニ掲載セサル條件ハ地方長官ノ便宜處分シテ後ニ報告スルヲ許ス

戶長職務ノ概目

- 第一 布告布達々町村内ニ示ス事
- 第二 地租及諸稅ヲ取纏メ上納スル事
- 第三 戶籍之事
- 第四 徵兵下調之事
- 第五 地所建物船舶質入書入并ニ賣賣ニ與書加印之事
- 第六 地券臺帳之事
- 第七 迷子拾兒及ヒ行旅病人變死人其他事變アル片ハ警察署ニ報知之事

第二款 官務

- 第八 天災又ハ非常ノ難ニ遭ヒ目下窮迫ノ者ヲ具狀スル事
 - 第九 孝子節婦其他篤行ノ者ヲ具狀スル事
 - 第十 町村内ノ幼童就學勸誘ノ事
 - 第十一 町村内ノ人民ノ印影簿ヲ整置スル事
 - 第十二 諸帳簿保存管守ノ事
 - 第十三 官費府縣費ニ係ル河港道路堤防橋梁其他修繕保存スベキ物ニ就キ利害ヲ具狀スル事
- 右之外府知事縣令又ハ郡區長ヨリ命令スル所ノ事務ハ規則又ハ命令ニ依テ從事スヘキ事
- 其他町村限リ道路橋梁用惡水ノ修繕掃除等凡ソ協議費ヲ以テ支辨スル事件ヲ幹理スルハ此ニ掲クル所ノ限ニアラス

- 地方ノ事務郡區長ニ於テ處分シテ後知事令ニ報告スルヲ得ルモノ左ノ件々トス
- 第壹 徵稅并ニ地方稅徵收及不納者處分ノ事
 - 第貳 徵兵取調ノ事
 - 第三 身代限財產取扱ノ事
 - 第四 逃亡死亡絶家ノ財產處分ノ事
 - 第五 官有地ノ倒木枯木ヲ賣却スル事

- 第六 電線道路田畑水利ニ障礙アル官有樹木ヲ伐採スル事
 - 第七 河岸地借地檢査ノ事
 - 第八 職遊獵願威銃願ノ事
 - 第九 印紙紙賣買捌願ノ事
 - 第十 小學校資金ノ事
- 右之外府知事縣令ヨリ特ニ委任スル條件

十二年五月三日付
以但書追加

○(第十八) 十二年二月廿二日
應内第三十六号

各 課

從來各課ニ於テ管内各郡區ニ出張或ハ巡回等ノ節其出先キニ於テ酒造賣藥其他都テ諸規則違犯ノ者ヲ發顯スルルハ其所轄警察署ヘハ報知セスシテ歸廳ノ後第四課ヘ告發スルノ慣例ニ候處右ニテハ無益ノ手數ヲ費シ取調上實際差問不少就中酒造犯則者ノ如キハ時日遷延候テハ自然現物腐敗等ノ恐モ有之旁不都合ニ付爾來其出先キニ於テ諸犯則ノ者ヲ發顯スルルハ直ニ其所轄警察署ヘ告發可致此旨爲心得相違候事

○(第十九) 十二年五月三日
應内第八十五号

各 課

本年二月廿二日付ヲ以テ諸犯則者發見ノ節ハ所轄警察署ヘ告發可致旨相違置候處左之通但書追加候條此旨相違候事

但福岡警察署所轄内ニ於テハ直ニ第四課ヘ告發可致候事

第二款 官務

○(第二十) 十二年五月廿七日
廳内第百五号

各課

諸建白書ハ渾テ第一課ニ於テ取扱爲致候ニ付テハ若シ其建白書之事項ニ依リ同課ヨリ直ニ主務課ノ意見ヲ質問候儀モ可有之候條爲心得此旨相達候事

○(第廿壹) 十三年一月十五日
乙第十一号

郡區

廳中從來之課名ヲ改メ左之通相定ノ候條爲心得此旨相達候事
但分科名ハ從來之通

- 庶務課 元第一課
- 勸業課 同第二課
- 租稅課 同第三課
- 警察課 同第四課
- 學務課 同第五課
- 衛生課 新置
- 出納課 同第六課

○(第廿貳) 十三年二月十六日
廳内第百五号

各課長

各官員早出晚退手當金相廢候條自今左ノ通可相心得此旨相達候事

一出廳時限ヨリ一時間前ニ出頭シ退廳時限后四時間以上居殘休暇ナク事務ニ從事シ
一月以上ニ及フモノハ其事由官姓名及ヒ日數ヲ記シ庶務課記録科ニ申告スヘシ
一前項ノ者ニシテ一月以上ニ及ハサル者ハ申告ニ及ハスト雖モ其十五日以上ニ及フ
一再度ニ至ル者ハ前項ノ例ニ因リ同科ヘ申告スヘシ

○(第廿三) 十三年三月十七日
廳内第百三号

警察課 出納課

貸坐敷娼妓賦金之儀出納課ニ於テ徵収管理可致旨相達置候處是迄ノ如ク警察課ニ於テ徵収シ出納課ニ於テ管理可致此旨更ニ相達候事

○(第廿四) 十三年十二月廿七日
廳内第七十号

庶務課 勸業課
租稅課 學務課
衛生課 出納課

自今管内巡回之節止宿所之儀參照之筋有之候條左之雜形ニ倣ヒ旅費請取方申立之時
ニ出納課ヘ可差出該課ニ於テハ点檢濟ノ上之ヲ庶務課ヘ交付備置クヘシ此旨相達候
事
但現時巡回之向ヘハ各課ヨリ此旨通スヘシ

第二款 官務

雜形

何月何日何村巡回

止宿

何郡何村何番地何職業

誰某方

何月何日滞在或ハ何々村
巡回歸着

右同人方

以下倣之

右之通相違無之候也。
年月日

官等姓名

第三款 巡幸

現行ノ記スヘキモノナシ

第四款 祭祀佳節

○(第廿五) 十年一月十五日

甲第十一号

日章旗掲擧之儀ハ所ニヨリ區々ニ相成候テハ不都合ニ付自今左ノ御祭日御祝日ニハ
毎日掲擧奉祝可致此旨更ニ布達候事

一月一日ヨリ三日迄

新年宴會

孝明天皇祭

紀元節

神武天皇祭

神嘗祭

天皇長節

新嘗祭

○(第廿六) 十一年六月十九日

甲第四百十一号

綏靖天皇以下後櫻町院天皇迄御歷代御式年御正辰祭共被廢更ニ春秋二季祭ヲ被置神
武天皇御正席トシ先帝迄御歷代并ニ后妃以下皇親御合祭被執行旨被相達候右ニ付明
治六年太政官第三百四拾四号布告休暇日ヘ左之春秋二季祭日ヲ被加候條此旨布達候
事

但神武天皇及ヒ後桃園院天皇以下御近陵御式年御正辰祭并ニ其后妃皇親御配享ノ
儀ハ尙從前ノ通被執行候事

春季皇靈祭

春分日

秋季皇靈祭

秋分日

○(第廿七) 十一年十月廿六日

乙第四百廿八号

郡區長

第四款 祭祀佳節

十三年乙百五十九號
ヲ以用紙美濃紙等
ヲ可用云々ヲ示ス

新年賀正ヲ初メ拜賀之節郡區書記ニ至ル迄別紙書式ニ準シ賀表可差出此旨相達候事

(別紙)

奉書ニツ折ニテ横トテ 賀表書式

謹奉賀	新年	一月一日郡區長位苗字名	郡區書記位苗字名	同	同	同
-----	----	-------------	----------	---	---	---

天長節紀元節書式上ニ同シ

○(第廿八) 十三年十二月二十二日
乙第百五十九号

郡區

賀表用紙之儀明治十一年乙第百廿八号ヲ以テ相達置候處自今美濃紙薄葉等可相用此旨相達候事

但シ本文用紙之儀非役勳七等以下同正七位以下之輩へモ可相達候事

○(第廿九) 十一年十二月廿一日
乙第百九十四号

郡區

毎年一月三十日 孝明天皇祭ヲ始メ左ニ記載ノ祭祝日該役所ニ於テ其都度々々便宜遙拜式執行可致此旨相達候事

孝明天皇祭

一月三十日

紀元節

二月十一日

神武天皇祭

四月三日

神嘗祭

九月十七日

○(第三十) 十二年五月十日

郡區

乙第百八十六号
明治十一年太政官第三十六号布告第二項非役勳七等以下同正七位以下ハ其身所在ノ地方應ニ參賀スヘシト有之候得共地方應遠隔之地ニ在住或ハ寄留之輩ハ賀表ノニ縣廳へ差出候共不苦旨其筋ヨリ被達候條爲心得右以下ノ輩へ可相達此旨相達候事

○(第卅壹) 十二年十月廿二日

郡區

乙第百八十二号
帶勳有位之輩新年并紀元節天長節參賀之儀客年第三十六号ヲ以テ公布ニ相成候條非役勳七等以下同正七位以下之者本廳へ參賀可致處遠隔之地へ居住候者ハ所在之郡區役所ヲ經テ別紙書式之通賀表差出シ候テモ不苦候條此旨帶勳者へ可相達候事

十二年乙百八十二號
及十四年乙七十八號
參照スヘシ

第四款 祭祀佳節

賀表書式
奉書紙

謹奉賀 新年	一月一日 官位勲等苗字名
-----------	--------------

謹奉賀 紀元節	二月十一日 官位勲等苗字名
------------	---------------

謹奉賀 天長節	十一月三日 官位勲等苗字名
------------	---------------

○(第卅貳) 十二年六月十三日

筆記

每年六月十二日末日大祓式日國幣社英彦山神社へ縣官參向致來候處以後ハ郡長或ハ郡書記之内參向可致此旨相達候事

田川郡

每年六月十二日末日大祓式日國幣社高良神社へ縣官參向致來候處以下前同文

御井御原山本郡

每年六月十二日末日大祓式日國幣社太宰府神社へ云々以下前同文

御笠那珂席田郡

每年六月十二日末日大祓式日國幣社宗像神社へ云々以下前同文

宗像郡

每年六月十二日末日大祓式日國幣社香椎宮へ云々以下前同文

精屋郡

第五款 任免

現行ノ記載スヘキモノナシ

第六款 分畫

町村分合改稱

○(第卅三) 十年十二月十一日

甲第貳百三號

豊前國小倉警察署所屬赤池分署ヲ相發シ同國第二大區六小區一圓及ヒ五小區ノ内大能金田糸田宮床ノ四ヶ村共香春分署ニ於テ所轄セシメ候條右所轄内ニナイテ盜難遺失其他止宿届等惣テ警察上ニ關スル諸件ハ從前ノ手續ヲ以テ該分署へ可届出此旨布達候事

○(第卅四) 十一年一月十二日

筆記

豊前國第一大區々戶長

豊前國小倉警察署所轄内同第一大區四小區下曾根ニ警察分署ヲ置キ之ヲ曾根分署ト相稱シ同國第一大區四小區一圓同三小區ノ内沼吉志吉田下吉田恒見葛原葛原新町湯川ノ八ヶ村町及ヒ同五小區ノ内水町上横代下横代蜷田上石田下石田隱襲丸ヶ口堀越

第五款 任免 第六款 分畫

ノ九ヶ村町ヲ分轄セシメ來ル十五日ヨリ開署事務爲取扱候條右所轄内ニ於テ盜難遺失其他止宿届等總テ警察上ニ關スル諸件ハ從來ノ手續ヲ以テ該分署へ可届出様可致此旨相達候事

○〔第卅五〕 十一年一月十九日

筆記

筑後國第一調所區戶長

今般詮議之次第有之八丁島分署ヲ廢止シ右所轄村々別紙之通久留米及松崎分署持區ト相定候條此旨相達候事

福岡縣筑後國第十四大區二小區

赤司村

稻敷村

仁王丸村

中島村

塚島村

千代島村

陣屋村

中島村

今山村

十郎丸村

高良村

鳥巢村

平方村

光行村

同縣同國第十四大區三小區

鳥巢村

下西鰐坂村

八坂村

同縣同國第十四大區三小區

上西鰐坂村

右ノ拾七ヶ村松崎分署へ分轄

石崎村

上弓削村

同縣同國第十四大區二小區

赤川村

宮瀬村

同縣同國第十四大區三小區

大杜村

若松村

八丁島村

五郎丸村

大杜村

右ノ八ヶ村久留米分署へ分轄

○〔第卅六〕 十一年十月十二日

甲第百九拾八号

筑後國三潞郡ノ内左ノ町村同國御井郡へ編入相成候條此旨布達候事

片原町

鍛冶屋町

米屋町

兩替町

吳服町

細工町

築島町

同新町

今町

田町

洗島町

京町

瀬ノ下町

芋抜川町

庄島町

裏町

魚屋町

原古賀町

小頭町

裏町

以上拾九ヶ村

長門石村

大石村

白山村

梅滿村

西久留米村

以上五ヶ村

○〔第卅七〕 十一年十月十二日

甲第百九拾九号

本年第十七号布告ニ依リ郡區分邊及ヒ郡區役所位置別冊之通相定候條此旨布達候事

(別冊)

十四年甲十六號ヲ以改正
同年甲百一號ヲ以復舊

福岡縣郡區分畫及ヒ郡區役所位置
福岡區 區役所 福岡天神ノ丁

橋口町	大名丁	東小性町	鐵砲町	雁林ノ丁	須崎裏町	材木町	吳服町	魚湊町	東湊町	谷人町	濱人町	大圓寺丁	西地行下町	地行下町	大乘寺前町	下辻堂町
下名島町	土手ノ丁	藥院堀端	藥院町	西小性町	極樂寺町	萬西職人町	大工町	西湊町	伊崎村	東唐人町	西唐人町	地行東町	瓦町	上祇園町	馬場新町	
天神ノ丁	小島馬場	藥院東川端	紺屋町	林毛	船津町	上名島町	本	箕子町	南湊町	荒戸町	舛木屋町	西唐人町山ノ上	地行西町	社家町	下祇園町	御供所町
因幡町	藥研丁	同西川端	養巴丁	須崎土手丁	鍛冶町	東職人町	濱ノ町	船湊町	北湊町	荒戸村	東唐人町堀端	新大工町	地行川端	今熊町	上辻堂町	金屋小路

十四年甲廿九號ヲ以
假屋町ヲ(小金町)ト改稱

第六款 分畫

北舟町	上小山町	上興堂町	櫛田前町	下厨子町	上店屋町	下魚町	下新川端町	片土居町	上西町	上東町	濱ノ小路	妙樂寺新町	上對馬小路	下鱒町	中豎町	上濱口町	中石堂町	中市小路
上普賢堂町	下小山町	中興堂町	上赤間町	竹若町	下店屋町	中下小路	川端町	上土居町	下西町	下東町	西方寺前町	麴屋町	中對馬小路	上州崎町	下豎町	中濱口町	仲間町	下市小路
下普賢堂町	上桶屋町	下興堂町	下赤間町	箔屋町	上魚町	西門町	中島町	中土居町	上吳服町	蓮池町	古門戸町	橋口町	下對馬小路	下州崎町	柳下濱口町	綱場町	藏本町	
寺中町	下桶屋町	萬行寺前町	上厨子町	古小路	中魚町	上新川端町	川口町	下土居町	下吳服町	行妙樂寺町	掛町	上鱒町	上豎町	假屋町	官内町	上市小路	奈良屋町	

十四年甲百十三號ヲ以同郡東郷村ニ移轉

十二年甲十七號ヲ以京郡那行事村ニ移轉

十五年第八號ヲ以同郡生岩村ニ移轉

釜屋町 芥屋町 上金屋町
 金屋町横町 鏡 町 奧小路
 釜堂町 大濱町一丁目 同二丁目
 同四丁目 同三丁目

上城郡	仲津郡	企救郡	早志郡	怡麻郡	那珂郡	御座郡	夜須郡	上麻郡	穂波郡	鞍手郡	遠賀郡	宗像郡	糟屋郡
郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所
上毛郡八屋村	仲津郡大橋村	企救郡小倉町	志摩郡今宿	那珂郡井相田村	夜須郡甘木村	穂波郡飯塚村	鞍手郡直方村	遠賀郡藍屋村	宗像郡赤間村	糟屋郡箱崎村	糟屋郡箱崎村	糟屋郡箱崎村	糟屋郡箱崎村

田川郡	生葉郡	御井郡	山本郡	三瀬郡	上妻郡	山門郡	三池郡
郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所	郡役所
田川郡香春村	生葉郡吉井村	御井郡久留米	三瀬郡宮本村	上妻郡福島村	山門郡柳川	三池郡三池町	三池郡三池町

○(第卅八) 十二年七月廿四日

筆記

御等那珂席田郡

筒井分署持區左之村々今般福岡警察署直轄ニ屬セシメ候條自今警察ニ關スル諸願伺届等ハ總テ同署へ可爲差出此旨相達候事

那珂郡	清水平村	東堅粕村	住吉村	塩原村	西堅粕村	平尾村	那珂村	松園村	高宮村	野間村	東光寺村	比惠村
-----	------	------	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

○(第三十九) 十二年七月廿四日

筆記

怡土志摩早良郡

姪濱分署持區左之村々今般荒戸分署持區ニ屬セシメ候條自今警察ニ關スル諸願伺届

第六款 分畫

二十七

等ハ總子同署ハ可爲差出此旨相達候事

早良郡 田島村 荒江村 鹿原村

○〔第四十〕 十三年一月九日

甲第壹號

筑前國那珂郡外二郡村々左之通組替候條此旨布達候事

筑前國那珂郡 志賀島村 勝馬村

右筑前國糟屋郡へ組替

筑後國下妻郡 廣瀬村 小田村 長田村

坂田村 文廣村 本郷村

右筑後國山門郡へ組替

筑後國竹野郡 三川村

右筑後國御井郡へ組替

第七款 郡區廢

○〔第四十壹〕 十一年十一月廿二日

筆記

區務所相廢候條諸願伺屆等第一課受付掛へ可差出此旨相達候事

○〔第四十貳〕 十一年十一月廿五日

筆記

郡區

本年乙第百五拾貳号達ニ依リ取設候町村戸長ノ事務取扱所ハ町役場村役場ト可稱爲
心得此旨相達候事

○〔第四十三〕 十二年二月十七日

甲第十七号

京都郡仲津郡々役所是迄仲津郡津大橋村へ設置候處今般京都郡行事村へ移轉候條此旨
布達候事

第八款 郡區務

○〔第四十四〕 十年六月廿一日

筆記

各區々長

爾來區吏等ノ撰舉書ハ封書ニシテ可差出此旨相達候事

○〔第四十五〕 十年六月廿六日

番外

各區々長

戸長以下吏員之任免黜陟ヲ具狀スルニ徃々伺文体ヲ以テ差出候向モ有之不都合ニ候
條以來上申之文體ヲ以テ具狀可致此旨内達候事

○〔第四十六〕 十年八月八日

第七款 區郡廢 第八款 郡區務

乙百五十二號違ハ郡
區務ノ御ニ在リ

乙第三十四号

各區々戸長

各區々長以下所勞等ニテ欠勤届方ノ儀左ノ通り相定候條此旨相達候事
區戸長病氣不參ハ當日午前第十時迄ニ其由ヲ調所及ヒ扱所ニ申報スヘシ尤二日迄ハ
毎日届出三日ニ至リ出勤スヘカラスト見込片ハ其趣ヲ詳記シテ届出不參十日ニ及フ
片ハ更ニ醫証ヲ添へ届出其調所並ニ扱所ヨリハ之ヲ(扱所ハ調所ヲ經テ)縣廳へ進達
シ自後十日毎ニ醫証差出スヘシ進達方ハ前ニ同シ
但書役ノ義ハ届方本文ニ倣ヒ其十日以上ニ及フ片各扱所ハ之ヲ調所ニ届出ヘシ縣
廳ニ差出ニ及ハス

○(第四十七) 十年九月廿七日

乙第五十九号

各區々戸長

各警察署及分署等ヨリ原籍其他取調之儀相達候節調所扱所等ノ名義ヲ以テ書面差出
ス向キ有之右ハ差支之筋不少候條以來ハ總テ謹肅ニ認メ正副區戸長ノ職姓名ヲ記載
シ實印ヲ捺シ可差出此旨相達候事
但伺届書等ノ義モ本文ニ準シ及ヒ用紙ハ美濃十三行罫紙ニ可認候事

○(第四十八) 十一年十一月五日

乙第百三十八号

郡 區 長

郡區吏員用筆墨ノ儀ハ代料ヲ以テ支給候條書記事務ノ者ハ一ヶ月一人金貳十五錢
其他ハ一人金十二錢五厘ツ、月々渡方可取計此旨相達候事

但其月上半月内ニ免職ノ者ハ半額下半年ニ係ル者ハ全額ヲ給ス新任モ亦此例ニ依
テ給スベシ

○(第四十九) 十一年十一月九日

乙第百四拾八号

郡 區

郡區長以下辨當料支給方左ノ通相定候條此旨相達候事
一郡區役所事務繁劇又ハ差掛調物等ニテ退廳午後八時ヲ過レハ辨當料金三錢五厘ヲ
給シ夜十二時ヲ過レハ二度徹夜ハ翌朝分共三度ヲ給ス小使ハ貳錢五厘ヲ給ス
但代料又ハ現物ニテ交付スル儀ハ其役所ノ適宜タルヘシ
一宿直ノ郡書記以下ハ其夕翌朝兩度金七錢ヲ小使ハ五錢ヲ給ス
但宿直ノ小使等夜中使役有之共別段辨當料ヲ給セサルヘシ
一不寐番ノ者ハ朝夕并夜中辨當料共都合三度分ヲ給ス

○(第五十) 十一年十一月十三日

乙第百五十四号

郡 區

町村戸長其職務上ノ失錯アルカ若クハ其職ニ堪ヘサル者アレバ郡區長之レヲ具狀ス
ルヲ得此旨相達候事

○(第五十一) 十一年十一月十六日

乙第百六十号

郡 區

第八款 郡區務

十二年丙百三十七號ヲ以規則ノ變換成ハ増減アルトモ取扱條例ハ別段不相違旨ヲ示ス(第五十八)參照

本年乙第百十七号達中及乙第百十九号乙第百三十号達郡區長事務取扱手續別冊之通ニ候條此旨可相心得事

(別冊)

乙第百十七号達中郡區長事務取扱手續

第一徵稅並地方稅徵收及不納者處分ノ事

國稅及地方稅ヲ徵收スルハ諸稅徵收取扱條例ニ依リ處分ス若シ不納者アレバ明治十年太政官第七十九号公布及十一年大藏省乙第七号達全年內務省乙第三十八号達ニ照シ同年縣廳乙第百五十九号達公賣處分條例ニ依リ處分シ其都度縣廳へ届出スベシ

第二徵兵取調ノ事

徵兵令ニヨリ徵兵適齡及免役人名書ヲ町村戸長ヨリ取纏テ進達セシメ其當否ヲ調査シ成規ニ依リ下檢査ヲ爲シ徵兵連名簿并免役連名簿ヲ製シ該年十一月十五日限リ縣廳へ進達スベシ國民軍相當人名書ヲ進達セシメバ其當否ヲ調査シ國民軍名簿ヲ加除シ毎年同令參考第廿八條ニ照シ國民軍人員表ヲ調製シ翌年一月十五日限リ縣廳へ進達スベシ

第三身代限財產取扱之事

郡區內人民身代限リノ裁判ヲ受クル者アルハ成規ニヨリ本人所有ノ動不動產及其所有物品他ニ貸付アルヤ否其証書等ヲ調査シ抵當品ト不抵當品ヲ區分シ裁判所ニ進達シ而シテ揭示滿期ニ至リ裁判所ヨリ通知ノ旨ニ依リ其財產分配及糶賣等ノ

處分スヘシ

但シ本人ニ係リ國稅及地方稅等ノ不納アルハ裁判揭示日限內不納金員仕譯書ヲ以テ該裁判所へ通知シ該金員ハ成規ノ通り請求スベシ且諸貸下金ノ不納アルハ亦右ニ準ス

第四逃亡死亡絶家之財產處分ノ事

管財人アラザル失踪者アルハ其町村戸長ヲシテ其家ニ就キ其親戚或ハ隣保ノ者ヲシテ立會遺留ノ財產ヲ点檢セシメ逃亡後三十六ヶ月ハ戸長ニ於テ其財產ヲ保管セシメ而シテ後猶失踪人ノ所在分明ナラザルハ其家ニ係ル貸借出入等遺留ノ財產ヲ以テ處辨シ失踪人其齡八十歳ヲ超ヘ尙復歸セザルハ其物品ハ町村協議ニ付シ適宜處分スヘシ若シ租稅上納スベキ金員アルハ三十六ヶ月以内ト雖モ其遺留金ヨリ徵收シ不足スレバ明治十年太政官第七十九号公布ニ依リ處分シ其都度縣廳へ届出スヘシ相續人其死亡スル者アリ家名全ク斷絶シ其遺留財產引受ル親戚ナキハ八町内戸長ヲシテ其親戚又ハ隣保者ヲ立合點檢セシメ租稅及返納スヘキ金員アルハ其遺留財產ヨリ徵收上納及ヒ埋葬費等ヲ支辨シ次ニ貸借出入ノ金員ヲ差引計算シ剩餘アレバ町村協議ニ付シ適宜處分スヘシ租稅金不足スルハ成規ニヨリ公賣ノ處分ヲナス又負債等返辨金ニ不足スレバ身代限リノ手續ヲ爲シ其都度縣廳へ届出ヘシ

第五官有地ノ倒木枯木ヲ賣却スル事

官有地ノ倒木枯木アルハ明治八年內務省乙第十八号達ニ照シ公賣ノ處分ヲナシ

第八款 郡區務

十三年乙四十二號ヲ以但書刪除

其代金ハ六ヶ月纏メテ以テ翌月十日限り縣廳へ上納スベシ

但官林盜伐又ハ風火靈災等ニテ多數ノ損木アルハ其都度縣廳へ届出スベシ

第六電線道路田畑水利ニ障礙アル官有樹木ヲ伐採スル事

電線道路田畑水利へ障礙アルヲ通知アレバ其實地ヲ檢査シ伐採公賣ノ處分ヲナシ

其代金ハ六ヶ月纏メテ以テ翌月十日限り縣廳へ上納スベシ

第七河岸地借地檢査ノ事

河岸地ニ於テ物揚場又ハ竹木置場屋舎架設ニ付借地願出ルモノアレバ實地ヲ檢査

シ該地ノ形況ニ就キ妨害ノ有無ヲ詳細記載セル意見書并書圖面ヲ添へ直チニ縣廳

へ進達スベシ

第八職遊獵願威銃願之事

職遊獵願出ル者アルハ明治十年太政官第十一号公布ニ照シ十一年縣廳乙第百三

十九号達職遊獵取扱條例ニ依リ處分スヘシ威銃願出ル者アルハ十年第二百五号

公布鳥獸獵規則第七條等ニ照シ其簡所及期限ヲ調査處分スヘシ但職遊獵獵札ハ一

期內入用高凡積リテ以テ縣廳ヨリ受取り威銃獵札ハ從前縣廳ヨリ下付ノ獵札ニ準

シ郡區役所ニ於テ調製スベシ

第九印紙紙質捌願之事

印紙紙質捌願ハ十一年縣廳乙第百三十九号達印紙紙質取扱條例ニ依リ處分スベ

第十小學校資金ノ事

十三年十月五日付
以二百五號ヲ(十一
號)ト正誤

十一年乙百八十八號
ヲ以テ乙百三十九號
ナ(百三十六號)ト正
誤

郡區内各小學校ノ資金ヲ監督シ及ヒ資金或ハ土地書籍器械等ノ寄附願出ル者アレ
バ之レヲ受理シ本年縣廳乙第四百一十一号達ヲ參看處分スベシ

乙第百十九号全百三十二号達郡區長事務取扱手續

一 棄兒養育ノ事ヲ例規ニ依リ處分スル

棄兒養育ノ事ヲ届出ツル者アルハ明治六年第百三十八号公達ニ依リ當日ヨリ棄

兒年齡滿十三年迄養育米トシテ一ヶ年七斗ノ割ヲ以テ三ヶ月括テ以テ之ヲ支給シ

總テ其増減異動ハ三ヶ月纏メ三月六、九月、十二月ヲ以テ縣廳へ届出スヘシ

棄兒年齡不分明ナルハ其戸長並ニ隣保ノ者立會明治六年第三十六号公布ニ照シ

其年齡ヲ定ムヘシ自費養育ヲ届出ルモノアルハ其養育米代價年々其所平均下米

相場ヲ積算シ置キ棄兒滿十三年ニ至リ詳細具狀セシメ添書ヲ以テ縣廳へ進達スベ

シ

○ 參考書類左ノ通り

一 太政官明治四年六月廿日六年三百四十号七年內務省乙第五十七号九年全省乙第

七十五号十年全省乙四十三号乙第六十四号本年縣廳乙第百三十九号等ナリ

一 難破船及ヒ漂流物取扱ノ事ヲ例規ニ依リ處分スル事

難破船アルヲ届出ル者アレバ浦役人ヲシテ明治八年太政官第六十六号難破船漂着

物取扱規則第一條ヨリ第二十八條ニ照シ處分シ從前管内民費ヲ以テ仕拂ノ分ハ郡

區役所備金ノ内ヲ以テ支辨ス若シ乗組人滞在中衣食費并ニ歸國旅費等ヲ借受ケ度

十三年八月廿六日付
ヲ以テ詳密取調方ヲ示
ス(第五十四)參照

十一年乙百九十一號
ヲ以更正(第五十三號)
參照

十六年甲第五十三號
ヲ以行旅人救護規則
ヲ定ム

願出ル者アレバ事實ヲ調査シ本人ヨリ証書ヲ徴シ浦役人ヨリ直チニ貸渡シ同則第十九條手續ヲ尽サシムベシ若シ浦役人操替金ナキハ郡區役所備金ヲ以テ貸渡スベシ此場合ニ於テハ本籍へ照會ノ上取計ヒ六ヶ月纏メテ以テ縣廳へ届出ツベシ但シ警察官ノ救護ヲ受ケ檢視ヲ要スル等ノ如キハ從前ノ通りタルベシ
○漂着物及乗組人ナキ漂着船アレバ規則第十九條ヨリ第三十八條ニ依リ處分ス其物品遺失物又ハ脏物ニ係ルノモハ直ニ最寄警察署又ハ分署へ報告シ物品ヲ交付スベシ
都テ内外國船難破員數届ハ明治七年太政官第四百十号ニ依リ一ヶ年分ヲ取纏メ翌年一月三十一日限り縣廳へ届出ツベシ
○參考書類左ノ通り

一太政官明治三年二月廿九日四年四月二十二日八年第七十号十年第廿九号布告等ナリ

一行旅病人變死行倒人ノ事ヲ例規ニ依リ取扱フ事

行旅病人アルチ届出ツル者アレバ速ニ醫療ノ手當ヲナシ厚ク看護ヲ加ヘシメ若シ病人原籍へ遞送願出レバ大藏省明治六年第五十二号達ニ依リ其管廳へ原籍照會回答ノ上添輪并ニ順路宿驛へノ送狀及ヒ途中入費練替簿ヲ製シ遞送スベシ但復籍人護送取扱手續ヲ參看スベシ

行旅人病死又ハ變死人アルキハ警察官吏檢視了リ而シテ親戚へ遺骸引渡シ引取人ナキ并ハ仮埋ヲナシ其原籍へ遺骸受取及ヒ入費償却方ヲ管廳ニ照會スベシ若シ原籍不分明ノモノアレバ仮埋ヲナシ人相書並ニ着用ノ衣類等ヲ詳記シ最寄ノ地へ三十日間揭示シ引取人ナキ并ハ其費用ハ内務省八年乙第百五十八号ニ依リ官費受拂ノ手續ヲナシ三ヶ月纏メテ以テ縣廳へ届出ツベシ

○參考書類左ノ通り

一太政官明治二年正月晦日四年四月四日五月五日達八年内務省乙第百廿三号九年同省乙第七号本年縣廳乙第百卅九号等ナリ

一例規ニ依リ水火風震ノ難ニ罹ル者一時救助ノ事

水火風震等ノ難ニ罹リ目下凍餒ニ迫ルモノアレハ明治八年太政官第百廿二号達救助規則(第一條第四條第五條)ニ依リ速ニ取計ヒ直ニ縣廳へ届出同則第五條以下ニ係ル事件ハ縣廳ノ指揮ヲ受ケ處分ノ都度縣廳へ届出ツベシ
○參考書類左ノ通り

明治十年縣廳乙第三号十一年乙第八十六号乙第百十二号等ナリ

一社寺境外へ教院說教所等設立ノ事ヲ可否スル事

社寺境外へ教院說教所及ヒ教會等ヲ設立センコト伺出ルモノアレバ明治七年元教部省達三十号別紙ノ旨ニ依リ其地所ニ於テ故障ノ有無ヲ調査シ處分スベシ尤願主ハ教導職試補以上ノ者ニ限ルヘシ其郡内へ教院又ハ說教所ヲ新設セハ直ニ縣廳へ届出ヘシ

一例規ニ依リ無告窮民ヲ救助スル事

獨身老幼廢疾々病等ニ罹リ産業ヲ營ムコト能ハズ事實赤貧ニシテ曾テ他ニ保育スル

第八款 郡區務

者ナク全ク無告窮民アルヲ届出ツル者アレハ明治七年太政官第百六十二号及ヒ八年内務省乙第八十五号達ノ旨ニ依リ現場ノ實況ヲ査定シ老幼ノ區別ヲナシ該地前月下米相場ニ依リ石代ヲ以テ下渡ノ手續ヲ爲シ九年内務省乙第四十九号達ニ依リ處分シ三ヶ月纏メテ以テ縣廳届出ツベシ

○参考書類左ノ通り

一明治二年己八月廿八日太政官達五年大藏省百四十五号七年内務省乙第四十五号乙第五十六号八年大藏省乙第六十三号九年内務省乙第三十二号乙第四十九号達等ナリ

一水火風露ノ災ニ罹ル者例規ニ依リ木屋掛料並ニ農具代拜借願ヲ許可スル事

水火風露等ニ罹リ家屋蕩燼流失シ目下木屋掛ヲ營ム能ハズ又ハ農具ニ差支ノモノアレバ現場ノ形況ヲ査定シ事實不得止者ニ限り明治八年太政官第百二十二号達救助規則第二第三條ニ照シ本年縣廳乙第五十八号ニ依リ貸渡ノ手續ヲ爲シ一ヶ月纏メテ以テ縣廳へ届出ツベシ

一縣社以下神官ノ進退ヲ掌トル事

縣社以下神官ノ進退ヲ其氏子總代及郡内神官二名以上ノ連署ヲ以テ願出ルルハ明治八年元教部省第十八号達ニ照準シ處分スベシ尤無氏子ノ神社ハ其信徒二名以上ノ連署ヲ以テ前同様手續ヲ以テ願出ツルルモ同様處分シ一ヶ月纏メテ以テ縣廳へ届出ツベシ

一本山本寺ノ外住職ノ進退ヲ掌ルル事

寺院住職ハ明治七年元教部省第三十一号達ニ依リ教導職試補以上ニ限り其檀家或ハ信徒二名以上連署シ本山法類或ハ觸頭取締ノ添書ヲ以テ願出ルルハ明治五年同省第十四号達ニ照準シ處分シ凡テ一ヶ月纏メテ以テ縣廳へ届出ツベシ但一時住職ノ者試補差免セラル、者アレバ九年同省第二十五号達ニ依リ處分シ又事務多端ノ故ヲ以テ教導職試補以上ヲ撰ミ副住職差置キ度願出ルルハ明治九年元教部省第十八号達ニ依リ處分シ一時無住ノ寺院住職兼務願出ルルハ本年縣廳乙第九十九号達ニ依リ處分スベシ

○参考書類左ノ通り

一明治七年元教部省第三号等ナリ

一十族民籍編入願ヲ許可スル事

十族民籍編入願ヲ爲ス者アレバ聞届ケ三ヶ月纏メテ以テ縣廳へ届出ツベシ

一所轄内ノ政表及水害表ヲ調整スル事

所轄内政表ハ明治七年太政官第百六十六号達ニ準據シ一郡區限リ調整シ毎年二月限リ縣廳へ差出ヘシ又水害表ハ本年縣廳乙第百十六号達水害表調査概則ニ據ル一例規ニ依リ現在ノ牛馬羊豚表ヲ製スル事

一牛馬羊豚表ヲ調製スルハ明治十一年勸農局丙第五百八十三号達ニ依リ調製シ毎年

一月十五日限リ縣廳へ届出ツベシ

一二十四季寒暖表ヲ製スル事

寒暖表ノ調製ハ本年縣廳乙第百二十九号達書式ニ據リ一季滿期毎ニ調製シ縣廳へ

十六年乙三號ヲ以所轄内政表差出スニ及ハス

十一年十二月十九日
付以正該(第五十五)參照

十二年乙三號ヲ以十
二號ヲ(七十二號)ト
正該
十二年乙廿二號ヲ以
更正(第五十七)參照

差出スヘシ

一 物價表ヲ製スル事

物價表調製ハ明治十一年大藏省乙第十二達号ニ依リ調製シ前月分翌月五日限り縣廳へ差出スヘシ但該用紙ハ第二課へ受取方申立ツヘシ

一 瘦牛馬表ヲ製スル事

瘦牛馬表ヲ調製スルハ明治十年勸農局丙第五百八十三号達ニ據リ例規ノ通り調製シ毎年一月十五日限り縣廳へ差出スヘシ

一 物産表ヲ製スル事

物産表ヲ調製スルハ明治十年内務省乙第十二号達ニ據リ例規之通調製シテ毎年一月十五日限り縣廳へ差出スヘシ

一 石炭稅ヲ徵収シ及稅表ヲ製スル事

石炭稅ヲ徵収シ及稅表ヲ調製スルハ明治十一年三月縣廳番外達ニ據リ前半年明細表ハ毎年七月十五日限り後半年明細表ハ全年分借區稅ト共ニ翌年一月十五日限り縣廳へ差出スヘシ

一 農事通報之事

農事通報ハ本年縣廳乙第二百二十九号達依規則ニ依リ取計フヘシ

一 毎月各港津及ヒ河岸場輸出入物品表ヲ製スル事

輸出入物品表ヲ調製スルハ本年縣廳乙第二百二十九号達書式ニ依リ一ヶ月毎ニ調製シ縣廳へ届出スヘシ

一 鑛礦借區開坑願實地ヲ檢査ノ事

鑛礦借區開坑願アレバ明治六年太政官第二百五十九号公布日本坑法第三章ノ旨趣ニ依リ本年一月縣廳番外達ニ照シ其出願ノ順序手續式ノ如ク其町村戸長與書調印シ且坑業永續意見書並ニ資本ノ多寡等ヲ添ヘ差出スモノハ實地ニ就キ借區方面ハ一二三四ノ番号ヲ以テ標木ヲ立テ其坑口ヨリ一番マテ順次距離ノ間數ヲ誌ス等從ノ振合ヲ以テ境界ヲ識別シ坑業ノ可否得失ヲ審查シ願意相違ナキニ於テハ其檢査前ノ次第ヲ詳記シタル具狀書ヲ添ヘ縣廳へ進達スヘシ

一 官有地土石掘取願實地ヲ檢査ノ事

官有地土石掘取願アレバ明治十年内務省甲第二十一号達ニ依リ實地ニ就キ前條ノ手續ヲ盡シ開坑境界ヲ識別シ其利害ノ有無等其檢査シタル次第ヲ詳細具狀書ヲ添ヘ直ニ縣廳へ進達スヘシ

一 例規ニ依リ一時水防ノ爲メ官有ノ樹木伐採ノ事

非常天災ニ罹リ急破不得止場合ニ於テハ一時水防ノ爲メ官有ノ樹木ヲ伐採セントスルモハ明治十年九月廿一日縣廳達ニ依リ例規ニ照シ處分シ其都度縣廳へ届出ツヘシ但シ筑前國ニ限ル

一 稅外收入金ヲ徵收スル事

稅外收入金ヲ徵收スル事件ハ本年縣廳乙第二百五十七号取扱心得ニ依リ徵收シ上納ノ手續ヲナスヘシ

一 官地拜借拂下及ヒ官地ニ在ル動植物土木石拂下願檢査ノ事

第八款 郡區務

- 一社寺境内地拜借願検査ノ事
- 一海面埋立願ヲ検査ノ事
 - 右三條拜借拂下埋立願出者アレバ實地ヲ検査シ明細ノ畫圖面ヲ添ヘ妨害ノ有無ヲ具狀スベシ尤モ拜借地ノ如キハ實地障礙ナキモノト思量セハ類地比較地價取調進達スヘシ尤モ廢合社寺跡地拂下願ハ内務省明治八年乙第百十三号達ニ依リ具狀スベシ
- 一社寺上地願検査ノ事
 - 社寺上地願出ツルモノアレバ神祭法用等ノ節必需ノ場所ニ無之ト思量スルキハ上地ノ積リヲ以テ取調其類地比較ノ地價取調明細畫圖面ヲ添ヘ該地ノ形况詳細具狀スベシ
- 一學校敷地下渡願検査ノ事
 - 學校敷地下渡願出ツルモノアレバ實地ニ就キ該町村ノ便否及ヒ官民支障ノ有無ヲ調査シ中學校ハ千坪小學校ハ五百坪以内其余ノ地所ヲ要スル場合ニ於テハ相當代價拂下ノ積リヲ以テ類地比較ノ地價取調明細畫圖面ヲ添ヘ具狀スベシ
 - 一河港道路堤防橋梁等修繕之事
 - 本年縣廳乙第百三十三号達土木仮規則同年縣廳甲第二百十五号布達ニ依リ處分スベシ
 - 一例規ニ依リ疫牛馬處分ノ事
 - 疫牛馬アル片ハ明治九年内務省乙第二十号達全年乙第廿四号達全六十号同九十四号追加達ニ照準シ處分スベシ

- 一免許ヲ受ケタル賣藥請賣及行商願ヲ許可スル事
- 一酒類營業願ヲ許可スル事
- 一煙草營業願ヲ許可スル事
- 一牛馬營業願ヲ許可スル事
- 一船車營業願ヲ許可スル事
- 一製作ヲ許可シタル度量衡ヲ検査スル事
- 一印紙貼用スル諸帳簿ヲ検査スル事
- 一藝妓ノ外縣稅ニ係ル營業願及興行等ノ願ヲ許可スル事
 - 右八條ハ本年縣廳乙第百三十九号達取扱條例ニ依リ處分スベシ
- 一民有地開墾願ヲ許可スル事
- 一變換地ヲ検査スル事
- 一荒地ヲ検査スル事
 - 右三條ハ本年縣廳乙第百五十六号達取扱條例ニ依リ處分スベシ
- 一小學教員ヲ進退黜陟スル事
 - 小學教員ハ師範學校卒業証書ヲ持スル者ニアラザレハ採用スルコト得サル者トス其等級稱号ハ本年縣廳乙第十一号達ニ準據シ學力ニ應シ等級ヲ附スベシ若シ實際差問ヲ生シ免証ヲ持セサル者ヲ採用セザルヲ得サル片ハ最寄師範學校ハ其學術試験ヲ請求シ其學力ニ應シ採用スベシ渾テ教員ノ進退ハ其學校並ニ戸長ノ具狀ニ依

- 一 小學校位置ヲ檢査スル事
- 一 小學校設立或ハ分合願ヲ差出シタルルハ人家ノ疎密人口ノ多寡道路ノ遠近等ヲ參考シテ其位置ノ便否教場結構ノ當否ヲ檢査シ不都合ナキモノハ其具狀書ヲ添ヘ直ニ縣廳ヘ進達スベシ
- 一 小學校開校屆及ヒ一時閉校伺ヲ受理スル事
- 一 新築開校ヲ届出ツルルキハ其都度出張シ開校式ヲ行フベシ又タ一時閉校ヲ伺出ツレバ其事實ヲ審問シ之レヲ處分シ月末毎ニ開閉共縣廳ヘ届出ツベシ
- 一 小學校資金及物品寄附願ヲ許可スル事
- 一 小學校ヘ寄附願アレバ本年縣廳乙第四百四十一号達ノ種別ニ依リ處分シ每一ヶ月取纏メ賞與ノ儀ハ縣廳ヘ具狀スベシ
- 一 小學校年報表及總計表ヲ編成スル事
- 一 年報總計表調製ハ縣廳ヨリ下付スル對ニ明治十年文部省第六号達學事年表對紙登記且學事ノ現狀取調之旨ニヨリ前年小學校年報及總計表一郡區限リ調製シ毎年二月中縣廳ヘ届出ツベシ
- 一 種痘表ヲ調製スル事
- 一 種痘表ヲ調製スルハ明治九年內務省甲第八号達第二号表甲乙ニ準シ一郡區限リ調製毎年兩度一月七月縣廳ヘ届出ツベシ
- 一 死亡表ヲ調製スル事
- 一 死亡表ヲ調製スルハ明治九年內務省乙第十三号達ニ依リ毎月各町村ヨリ進達スルモノヲ点檢シ死亡ノ考案トシ毎年兩度一月七月一郡區限リ調製シ縣廳ヘ差出スベシ
- 一 諸貸下金ヲ例規ニ依リ徵収スル事
- 一 諸貸下金受拂返納ノ手續キハ本年縣廳乙第五十八号達ニ依リ處分スベシ
- 一 溜池新築々増願ニ付實地ヲ檢査スル事
- 一 溜池新築又ハ築増ヲ願出ルルキハ本年縣廳甲第八十一号布達ニ依リ其工事地勢ニ適スルヤ及ヒ將來保存方其他田地ノ便否溜池ノ多寡水源ノ有無ニ依リ近傍故障ノ有無ヲ檢査シ詳細具狀書ヲ添ヘ直ニ應縣ヘ進達スベシ
- 一 民有地土石堀取願ヲ許可スル事
- 一 明治十一年內務省甲第廿一号達ニ照準シ本年縣廳乙第七十号達ニ依リ處分シ一ヶ月纏メテ以テ縣廳ヘ届出ツベシ
- 一 人畜流行傳染病ヲ救濟豫防スル事
- 一 追テ別段達スル所ノ規則ニ依リ處分スベシ
- 一 以上上款
- 一 一定額内備吏員ヲ進退スル事
- 一 本年縣廳乙第一百十八号達ニ依リ其郡區定額費内ヲ以テ便宜處分スベシ
- 一 例規アル縣會事務ヲ管掌スル事
- 一 縣會議員選舉會ヲ開クベキ布達アル時ハ本年太政官第十八号府縣會規則第十五條

十一月乙百七十三號
參照(第六十一)ニシテ

公上

第八款 郡區務

第十六條第十七條第十八條第十九條ニ依リ職員撰擧ノ手續ヲナシ其都度縣廳へ届出ツヘシ

一縣社以下郷社營繕願ヲ許可スル事

縣郷村社新築修繕ハ氏子總代二名以上及神官連署シ其信徒ノ寄附金ヲ以テ修繕方願出ルルハ明治十年縣廳内第七十八号達ニ照シ及十一年乙第七十五号ヲ參看シ凡營繕目論見帳並ニ費金寄附人名高及社殿ノ結構畫圖面等取調之上處分スヘシ尤モ舊社ニ至ツテハ明治八年太政官第百五十九号達ヲ參看スヘシ

一神官僧侶旅行願ヲ許可スル事

神官僧侶ノ旅行願ハ神官ハ明治十一年縣廳乙第七十四号ニ依リ僧侶ハ九年全第百

二十二号達ニ照シ處分スヘシ

一神社氏子分合願ヲ許可スル事

氏子分合ハ従前所屬ノ神官及氏子二名以上承諾書ヲ添へ願出ルルハ其土地ノ習慣ニヨリ都テ其土地人情ノ安スル所ニ從ヒ適宜處分スヘシ

一看料ヲ受ケザル諸興業願ヲ許可スル事

本年甲第二百二十五号布達ノ旨趣ニ依リ處分スヘシ但明治六年元教部省第二十

六号全二十九号達ヲ參看スヘシ

一通運會社興廢ノヲ受理スル事

通運分社又ハ人馬繼立所等ヲ願出ツル者アレバ内國通運會社へ入社約定濟之上開業日届出ツベキ旨指令シ處分濟ノ上興廢トモ其都度縣廳へ届出ツヘシ

内國通運會社ノ外別ニ結社シ物貨運輸ノ營業ヲ願出ツレハ社則並ニ諸般ノ手續キ等ヲ調査シ添書ヲ以テ縣廳へ進達スヘシ右二條ノ外本業餘暇一馬一肩ヲ以テ物貨運送等ノ業ヲナス者ハ格別タルベシ

一復籍護送人取扱ノ事ヲ管掌スル事

脱籍人又ハ犯罪處刑者放免原籍へ護送スル者アレバ明治六年大藏省第五十二号七年内務省甲第十四号達ニ依リ行旅病人原籍護送手續ヲナシ護送セシメ其郡区内宿驛ヨリ繰替金請取方ハ一ヶ月括リヲ以テ爲差出本籍ノ管廳へ償却方照會スヘシ其郡区内住民ニシテ他ノ地方ヨリ護送歸村スル者ハ其地方廳ノ添輸沿道入費繰替簿ヲ出タサセ費用ノ内本人ヨリ償却スヘキ分ハ速ニ取立現金又ハ郵便爲替ヲ以テ繰替簿一同償還スヘシ

○參考書類左ノ如シ

一明治五年大藏省第百四十一号六年全省第六十一号七年内務省甲第廿四号丙第三

十六号八年全省第六十八号九年乙第七号十年内務省乙第五十号等ナリ

一神佛例祭及ヒ臨時祭并ニ說教届ヲ受理スル事

神佛例祭ハ明治六年元教部省第二十六号同二十九号ニ參看シ別紙指令ヲ要セズ臨時祭ハ其氏子信徒神官住職連署ヲ以テ願出サセ前二号ニ抵觸セズ又勸財ケ間敷等無之分ニ限り許可スヘシ說教届ハ社寺或ハ人民ノ居室タリテ教導職試補以上ノ者ナレハ聞置クヘシ但明治十一年縣廳甲第五十五号ヲ參看スヘシ

一各府縣及ヒ諸裁判所ヨリ原籍問合セノヲ管掌スル事

各府縣及ヒ諸裁判所ヨリ其部内住民ノ本籍ヲ問合照會アルキハ其町村戸長ヘ下達シ戸籍帳ニ就テ其身分年齢等ヲ届出サシメ直チニ回答照會スベシ

一諸裁判所ヨリ人民召喚ノ事ヲ管掌スル事

郡區内住民ヲ諸裁判所ヨリ召喚狀ヲ以テ照會アルキハ直チニ其町村戸長ニ下達シ期日ヲ定メ出頭方ヲ届出サシメ直チニ其裁判所ニ往復照會スヘシ

一國民軍名簿加除ノヲ管掌スル事

國民軍名簿ヲ加除スルハ徵兵令首款其三及全令第六章第十二條全參看第廿八條第二十九條ニ依リ編製シタルモノナレハ名簿ニ登記セシ人員養子轉籍改姓名死亡等凡テ身分ニ關スル異動ハ町村戸長ヨリ翌月十五日限リ届出サシメ名簿ニ就テ直チニ加除シ毎年十二月卅一日マテノ總計ハ同令參看第廿八條國民軍人員表雜形ニ倣ヒ調製シ翌年一月十五日限リ縣廳ヘ届出ヘシ但年々十七歳ノ者取調方ハ同令第六章第十二條等ニ依リ毎年十一月十日マテ各町村戸長ヨリ爲届出シメ翌年一月ニ至リ名簿ヲ新製スルモノトス

一補充兵他管行願十日以内ノ分成規ニ依リ許可スル事

補充兵ノ者徵兵令參看第十六條ニ照シ他府縣ヘ旅行願ヲナス者アレハ其行先ノ縣郡村名及ヒ往復日數ヲ定メ願出サセ十日以内ニ限リ許可スベシ

一徵兵病氣事故ニテ入營延期届ヲ受理スル事

徵兵入營ノ者事故アリ延期届ヲナス者アレハ徵兵令參看第十一條ニ照シ戸長與書証印ヲ檢シ添書ヲ以テ直チニ所管鎮臺ヘ送付スヘシ

一徵兵翌年廻シノ者養子分家其他嗣子相續人等兵役ニ應徵スヘキ後証ヲ以テ出願ノ者ヲ許可スル事

徵兵令參看第二十六條但書並ニ第四十九條ニ照シ處分シ其事由ヲ添書シ直ニ縣廳ヘ届出ツヘシ

一常備後備補充兵ノ轉居届ヲ受理スル事

常備兵後備補充兵ノ者轉居スル者アレバ徵兵令第六章第四條第九條同令參看追加第四十四條但書ニ依リ直チニ添書ヲ以テ所管鎮臺ヘ送付シ縣廳ヘ届出ツヘシ

一常備兵死没届並ニ歸省及歸營延期願ヲ受理スル事

常備兵死没セシ旨届出者アレハ徵兵令第六章第五條ニ照シ其戸主ノ届書ニ添書ヲナシ直チニ所管鎮臺ヘ送付スヘシ

歸省願ハ徵兵令第六章第七條全令參看第十五條及ヒ後備軍府縣駐在官服務規則第廿三條但書並ニ同軍官員服務規則第四條ニ照シ駐在官ヘ移シ同官ノ捺印還附ノ上直ニ添書ヲ以テ所管鎮臺又ハ營所ヘ送付スヘシ歸營延期願ハ直ニ添書ヲ以テ所管鎮臺又ハ營所ヘ送付スベシ死没届ハ同斷ノ手續ヲトシ直ニ縣廳ヘ届出ツヘシ

一後備復習ノ者病氣事故不參届ヲ受理スル事

後備軍復習ノ節事故アリ不參届ヲナス者アレハ後備軍召集條例第十五條及徵兵令第六章第三條ニ照シ添書ヲ以テ直ニ所管鎮臺ヘ送付スヘシ尤モ復習ノ半ニ至リ治癒又ハ事故濟ノ者ハ召集條例第廿二條及本年縣廳丙第七十三号達ニ照シ處分スヘシ

- 一 後備軍死没又ハ國禁ヲ犯シ或ハ脱走届ヲ受理スル事
- 徵兵令第六章第十一條及ヒ後備官員服務概則第四條ニ照シ直ニ添書ヲ以テ所管鎮臺ヘ送付シ縣廳ヘ届出ツベシ
- 一 常備兵補充兵番号割符ノ誤毀遺失届並ニ新製請求願ヲ受理スル事
- 徵兵令參考第十四章ニ照シ其理由ヲ調査シ添書ヲ以テ直ニ所管鎮臺ヘ照會シ新製ノ割符ヲ受ケ本人ヘ交付スベシ
- 一 常備兵犯罪處刑濟歸縣ノ事ヲ管掌スル事
- 明治九年陸軍省達甲第百六十七号ニ依リ旅次証書ヲ直ニ右証書下付ノ官廳ヘ返付シ繰替金員償却ノ事ヲ照會スベシ
- 一 死亡出生婚姻戸口ノ増減ヲ調理スル事
- 追テ定ムル所ノ戸口増減取調概則ニ照シ調理スヘシ
- 一 諸裁判所ヨリ處刑宣告ノ通知ヲ受理スル事
- 處刑宣告ノ通知アルキハ其町村戸長ヘ下達スベシ
- 一 懲役人ノ信書ヲ受理スル事
- 他縣府ヨリ懲役人ノ信書ヲ其官廳ヨリ通知アレバ其町村戸長ヲシテ下達セシメ又郡區内住民ヨリ他府縣ニアル懲役人ヘ信書差出シ度願出ルキハ直ニ添書ヲ以テ其府縣ヘ照會スヘシ
- 一 郡區書記以下病氣又ハ忌引届ヲ受理シ歸省願ヲ許可スル事
- 郡區書記以下病氣又ハ忌引届ヲ受ケ歸省願ヲ許可シ給料渡シ方等ハ本年縣廳乙第

- 百廿二号達ヲ參看スベシ
- 一 郡區書記以下除服出仕ヲ達スル事
- 郡區書記以下忌引届アルキハ事務ノ繁閑ヲ考ヘ除服出仕ヲ命スベシ
- 一 縣社以下修繕ノタメ境内ノ樹木伐採願ヲ許可スル事
- 縣社以下境内ノ樹木伐採ヲ氏子或ハ信徒二名以上神官連署ヲ以テ願出ツルモノアレバ明治六年太政官第百三十五号同二百九十一号公布及明治七年内務省甲第三十一号同乙第三十四号達ニ依リ實地ヲ点檢シ境内ノ風致ヲ損セサレバ社用ニ限り允可シ直ニ割印ヲ据ヘ伐渡スベシ其枯木風損倒木ノ如キハ社用ニ供スルカ又ハ公賣スルカ適宜處辨シ跡地種樹ノ手續ヲ爲サシメ直ニ官有民有ノ區別ヲ以テ縣廳ヘ届出ツベシ
- 一 廢坑跡修理檢査ノ事
- 明治六年太政官第百五十九号公布日本坑法第二十七款ノ旨趣ニ依リ廢坑ノ都度實地ヲ檢査シ詳細具狀書ヲ以テ縣廳ヘ進達スベシ
- 一定規アル諸經費ヲ支給スル事
- 郡區役所ニテ費用スベキ定規アル諸經費ハ本年縣廳乙第百三十九号及同号達ニ依リ第六課ヨリ達官費諸費交付手續等並ニ同年縣廳乙第百五十一号達出納取扱順序ニ依リ處辨スヘシ
- 但本年縣廳乙第百四十八号同第百三十八号ヲ參看スヘシ

以上

○(第五十二) 十一年十二月十六日

郡 區

乙第百八十八号
本年當應乙第百六十号達郡區長事務取扱手續第九條中乙第百三十九号ハ第百三十六号ノ誤ニ候條此旨相達候事

○(第五十三) 十一年十二月十七日

郡 區

乙第百九十一号
本年乙第百六十号達郡區長事務取扱手續中内外國難破船數屆之内一ヶ年分ヲ取纏云々以下ヲ删除シ左之通更正候條此旨相達候事

明治九年太政官第七十八号達ニ照シ毎年六月七月兩度ニ區分シ上半年分ハ其年七月廿日下半年分ハ翌年一月廿日限り縣廳へ届出スヘシ

○(第五十四) 十三年八月廿六日

沿海郡 區

番外
難破船員數屆之儀去ル十一年乙第百六十号及乙第百九十一号ヲ以相達置候處右ハ遭難之景況及其場所等ハ航海者ノ最モ注意スヘキモノニシテ後航者ノ警鑑トモ可相成緊要ノ件ニ付難破衝突等有之候節ハ遭難ノ場所及經緯度又ハ近傍之燈臺岬港若シクハ著名ノ山岳或ハ市街等ヨリノ方位距離等相分リ候分ハ届書中詳密記載可致此旨相達候事

但難破沈没候分ハ本年三月廿七日附相達候通別段其都度届出候儀ト可相心得候事

○(第五十五) 十一年十二月十九日

郡 區

番外
本縣乙第百六十号達郡區長事務取扱手續中勸農局丙第五百八十三号達ニ據リ云々トアルハ牛馬羊豚ヲ製スルハ明治十年本縣乙第八十一号ニ疫牛馬表ヲ製スルハ明治十年本縣乙第百五号ニ據リノ誤ニ候事

○(第五十六) 十二年一月七日

郡 區

乙第三号
明治十一年本縣乙第百六十号郡區長事務取扱手續中物産表ヲ製スルノ條内務省乙第十二号ハ七十二号一月十五日ハ二月十五日ノ誤ニ候條此旨相達候事

○(第五十七) 十二年一月廿七日

郡 區

乙第二十二号
昨十一年乙第百六十号ヲ以テ相達候郡區長取扱事務手續條件中物産表ヲ製スルノ事次左之通改正候條此旨相達候事

一物産表ヲ製スル事

物産表ヲ調製スルハ明治十年本縣乙第四十七号達及ヒ明治十一年本縣乙第九号達ニ據リ例規之通り調製シテ毎年二月十五日限り縣廳へ差出スヘシ

○(第五十八) 十二年十二月五日

郡 區

丙第百三十七号

郡區改正之際郡區長ノ職權及ヒ分任シタル事務ニ付其取扱條例等相違爾後規則之變換或ハ増減アルトキハ該取扱條例モ隨テ改正致シ來候處自今以後規則之變換等有之ニ其取扱條例之儀ハ別段不相違候條郡區長ニ於テ適當ノ順序方法相立處辨可致此旨爲心得相違候事

但事柄ニヨリ雜錯ノ患アル歟或ハ一轍ヲ要スル分ハ本文ノ限ニアラス

○(第五十九) 十三年四月九日

乙第四十二号

郡 區

明治十一年本縣乙第百六十号達郡區長事務取扱手續第三項但書刪除候條此旨相違候事

○(第六十) 十三年十月五日

明治十一年當縣乙第百六十号達第八項中十年第二百五号トアルハ十年第十一号ノ誤ニ付正誤候事

○(第六十一) 十一年十一月廿九日

乙第百七十三号

郡 區

乙第百十九号ヲ以テ相違候委任條件中死亡表種痘表ヲ調製スルノ兩件ハ當分ノ間製表ニ不及候間死亡届ハ明治九年內務省乙第十三号全第四十四号全第百廿四号達ノ通り無遺漏取纏メ三ヶ月毎ニ進達可致種痘表ハ明治九年內務省甲第八号種痘規則書式ノ通範術醫師ヨリ届出之表ヲ纏メ一月七月兩度ニ進達可致此旨相違候事

追テ本文種痘表死亡表トモ主務課ニ於テ調査ノ都合有之候條書法違反無之期月必ス延引不致様精々注意可致候事

○(第六十二) 十二年一月十一日

乙第八号

郡 區

戶長役場印之冠字ハ戶長管理スル所ノ各町村名列記彫刻可致此旨相違候事但彫刻濟之分ハ其儘相用不苦候事

○(第六十三) 十二年二月一日

乙第二十七号

郡 區

客年丙第八十六号ヲ以テ委任條件中官省府縣諸裁判所ヘ干涉之事件ハ其筋ヘ照會ノ都合モ有之ニ付云々相違尙同年丙第百三十三号ヲ以テ達置候次第モ有之候處諸裁判所干涉ノ事件ハ自今郡區ニ於テ直ニ應答可致此旨相違候事

○(第六十四) 十三年七月十七日

乙第百壹号

郡 區

郡區長ヨリ諸裁判所ヘ往復スル文書ハ一般掛合回答之文体ヲ用ヒ可申此旨相違候事

○(第六十五) 十二年二月三日

筆記

各郡 福岡區 粕屋郡 除ク
怡土志摩早良郡

郡長以下本廳ヘ出頭之節ハ宿所官姓名等詳記シ玄關詰ヘ可届出此旨相違候事

第八款 郡區務

十三年乙百一號ヲ以
文書ハ一般ノ文体ヲ
用フヘキ旨ヲ示ス
(第六十四)ニ在リ

但御用相濟歸郡候節モ本文ニ準シ可届出候事

五十六

○第六十六 十二年二月廿日

乙第三十五号

郡 區

客年乙第二号町村戸長不在之節又ハ戸長ニシテ自分所有之地所建物船舶等質入書入及ヒ賣買セントスルキハ事務代理ノ儀左之通更正候條此旨相達候事

一町村戸長旅行病氣忌引等不在之節ハ其次席ノ役ヲ勤ムル(備用掛筆算生又ハ手傳人)等ヲ以テ事務一切取扱ハシムルヲ得

一町村戸長自分所有ノ地所建物船舶等質入書入及ヒ賣買セントスルキハ其次席ノ役ヲ勤ムルモノ(全上)等ニ取扱ハセ其事由割印帳へ記入セシムヘシ

○第六十七 十二年四月十二日

乙第五十九号

郡 區

地所建物船舶等質入書入及賣買等ニテ公証ヲ與フル事務戸長不在或ハ戸長所有ニ係ルモノニテ用掛筆算生等ニ於テ取扱候節姓名記載方左之通可相心得此旨相達候事

戸長旅行等ニテ不在ノキノ例

何町村戸長其旅行不在ニ付

筆算生或ハ用掛

何 某

戸長所有地等ニ係ルキノ例

何町村戸長其所有ノ地或ハ建物ニ付

同 上 何 某

戸長免職後新任セサルキノ例

何町村戸長欠員ニ付

同 上 何 某

○第六十八 十二年二月廿四日

乙第三十七号

郡 區

郡區長用向ヲ以テ縣廳へ出頭又ハ所轄部外へ出張候節ハ其郡度經伺許可ヲ可受此旨相達候事

○第六十九 十二年三月十三日

乙第四十九号

郡 區

諸物價書出ノ儀兎角遷延不都合不少候條以降主要ノ地ニ擔當者ヲ設ケ毎月無遲滯爲取調進達可致就テハ右取調手當金トシテ一ヶ所一ヶ月ニ付金五十錢宛支給候條郡役所經費諸雇給ノ内給與ノ部へ物價書上手當金ノ目ヲ立テ支出可致此旨相達候事

○第七十 十二年四月十七日

郡區務

五十七

十二年乙五十九號ヲ以テ代理ノ書式ヲ示ス(第六十七)ニ在リ

乙第六十三号

本縣達ニ依リ調達スル書類ハ達ノ番号或ハ年月日等記載可差出此旨相達候事

○(第七十二) 十二年四月十八日

乙第六十四号

昨明治十一年太政官第三十二号ヲ以テ被達候郡區長職務中ニ掲載アル官有樹木伐採心得方之儀ハ本年內務省乙第拾三号達シノ通心得ヘシ此旨相達候事

○(第七十二) 十二年五月十五日

丙第四十七号

從來戶長人民等召喚ヲ要スルモノハ郡區役所へ相達來候處事至急ヲ要シ召喚候節ハ直ニ戶長へ相達候ニ付此旨爲心得相達候事

○(第七十三) 十二年五月廿一日

乙第九十一号

他府縣郡區分畫及郡區長管掌ノ事務ニシテ他府縣へ關涉セル條件別冊ノ通候條右事件ニ付テハ該府縣郡區長へ直ニ照會應答可致此旨相達候事
但シ滋賀堺秋田ノ三縣ハ追テ可相達候事

○長崎縣郡區分畫

所 管 役所位置 所 管 役所位置

十六年第九拾五號布告ヲ以テ滋賀外二縣ノ分畫外九郡ヲ管轄セシ

十三年乙百四十九號ヲ以テ滋賀外二縣ノ分畫外九郡ヲ管轄セシ

長崎區市街一圓	長崎勝山町	神崎郡	郡内神崎驛
西 彼 杵 郡	同 外 浦 町	基肄養父三根郡	養父郡福木驛
東 彼 杵 郡	郡 内 大 村	東 松 浦 郡	郡 内 唐 津 町
北 高 來 郡	郡 内 諫 早 村	西 松 浦 郡	郡 内 伊 方 里 町
南 高 來 郡	郡 内 島 原 村	北 松 浦 郡	郡 内 平 戶 町
藤 津 郡	郡 内 高 津 原 村	南 松 浦 郡	郡 内 福 江 村
杵 島 郡	郡 内 武 雄 村	壹 岐 石 田 郡	石 田 郡 武 生 水 村
小 城 郡	郡 内 小 城 村	上 縣 下 縣 郡	下 縣 郡 嚴 原 村
佐 賀 郡	郡 内 佐 賀 町		

右郡區長へ特任シ府縣へ關涉スル事件拔抄左ノ如シ

一 戶籍ニ關スル願伺ノ事

一 人力車牛車荷積車及五十石未満ノ海船及舢舨川船田船等ヲ成規ニ依リ許可シ及檢

印烙記スル事

一 地券臺帳ヲ整理スル事

一 委任條件ニ付他府縣へ照會或ハ回答スル事

○大分縣郡區分畫

所 管

役所位置

所 管

役所位置

西 國 東 郡	郡 内 高 田 村	大 野 郡	郡 内 市 場 村
東 國 東 郡	郡 内 鶴 川 村	直 入 郡	郡 内 竹 田 町

第八款 郡區務

大分郡	郡内大分町	日田郡	郡内南豆田町
北海郡	郡内臼杵町	下毛郡	郡内中津町
南海郡	郡内佐伯村	宇佐郡	郡内四日市村
右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉スル條件援抄左ノ如シ			
一士族以下戸籍ニ關スル願稟ヲ處分スル事			
但外國人ト結婚ノ件貫屬ノ祿族ニ關スル件除族ハ再習族ノ件一戸廢絶ノ件等ハ此限ニ非ス			
一行旅病人原籍遞送願ヲ例規ニ依リ處分スル事			
一難破船(軍艦並ニ官船及外國船ヲ除クノ外)及漂流物ヲ例規ニ照シ處分スル事			
一牛馬賣買營業願ヲ許可スル事			
一諸船賣買願ヲ許可シ及新規造船ヲ檢査スル事			
但五十石未満商船並解漁船等ハ檢印ヲ烙記スル事			
一諸車營業願ヲ許可シ檢印ヲ烙記スル事			
一牛馬賣買市立願ヲ許可スル事			
一委任條件ニ付他府縣へ照會スル事			
○熊本縣郡區分盡			
所管	役所位置	所管	役所位置
熊本區市街一圓	熊本新町三丁目	上益城郡	郡内邊田見村
飽田鹿摩郡	飽田郡春日村	下益城宇土郡	宇土郡宇土町

十六年第十五號布告
 ナ以官廳ノ置布
 向國府縣ノ置布
 志郷大崎松山郷ヲ
 除キ全國一圓ヲ管轄

菊池合志郡	菊池郡隈府町	八代郡	郡内八代町
山鹿山本郡	山鹿郡山鹿町	蘆北郡	郡内佐敷町
玉名郡	郡内高瀬町	球摩郡	郡内人吉町
阿蘇郡	郡内内牧町	天草郡	郡内町山口村
右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉スル條件援抄左ノ如シ			
一戸籍關係ノ事			
一難破船及漂流人取扱ノ事			
一變死並行倒人取扱ノ事			
○鹿兒島縣郡制分盡			
所管	役所位置	所管	役所位置
鹿兒島谿山郡	鹿兒島市街	始良桑原郡	始良郡加治木
熊毛馭謨郡		隴隈郡	
日置阿多郡	日置郡市來	大隅屬郡	大隅郡垂水
甌島郡		宮崎郡	宮崎郡宮崎
給黎揖宿郡	給黎郡知覽	那珂郡	
穎娃川邊郡		諸縣郡	郡内都城
高城水郡	出水郡阿久根	兒湯郡	郡内高鍋
薩摩伊佐郡	伊佐郡宮ノ城	臼杵郡	郡内延岡

第八款 郡區務

右郡長へ特任シ他府縣へ關涉スル條件抜抄左ノ如シ
 一貫屬替願之事
 一宿村遞送人及倒死變死人處分ノ事
 一委任條件ニ付他府縣へ照會スル事

○山口縣郡區分盡

所管	役所位置	所管	役所位置
大島郡	郡内東屋代村	厚狹郡	郡内舟木村
玖阿郡	郡内岩國町	豐浦郡	郡内豐浦
熊毛郡	郡内室積浦	美禰郡	郡内太田村
都濃郡	郡内徳山	大津郡	郡内正明市
佐波郡	郡内三田尻村	阿武見島郡	阿武郡荻
吉敷郡	郡内山口	赤間關區市街一圓	赤間關

右郡區長ニ特任シ他府縣へ關係スル條件抜抄左ノ如シ
 一難破船ヲ成規ニ依リ處分スル事
 一漂流物並ニ乘組人ナキ漂流船ヲ成規ニ依リ處分スル事
 一入籍送籍ヲ管理スル事
 但士族戸主ノ送籍狀ハ縣廳ノ裏書ヲ乞フヘシ
 一諸車ノ檢印ヲナス事

○廣島縣郡區分盡

所管	役所位置	所管	役所位置
廣島區市街一圓	廣島町	深津沼隈郡	深津郡福山町
沼田高宮郡	沼田郡南下安村	安那品治郡	蘆田郡府中市村
安藝郡	郡内海田市	蘆田	
佐伯郡	郡内廿日市	甲奴世羅郡	世羅郡甲山村
山縣郡	郡内加計村	三輪	
高田郡	郡内吉田村	三次惠蘇郡	三次郡上里村
賀茂郡	郡内四日市	奴可三上郡	奴可郡西城村
豐田郡	郡内忠海村	御調郡	郡内尾道町
神石郡	郡内小島村		

右郡區長ニ特任シ他府縣へ關涉スル條件抜抄左ノ如シ
 一旅人發病行倒處分ノ事
 一牛馬賣買鑑札願ノ事
 一船舶賣買歸國者鑑札添翰附與ノ事
 一難破船並ニ漂流物取扱ノ事

○岡山縣郡區分盡

所管	役所位置	所管	役所位置
岡山區市街一圓	東中山下	御野郡	郡内上伊福村
津高郡	郡内金川村	赤阪郡	郡内町刈田村

第八款 郡區務

磐梨郡	郡内吉原村	和氣郡	郡内西片上村
邑久郡	郡内尾張村	上道郡	郡内圓山村
兒島郡	郡内味野村	都宇郡	郡内下撫川村
窪屋郡	郡内倉敷村	淺口郡	郡内玉島村
小田郡	郡内笠岡村	後月郡	郡内井原村
下道郡	郡内岡田村	賀陽郡	郡内高松村
上房郡	郡内高梁本町	川上郡	郡内下原村
哲多郡	郡内井村	阿賀郡	郡内新見村
眞島郡	郡内高田村	大庭郡	郡内久世村
西々條郡	郡内竹田村	西北條東南條郡	津山々々下
東北條郡	郡内綾部村	勝北郡	郡内勝賀茂西村
吉北郡	郡内下町村	英田郡	郡内倉敷村
勝南郡	郡内勝間田村	久米北條郡	郡内桑下村
久米南條郡	郡内下弓削村		

右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉スル條件援抄左ノ如シ
 一 船舶賣買ノ事
 一 難破船漂流物取扱ノ事
 一 郵送人原籍照會ノ事
 一 士族貫屬換ノ事

○兵庫縣郡區分盡

所管	役所位置	所管	役所位置
神戸區神戸兵庫市街一圓北長狹通四丁目	八部郡	郡内奥平野村	
兔原郡	武庫郡	郡内西宮驛	
川邊郡	有馬郡	郡内三田町	
明石郡	美夔郡	郡内三木町	
加東郡	多可郡	郡内中村町	
加西郡	加古郡	郡内寺塚町	
印南郡	飾東郡	姫路龍野町六丁目	
飾西郡	神東郡	神東郡屋形村	
揖東郡	揖西郡	郡内龍野町	
赤穂郡	佐用郡	郡内佐用村	
宍粟郡	城崎美合郡	豐岡豐田町	
出石氣多郡	養父朝來郡	朝來郡和田山村	
七美二方郡	氷上郡	郡内柏原村	
多紀郡	三原郡	郡内本町	
津名郡	郡内州本町		

右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ
 一行旅病人處置ノ事

第八款 郡區務

- 一 遞送人ノ事
- 一 逃亡者復歸者ノ事
- 一 諸車檢印ノ事
- 一 解漁船並ニ海川小廻船等願及ヒ檢印ノ事
- 一 全上賈買ニ付各府縣へ照會ノ事

○愛媛縣郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
大内寒川郡	寒川郡津田村	三木山田郡	三木郡平木村
小笠香川郡	郡内土庄村	阿野鵜足郡	阿野郡坂出村
那珂多度郡	那珂郡丸龜町	三野豐田郡	豐田郡觀音寺村
宇摩新居郡	川ノ上村西條町	周布桑村郡	周布郡丹原村
越智郡	郡内今治町	野間風早郡	風早郡北條村
和氣温泉久米郡	温泉郡松山町	上浮穴郡	郡内久万町
下浮穴郡	郡内森松村	伊豫郡	郡内湊町
喜多郡	郡内大洲町	北宇和郡	郡内八幡濱浦
東宇和郡	郡内卯ノ町	西宇和郡	郡内宇和町
南宇和郡	郡内城邊村		

右郡長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ
 一行旅病人郵送及ヒ死人取片付等ノ處分并ニ入費償却ノ事

十三年第六號布告ヲ
 以徳島縣ヲ置キ阿波
 一國ヲ管轄セシム

一 船舶賈買願ヲ聽許シ及假鑑札ヲ附與シ之ヲ處分スルノ事

○高知縣郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
土佐郡	郡内高知町	名東勝浦郡	名東郡寺島
幡多郡	郡内中村	高岡郡	郡内須崎村
香川郡	郡内伊野村	永岡郡	郡内大堀村
海部郡	郡内赤岡村	安藝郡	郡内安藝村
名西郡	郡内日和佐村	那賀郡	郡内富岡村
阿波麻植郡	郡内石井村	板野郡	郡内南濱村
三好郡	麻植郡川島町	美馬郡	郡内脇町
	郡内池田町		

右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ

- 一 權限内ノ事件ニ付各府縣其他へ往復照會ノ事
- 一 難破船ニ係ル事務處分ノ事
- 一 士族貫屬替願ノ事
- 一 旅行人病氣行倒ノ節處分ノ事
- 一 漁船西洋形帆前船ヲ除ノ外諸船讓受渡及解船願ノ事
- 一 諸船鑑札檢印願ノ事
- 一 船舶賈買歸國者鑑札添翰付與ノ事

第八款 郡區務

一牛馬商願ノ事 ○大阪府郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
東區	備後町二丁目	南區	南炭屋町
西區	阿波堀通五丁目	北區	樽屋町
東成郡	郡内天王寺村	西成郡	郡内上福島村
住吉郡	郡内安立町	島下郡	郡内高槻村
豐島郡	郡内池田村	能勢郡	郡内池黄村

右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件拔抄左ノ如シ
 一行旅病人及無籍流寓人并棄兒迷子倒死變死人處分ノ事
 一郵送人處分及ヒ原籍往復ノ事
 一五十石未滿ノ船營業願并ニ檢印鑑札下付ノ事
 一諸車營業願并ニ檢印鑑札下付ノ事
 一牛馬賣買願ノ事

○京都府郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
上京區	當分府廳内	下京區	當分府廳内
伏水區	板橋貳丁目	宇治久世郡	宇治郡宇治郷
乙訓紀伊郡	紀伊郡上島羽村	愛宕郡	郡内下鴨村

十四年第四十二號布告ヲ以伏見區ヲ廢ス

十四年第四十二號布告ヲ以島根縣ヲ管轄ス

葛野郡	郡内太秦村	綴喜郡	郡内田邊村
相樂郡	郡内木津村	北桑田郡	郡内周山村
南桑田郡	郡内龜岡	船井郡	郡内園部
河鹿郡	郡内綾部	天田郡	郡内福智山
與謝郡	郡内宮津	加佐郡	郡内舞鶴
中郡	郡内峯山	熊野郡	郡内久美濱
竹野郡	郡内綱野村		

右郡區長ニ特任シ他府縣へ關涉スル條件不明瞭ニ付姑ラク茲ニ掲ケス
 ○島根縣郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
島根秋鹿郡	意宇郡松江灘町	能義郡	郡内廣瀬村
仁多郡	郡内三成村	大原郡	郡内大東村
出雲猶能郡	猶能郡平田村上ケ分	神門郡	郡内今市村
飯石郡	郡内掛合村	邇摩安濃郡	邇摩郡佐摩村
邑智郡	郡内川本村	那賀郡	郡内淺井村
美濃郡	郡内益田本郷	鹿足郡	郡内後田村
日野郡	郡内二部宿	會見郡	郡内米子町
汗入八橋郡	八橋郡赤崎宿	久米河村郡	久米郡倉吉町

第八款 郡區務

氣多郡 郡内勝見村 高草郡 郡内吉岡村
 八上智頭郡 智頭郡用ヶ瀬宿 八東郡 郡内安井宿
 邑美法美郡 邑美郡鳥取堀端町

右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件披抄左ノ如シ
 一舟車營業處分及檢査之事
 一宿村送ノ償却金原籍調照會ノ事
 一牛馬賣買營業願ノ事
 一他管下ニテ藝娼妓ヲ營ムモノ添書ノ事

○石川縣郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
南條今立郡	南條郡武生町	丹生郡	郡内吉江町
足羽吉田郡	足羽郡福井町	大野郡	郡内大野町
坂井郡	郡内坂井港	江沼郡	郡内大聖寺町
能美郡	郡内小松町	石川郡	郡内松任町
金澤區	金澤西町	河北郡	郡内津幡驛
羽咋郡	郡内羽咋村	鹿島郡	郡内七尾町
鳳至珠洲郡	鳳至郡輪島町	礪波郡	郡内今不動驛
射水郡	郡内高岡町	婦負郡	郡内富山愛宕町

十四年第三號布告ヲ以テ福井縣ヲ置キ越前若狹兩國一圓管轄セシメ十六年第十五號布告ヲ以テ富山縣ヲ置キ越前中國一圓管轄セシメ

上新川郡 郡内富山惣出輪 下新川郡 郡内魚津町
 右郡區長へ特任シ他府縣へ關係セル條件披抄左ノ如シ

一原籍係合ノ事
 一諸車營業并檢印ノ事
 一海川小舟并檢印ノ事
 一行旅病人宿村送り病死ノ事
 一宿村送りノ者償却金往復ノ事

○和歌山縣郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
和歌山區全上市街	海部郡西汀町	名草海部郡	名草郡秋月村
那賀郡	郡内清水村	伊都郡	郡内妙寺村
有田郡	郡内湯淺村	日高郡	郡内御坊村
西牟婁郡	郡内田邊	東牟婁郡	郡内新宮

右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉セル事件披抄左ノ如シ
 一難破船及漂流物處分ノ事
 一行旅者死亡處分ノ事
 一宿村送りノ者償却金及ヒ原籍照會ノ事
 一遺失船等ニ係リ他管廳ト往復ノ事
 一牛馬賣買營業鑑札願ノ事

第八款 郡區務

一船舶賣買ニ付他管廳へ照會ノ事

○三重縣郡區分盡

所管	役所位置	所管	役所位置
桑名郡	郡内桑名	員辨郡	郡内南大社
三重朝明郡	三重郡四日市	鈴鹿郡	郡内龜山
奄藝河曲郡	奄藝郡白子	安濃郡	郡内津
一志郡	郡内久居	飯高飯野郡	飯高郡松坂
多氣郡	郡内相可	度會郡	郡内山田
阿拜山田郡	阿拜郡上野	名張伊賀郡	名張郡築瀬
答志英虞郡	答志郡鳥羽	北牟婁郡	郡内尾鷲
南牟婁郡	郡内木ノ本		

右郡區郡へ特任ノ條件ハ不明ラニ付姑ク記載セズ

○岐阜縣郡區分盡

所管	役所位置	所管	役所位置
厚見各務郡	厚見郡岐阜町	羽栗中島郡	羽栗郡笠松村
方縣郡	下石津郡高須村	多藝上石津郡	多藝郡島田村
海西下石津郡	郡内乘井村	安八郡	郡内大垣町
不破郡	大野郡三輪村	本巢席田郡	本巢郡北方村

山縣郡	郡内高富村	武儀郡	郡内上有知村
上郡	郡内八幡町	加茂郡	郡内大田村
可兒郡	郡内御嵩村	土岐郡	郡内多治見村
惠那郡	郡内大井村	大野益田郡	大野郡高山町
		吉城郡	

右郡長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件披抄左ノ如シ
 一倒死變死人ニ屬スル取扱ノ事
 一復籍人遞送費等償却ノ事
 一五十石未満船檢印並ニ諸船賣買讓渡願ノ事

○愛知縣郡區分盡

所管	役所位置	所管	役所位置
名古屋區全市街一圓名古屋市内	愛知郡	郡内熱田	
春日井郡	郡内下小田井村	中島郡	郡内稻葉村
丹羽栗栗郡	丹羽郡小折村	海東海西郡	海東郡津島村
知多郡	郡内半田村	碧海郡	郡内知立村
幡豆郡	郡内西瓦	額田郡	郡内岡崎
西加茂郡	郡内學母村	東加茂郡	郡内足助村
北設樂郡	郡内田口村	南設樂郡	郡内新城村
室飯郡	郡内御油村	渥美郡	郡内豐橋

第八款 郡區務

八名郡 郡内富岡村

右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ

一 士族平民貫屬換願ノ事

一 旅人遞送願ノ事

一 旅人發病及病死變死等ノ節處分ノ事

一 原籍調ノ事

一 寄留人異動ノ節本管廳へ通報ノ事

一 難破船及漂流物處分ノ事

○静岡縣郡區分盡

所管

役所位置

所管

役所位置

加茂那賀郡

加茂郡下田町

君澤田方郡

田方郡韭山町

駿東郡

郡内沼津驛

富士郡

郡内吉原驛

庵原郡

郡内興津驛

有渡安部郡

安部郡靜岡

榛原郡

郡内靜波町

佐野城東郡

佐野郡掛川驛

周智郡

郡内森町村

豐田山名磐田郡

磐田郡見付驛

長上數知濱名郡

數知郡濱松驛

龜玉引佐郡

引佐郡氣賀村

右郡長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ

一行旅病人ヲ遞送シ行倒者ヲ處分スル事

一 諸船車ノ檢査及ヒ鑑札下附ノ事

但西洋形商船ハ限外

○神奈川縣郡區分盡

所管

役所位置

所管

役所位置

橫濱區全市街一圓 市内本町一丁目

久良岐郡

郡内笹下村

橘樹郡

郡内神奈川驛

都築郡

郡内川井村

西多摩郡

郡内青梅町

南多摩郡

郡内横山宿

北多摩郡

郡内府中驛

三浦郡

郡内横須賀町

鎌倉郡

郡内戸塚驛

高座郡

郡内藤澤驛

大住陶綾郡

陶綾郡大磯驛

足柄上郡

郡内關本村

足柄下郡

郡内大田原驛

愛甲郡

郡内厚木町

津久井郡

郡内中野村

右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ

一 難破船漂流物ノ事

但外國船内國大難破船ハ限外

一 人民ヨリ他府縣へ出願ノ節添翰ノ事

一 原籍問合ニ付往復ノ事

一行旅ノ困難及行倒人並ニ無籍漂流人取扱及往復ノ事

一 復籍人遞送費ニ付往復ノ事

一 諸車檢査ノ事

第八款 郡區務

一牛馬賣買營業願及鑑札付與ノ事
一賣買船ニ付各府縣照會ノ事

○東京府郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
麴町區	麴町隼町	神田區	小川町
日本橋區	岩代町	京橋區	築地一丁目
芝區	芝公園地内	麻布區	麻布宮村町
赤坂區	赤坂表三丁目	四ッ谷區	四ッ谷傳馬町一丁目
牛込區	神樂町三丁目	小石川區	小石川表町
本郷區	湯島切通町	下谷區	上野公園地内
淺草區	淺草諏訪町	本所區	本所元町
深川區	深川伊勢崎町	荏原區	郡内北品川宿
東多摩郡	郡内中野村	南豐島郡	郡内々藤新宿
北豐島郡	郡内板橋宿	南足立郡	郡内千住北組
南葛飾郡	郡内西小松川村		

右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件抜抄左ノ如シ
一士族貫屬換ノ事
一五十石未満船及ヒ諸車賣買讓渡願並ニ該事件及遺失舟車等ニ係リ他管廳ト往復スル事

一解船破船届ノ事
一牛馬賣買營業願鑑札願ノ事

○埼玉縣郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
北足立新座郡	足立郡浦和宿	入間高麗郡	入間郡川越町
比企横見郡	比企郡松山町	秩父郡	郡内大宮郷
兒玉賀美那珂郡	兒玉郡本庄宿	北埼玉郡	郡内行田町
大里麻羅郡	大里郡熊谷宿	南埼玉郡	郡内岩槻町
榛澤男衾郡			

北葛飾中葛飾郡 葛飾郡杉戸宿
右郡長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件抜抄左ノ如シ

一原籍照會ノ事

一船車檢印刷ノ事

一船車讓渡願ノ事

○千葉縣郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
千葉市原郡	千葉郡千葉町	東葛飾郡	郡内松戸驛
印旛下垣生郡	印旛郡佐倉町	長柄郡	長柄郡茂原村
南相馬郡		上垣生郡	郡内佐原村
山邊武謝郡	山邊郡東金町	香取郡	

第八款 郡區務

海上匝斐郡 海上郡銚子

望陀周准郡 天羽郡

望陀郡木更津村

夷隅郡 郡内大喜多町

安房郡平郡 朝夷長狹郡

安房郡北條村

右郡長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件不明了ニ付姑ク茲ニ掲ケズ

○茨木縣郡區分盡

所管

役所位置

所管

役所位置

東茨木郡 郡内水戸市内

西茨木郡

郡内笠間村

那珂郡 郡内管谷村

久慈郡

郡内大田村

多賀郡 郡内高萩村

眞壁郡

郡内下館

鹿島郡 郡内鉾田村

行方郡

郡内麻生村

新治郡 郡内土浦町

筑波郡

郡内谷田部町

信太河内郡

西葛飾郡

猿島郡境町

結城岡田郡

北相馬郡

郡内取手宿

豐田郡 郡内本宗道村

北相馬郡

郡内取手宿

右郡長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ

一處刑滿期放免人等縱放シ難キ止ムヲ得ザル分チ其管廳へ遞送シ又ハ遞送人ヲ受取

其途中入費ヲ取立之ヲ償却スル事

一人民本籍ノ有無チ其管廳へ照會應答スル事

一諸船車檢印及賣買等ノ願チ許可スル事

一難破船ノ事ヲ調理スル事

一半馬賣買願チ許可スル事

一船舶賣買歸國者仮鑑札及添翰付與ノ事

○椽木縣郡區分盡

所管

役所位置

所管

役所位置

足利梁田郡

足利郡足利町

安蘇郡

郡内佐野町

下都賀寒川郡

寒川郡椽木町

上都賀郡

郡内鹿沼驛

河内郡

郡内宇都宮驛

芳賀郡

郡内眞岡町

鹽谷郡

郡内矢板村

那須郡

郡内大田原村

右郡長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ

一人民本籍ノ有無及身分上關係ノ事チ其管廳へ照會應答スル事

一犯罪人決放人及脱籍無産ノ輩成規ニ照シ其管廳へ縱放或ハ遞送人ヲ入籍シ其旅費

等ヲ徴収償却スル事

一船車賣買願チ許可スル事

一諸公債証書讓受渡チ成規ニ照シ處分スル事

但他管ニ關係スルモノハ通知スル事

○山梨縣郡區分盡

所管

役所位置

所管

役所位置

東山梨郡 郡内平等村 西山梨郡 郡内甲府
 東八代郡 郡内鵜飼村 西八代郡 郡内市川大門村
 南巨摩郡 郡内鵜澤村 中巨摩郡 郡内龍玉村
 北巨摩郡 郡内韭崎驛 南都留郡 郡内谷村
 北都留郡 郡内猿橋驛
 右郡長ニ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ
 一原籍取調ニ付管廳へ往復ノ事
 一船車檢印願並ニ賣買讓渡ノ事
 一復籍人遞送費償却ニ付他府縣へ往復ノ事

○長野縣郡區分盡

所管	役所位置	所管	役所位置
南佐久郡	郡内白田村	北佐久郡	郡内岩村田町
小縣郡	郡内上田町	諏訪郡	郡内上諏訪村
上伊那郡	郡内伊那村	下伊那郡	郡内飯田町
西筑摩郡	郡内福島村	東筑摩郡	郡内北深志村
南安曇郡	郡内豐科村	北安曇郡	郡内大町村
更科郡	郡内鹽崎村	埴科郡	郡内屋代村
上高井郡	郡内須坂村	下高井郡	郡内中野町
上水内郡	郡内長野町	下水内郡	郡内飯山町

右郡長ニ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ
 一原籍照會取扱ノ事
 一犯罪ヲ除ク外事故アルモノヲ宿村送りナテテ原籍へ達シ又ハ原籍へ宿村送りナテテ着クスルモノヲ取扱ノ事
 一五十石未滿諸船解船破舟届ノ事
 一諸船檢印ノ事

○福島縣郡區分盡

所管	役所位置	所管	役所位置
信夫郡	郡内福島	伊達郡	郡内保原
安達郡	郡内二本松	安積郡	郡内桑野
岩瀬郡	郡内須賀川	南會津郡	郡内田島
北會津郡	郡内若松	耶麻郡	郡内堀川
河沼郡	郡内坂下	大沼郡	郡内高田
東白川郡	郡内柳倉	西白川郡	郡内白川
石川郡	郡内石川	田村郡	郡内三春
菊多郡	郡内盤城	檜葉標葉郡	檜葉郡富岡
盤城郡	郡内盤城	檜葉標葉郡	郡内津川
行方宇多郡	郡内宇多郡中村	東蒲原郡	

右郡長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ

第八款 郡區務

一行旅病人處分濟屈ノ事
 一縱放シ難キ事故アル犯決放者并ニ脱籍無産ノ者遞送ノ事
 一宿村遞送人旅費ヲ償却スル事
 一船車ノ檢査及處分ノ事

○宮城縣郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
仙臺區	仙臺市內	刈田柴田郡	柴田郡大河原村
伊具亙理郡	伊具郡角田本郷	名取郡	郡內長町村
宮城郡	郡內原町驛	黒川加美郡	黒川郡吉岡驛
志田玉造郡	志內郡古川驛	遠田郡	郡內涌谷驛
栗原郡	郡內築館村	登米郡	郡內佐沼驛
桃生郡	郡內廣瀨村	牡鹿郡	郡內石巻村
國吉郡	郡內本吉村		

右郡區長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ
 一宿村遞送取扱ノ事
 一新造船並ニ解船及賣買讓渡願ノ事
 一五十石未満船間數檢査及烙印ノ事
 一諸車檢印ノ事
 一原籍取調ノ事

○青森縣郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
東津輕郡	郡內青森町	西津輕郡	郡內修ヶ澤町
中津輕郡	郡內弘前町	南津輕郡	郡內黒石町
北津輕郡	郡內五所河原町	上北郡	郡內七戸村
下北郡	郡內名部村	三戸郡	郡內八戸村

右郡長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ
 一牛馬賣買營業願ノ事
 一諸船車取扱ノ事

○岩手縣郡區分畫

所管	役所位置	所管	役所位置
南岩手郡	郡內盛岡	北岩手郡	郡內大更
紫波郡	郡內郡山	稗貫郡	郡內花巻
東和賀郡	郡內黒澤尻	西和賀郡	郡內新町
江刺膽澤郡	膽澤郡水澤	氣仙郡	郡內盛
西磐井郡	郡內一ノ關	東磐井郡	郡內千麿
西芳伊郡	郡內横田	南芳伊郡	郡內釜石
東芳伊郡	郡內宮石	中芳伊郡	郡內川井
北芳伊郡	郡內岩泉	南九戸郡	郡內大川目

第八款 郡區務

北九戸郡 郡内 輕米 二戸郡 郡内 福岡
右郡長へ特任ノ條件ハ不明瞭ニ付姑ク茲ニ掲ケズ

○山形縣郡區分畫

所管役所位置不明瞭ニ付姑ク茲ニ掲ケズ

右郡長へ特任シ他府縣へ關涉セル條件援抄左ノ如シ
一 遞送ヲ以テ原籍へ着スル者旅費徴收償却スル事
一 原籍係合ノ事
一 船車檢印ノ事

一無籍無産ノ者縱放及遞送等處分ノ事

○群馬縣郡區分畫

所管

役所位置

所管

役所位置

東 群馬郡	郡内前橋曲輪町	南 勢多郡	右 同 斷
西 群馬郡	郡内高崎宿	片 岡 郡	右 同 斷
綠 野 郡	郡内郡藤岡町	南 甘樂郡	右 同 斷
多 相 郡	郡内岡町	碓 氷 郡	郡内安中宿
北 甘樂郡	郡内中ノ條町	利 根 郡	郡内沼田町
吾 妻 郡	右 同 斷	山 田 郡	郡内桐生新町
北 勢多郡	郡内太田村	邑 樂 郡	郡内館林町
新 田 郡	郡内伊勢崎町		
佐 位 郡			
那 波 郡			

右郡長へ特任ノ條件ハ不明瞭ニ付姑ク茲ニ掲ケズ

○新潟縣郡區分畫

所管

役所位置

所管

役所位置

新瀨區同市街一圓	市内西堀通六番町	北 蒲原郡	郡内新發田町
中 蒲原郡	郡内新津町村	西 蒲原郡	郡内卷村
東 蒲原郡	郡内三條町	三 島 郡	郡内與坂町
古 志 郡	郡内長岡町	北 魚沼郡	郡内小千谷町
東 魚沼郡	郡内六日町村	中 魚沼郡	郡内十日町村
刈 羽 郡	郡内柏崎町	東 頸城郡	郡内安塚村
中 頸城郡	郡内高田町	西 頸城郡	郡内糸魚川町
岩 舟 郡	郡内村上町	雜多加茂郡	郡内相川町
右郡長へ特任ノ條件ハ不明瞭ニ付姑ク茲ニ掲ケズ		羽茂郡	

○第七十四 十三年十一月廿五日

乙第四百十九号

郡 區

客年乙第九十一号ヲ以各府縣郡區分畫及郡區長管掌之事務ニシテ他府縣ニ關涉セル
條件中滋賀堺秋田之三縣ハ追テ可相達旨達置候處左之通相定候段通知有之候條此旨
相達候事

○滋賀縣郡區分畫

第八款 郡區務

十四年第三號布告ヲ以テ井ノ邊ヲ遷越シテ若ノ管轄セシム

所管	郡役所位置	所管	郡役所位置
滋賀郡	郡内大津驛	栗太郡	郡内草津村
野洲郡	全 守山村	甲賀郡	全 水口村
蒲生郡	全 八幡	神崎郡	全 八日市村
愛知郡	全 中宿村	犬上郡	全 彦根
阪田郡	全 長濱	東淺井郡	全 速水村
伊香郡	伊香郡木ノ本村	高島郡	全 内今津村
西淺井郡	郡内 敦賀	三方郡	全 佐柿村
敦賀郡	全 小濱	大飯郡	全 高濱
遠敷郡	全 小濱		

右郡長ニ特任シ府縣ニ關涉スル條件抜抄左ノ如シ

- 一 原籍調査之事
- 一 編籍願之事
- 一 諸船鑑札及檢印刷之事
- 一 但西洋形諸船ハ此限ニ非ラス
- 一 諸船賣買及解船届之事
- 一 但書前同斷
- 一 牛馬賣買鑑札願之事
- 一 賣藥受買及行商願之事

十四年第三號布告ヲ以テ井ノ邊ヲ遷越シテ大坂府ヘ合併ス

所管	郡區分並	郡區役所位置	所管	郡區役所位置
堺區堺市中一圓	大鳥郡 堺	茨野郡	茨田郡 牧方	
大鳥郡	大鳥郡ノ内 湊	讀野郡	宇智郡 五條	
南郡	南郡岸和田	吉野郡	若江郡 八尾	
式上郡	式上郡三輪	高市郡		
式上郡	式上郡三輪	高市郡		
古市郡	古市郡古市	丹波郡		
古市郡	古市郡古市	丹波郡		
志紀郡		丹波郡		
志紀郡		丹波郡		
添下郡		丹波郡		
添下郡		丹波郡		
添上郡		丹波郡		
添上郡		丹波郡		
山邊郡		丹波郡		
山邊郡		丹波郡		
廣瀬郡		丹波郡		
廣瀬郡		丹波郡		
平群郡		丹波郡		
平群郡		丹波郡		
右郡區長ニ特任シ府縣ヘ關涉スル條件抜抄左ノ如シ				

- 一難破船及漂流物處分之事
- 一戸籍ニ關スル願伺届之事
- 一牛馬賣買願之事
- 一賣藥請賣行商願之事
- 一諸公債証書ニ屬スル利子請渡之事
- 一船車ニ關スル願之事
- 一人民呼出之事
- 一原籍資力前科調之事
- 一管内外之者處刑濟其郡區役所へ通知之事
- 一教導職並ニ教會世話役撰舉スル照會ニ應答之事

○秋田縣郡區分畫

所管	郡役所位置	所管	郡役所位置
南 秋田郡	郡内西根小屋町	北 秋田郡	郡内鷹巢村
山 本 郡	郡内能代町	鹿 角 郡	郡内花輪村
河 邊 郡	郡内牛島村	仙 北 郡	郡内大曲村
平 鹿 郡	郡内横手村	雄 勝 郡	郡内湯澤町
由 利 郡	郡内本庄町		

右郡長ニ特任シ府縣へ關涉スル條件抜抄左ノ如シ
一行旅病人運送之事

- 一牛馬賣買鑑札願之事
- 一賣藥受賣行商願之事
- 一船舶賣買歸國者鑑札添給之事
- 一難破船漂流物處分之事

○第七十五 十二年八月二日

丙第九十三号

郡 區

島根縣松江鳥取濱田隱岐杵築米子各監獄署事務之内左ノ事項該縣獄司ヨリ直ニ郡區へ照會可致管ニ候條爲心得此旨相達候事

- 一懲役滿期縱放ノ節該管轄地方郡區役所へ通知ノ事
- 一已決囚原籍其管轄地方役所へ問合ノ事
- 一死囚遺體親戚へ引取方ノ儀該管轄郡區役所へ照會ノ事

○第七十六 十二年五月廿一日

第一課ヨリ各郡區へ

番外 郡區長專任之事務ニ付其取扱上疑問ノ廉アル時及ヒ布達々ニ明文ナキモノ等ニ付疑問ノ廉アル時ハ左ノ通御心得相成度此段及御達候也

- 一郡區長ニ於テ專任ノ事務ニ付其取扱上ニ疑問ノ廉アル時ハ伺書ノ文體ヲ以テ其郡區長ヨリ長官ニ宛其指令ヲ受クヘシ
- 一布達ニ明文ナキモノ等各郡區ノ事務ニ關涉シ疑問ノ廉アル時及ヒ前項ノ事件ニ付

第八款 郡區務

其取扱上鎖少ノ疑問ニシテ長官ノ指令ヲ要セサルモノハ質問ノ文體ヲ以テ其郡區長ヨリ主務課ヘ宛其意見ヲ乞フヘシ

一主務課ノ意見書ハ初メ立接ノ主意ニ原キ辨明スルモノニシテ規則命令ノ能力アルモノニ非ス故ニ他ノ規則命令等ニ矛盾スルモノハ自然消滅スルモノトス

○(第七十七) 十二年七月五日
乙第百廿七号

郡區長及ヒ郡區書記勤怠取調之儀ハ已來別紙雛形ニ倣ヒ月末毎ニ取調翌月五日限可差出此旨相達候事

但シ本年一月ヨリ六月迄ノ分ハ本月分一同差出候義ト可相心得候事

何年何月勤怠表

出勤	休日	縣廳出張	管外出張	管内出張	賜暇	忌引	歸省	病氣	
何日	何日								郡(區)長
									何等相當郡(區)書記
									某
									某

○(第七十八) 十二年七月七日
乙第百廿八号(戶)

巡查持區巡回ノ節手帳差出スルハ戶長又ハ用掛等(町村組長又ハ伍長等モ之ニ準ス)ニ於テ左ノ書式ニ準シ書載捺印可爲致此旨相達候事

但シ若シ止宿スル片ハ月日ノ下ニ止宿ノ二字ヲ加記スヘシ

何年何月何日

何村何々
何 某 印

○(第七十九) 十二年七月廿一日
乙第百卅八号

無告窮民救助願自今當廳ニ於テ處分候付テハ右給與方ノ義ハ該役所於テ客年乙第百三十九号並百七十号及ヒ本年乙第八十八号達之通可取計此旨相達候事

○(第八十) 十二年十一月廿七日

別紙寫書ノ通太政大臣ヨリ被達候旨内務卿ヨリ傳達有之候條郡區長ニ於テ取締可致

第八款 郡區務

此旨相達候事

(別紙)

凡ソ官吏タルモノ其職務ニ係ル外政談講學ヲ目的トシテ公衆ヲ聚メ講談演說ノ席ヲ開ク等不都合ノ儀ニ付右等ノ儀無之様各長官ニ於テ取締可致此旨相達候事
十二年五月
太政大臣三條實美

○(第八十一) 十二年十一月廿九日
番外

町村戸長勤怠ノ儀ハ其拜命ノ月ヨリ滿一ケ年毎其勤怠ヲ考査シ勉勵衆ニ卓越スルモノハ其事情ヲ具シ上申可致此旨爲心得相達候事

○(第八十二) 十三年二月六日
乙第廿二号(戸)

郡 區

記録文書ハ嚴重ニ保存候儀ハ勿論ニ候處爾來一層注意シ左之通相心得紛亂散佚シ後日ノ照會ヲ失ヒ事務ノ困難ヲ不生様取締相立毎年二月廿五日限目錄ヲ製シ可届出時宜ニ依リ内務省官吏派出檢査相成候儀モ有之候條其節ニ至リ不都合無之様豫可相心得此旨相達候事

但本年ノ儀ハ從來分共取纏メ目錄可差出候事
一 記録文書ハ總テ事柄ニ據リ部類ヲ分子彼是錯雜セサル様逐次編綴可致事
一 記録文書ハ一紙片葉ノモノト雖モ後日ノ照會トナルヘキモノハ嚴重編綴保存可致事

一 諸簿冊ハ總テ書函ニ入水火流燼ノ患ヲ避ヘキ様厚注意可致置事

一 簿冊ハ勿論繪圖面ノ如キモノト雖モ總テ目錄ヲ製シ一通ハ本廳ヘ差出一通ハ郡區役所ヘ備置主管者轉免ノ節ハ目錄ニ突合セ引繼可致事

但舊記檢出並新製ノ分目錄ニ追加シ本廳ヘモ毎一年纏メニ可指出事

一 町村役場ノ分ハ行政事務ニ係ルモノト公有記録ニ係ルモノトヲ區別シテ目錄ヲ製シ一通ハ郡區役所ニ差出シ一通ハ町村役場ニ置キ戸長任免ノ節ハ該目錄ニヨリ受渡可致事

○(第八十三) 十三年二月廿五日

筆記

山門郡三池郡三瀨郡

歛先地々主ト歛先人熟議相整候モノハ其旨届出サセ歛先地ノ名義臺帳ヘ記載致來候處右ハ委任條件ニ屬スルモノニ付以來郡役所ニ於テ取扱可申此旨爲心得相達候事

○(第八十四) 十三年三月十九日
乙第三十四号

郡 區

郡區長并郡區書記別紙雛形之通履歷相認本月末日限一郡區取纏メ可指出爾來新任之向ハ三日内指出候條可致此旨相達候事

(別紙)

(○印ヲ付スハ朱字)

某府十族平民元某府
轉籍或ハ府縣改稱改置ア
縣ヲ如此記スヘシ

○丁卯冬御一新ノ節
 ○ニク在職ハ版籍奉
 ○事ヲ已十一月知悉
 ○事ヲ儘ク以來ナ配

○御一新後氏名通稱等相改候輩
 ハ左側ニ舊稱ヲ記シ朱ニテ圍ム

苗字姓名

通稱元何何々

年号干支月日生

年号干支月日

任何々或被仰付候事

何藩府

但辭令達書全文ヲ記載ス書付無之候ハ、
 月日ノ下ニ口達ト註スヘシ以下準之

同何年干支何月何日

何々ニ付某地ニ

出張被仰付候事
 在勤或ハ申付候事

何藩府

同年何月何日

免本官或何々指免候事

何藩府

同年同月同日

在職中勉勵

或何々ニ付何々

下賜候事

何藩府

○同何年干支何月何日

○何藩府被廢何府縣被置

同何年干支何月何日

何等出仕申附候事

何藩府

同何年何月何日

補何等出仕

何藩府何々知參事

位苗字名奉

同何年何月何日

任何官或兼補何々

何藩府何々官姓名奉

同何年何月何日

免兼官或ハ何々

何藩府

以下準之

○第八十五 十三年四月廿六日

乙第四十五号(戶)

郡區長及ヒ戶長轉免ノ節事務受渡規則左之通相定メ候條此旨相達候事

郡區

第八款 郡區務

九十五

九十四

事務請渡規則

第一條 郡區長及ヒ戸長轉免ノ節事務ノ受渡ハ新吏員赴任ノ日ヨリ日數十日以内ニ結了シ其趣新舊吏員連署郡區長ハ縣廳戸長ハ郡役所へ届出ヘシ
但シ本文日限中ニ引繼難キ事由アルハ新舊吏員連署延期申立ヘシ

第二條 受繼キ條件ノ内其措置成規例格ニ乘戻スルカ或ハ後來ノ弊害トナリ引受難キ件々ハ其事由ヲ詳ニシテ郡區長ハ縣廳戸長ハ郡區役所ニ稟議スヘシ

第三條 郡區又ハ町村ノ戸數人員反別等ヲ始メ緊要ノ件々ハ詳記シテ之ヲ引渡ヘシ

第四條 國稅地方稅并ニ協議費ハ其金額及ヒ徵收既濟未濟ヲ分別シ明細ノ帳簿ヲ以テ之ヲ引渡スヘシ

第五條 役所又ハ役場ノ縣廳郡區役所ヨリ受取タル經費金ハ其受取高支出過不足協議費支辨經費金ハ其收入額并ニ支出過不及等明細帳ヲ以テ之ヲ引渡スヘシ

第六條 郡區又ハ町村共有之地所建物又ハ金穀物品ハ明細ノ牒簿ヲ以テシ其郡區町村公共ニ係ル金穀アラハ其數量ヲ詳記シ證書若シクハ契約書等ノ寫ヲ添ヘ俱ニ之ヲ引渡スヘシ

第七條 成規又ハ命令ニ由リ又ハ町村會ノ決議ニ由テ着手スヘクシテ未タ着手セサル者及處辨中ノ事項并ニ人民ヨリ申出タル事件ニシテ未着手ノ件々ハ之ヲ明記シ尙是カ處分方ニ意見アルモノハ詳細ノ演習書ヲ作り俱ニ之ヲ引渡スヘシ

第八條 戸籍地籍ヲ始メ役所役場ニオイテ保管スル一切ノ記録圖書類并ニ諸器具類ハ總テ明細ノ目錄ヲ作り之ヲ引渡スヘシ

第九條 以上ノ手續ニ隨ヒ緻密ノ受渡ヲ爲ス可シ万一受授ノ相漏ヨリ他日紛擾ヲ醸スモノハ渾テ引受吏員責任タルヘシ

○(第八十六) 十三年五月五日

丙第四十六号(戸)

郡 區

熊本鎮臺幕僚參謀將校各地方地理研究且人情探知等之爲メ逐テ派出之上郡區長又ハ戸長ニ諮問候筋モ可有之趣ニ付爲心得此旨相達候事

○(第八十七) 十三年七月九日

乙第九十六号(戸)

郡 區

戸長職務上件疑義有之節ハ郡區長へ伺出スヘシ此旨相達候事

○(第八十八) 十三年七月廿日

乙第百六号(戸)

郡 區

金穀貸借証書ヲ以テ公証ヲ要スルハ戸長ハ地處家屋等ノ書入質入ヲ公証スルモノニシテ利息ノ制限ニ超ユルト否トニ關セサル儀ト可相心得此旨相達候事
但シ本文ニ抵觸スル從來ノ達指令書等ハ總テ廢止候義ト心得ヘシ

○(第八十九) 十三年七月廿八日

丙第六十八号

郡 區

熊本鎮臺參謀部ニ於テ地圖製造ノ爲メ郡内統計表入用之節ハ當管下各郡區長ニ向ケ

第八款 郡區務

該部ヨリ直ニ依頼越候條調查之上回答可致別紙雛形相添此旨相達候事
(別紙)

郡内統計表

形勢
 郡域
 村數 戸數、人口、牛馬疋數、舟舶、電線、荷車、人力車ノ輛數、飲水ノ善惡、木匠鍛工、及ヒ漁人、舟子、ノ如キ戰時ノ需用ニ供スヘキ者ハ其人員ノ大畧ヲ掲クヘシ
 一人幾干ノ兵ヲシテ宿泊セシムルニ適スルカ及病院糧食課等ニ適用スヘキ家屋ノ有無
 但寄留人アル片ハ其區別ヲ要ス

町數 前全斷
 歲額 五穀雜穀及粟種ノ石高
 郡管 郡役所ハ、何所ニ、設立、全郡、及何島、何浦、等兼轄次第
 學校 公立、私立、并大小中學ノ區別、及家屋ノ大小幾干ノ兵ヲ容ル、ニ適スルカ
 驛所 何町、村、何島、字何所郵便局
 原野 地勢ハ、何村落ニ連瓜、或ハ平坦、凹凸、丘陵、廣狹ノ大畧
 森林 廣袤、疎密、種類、其園外形狀
 島嶼 何沖、何海、何方位、ニ獨島シ、其濱岸ヲ去ル幾里及周圍ノ里程ト海面上ヨリ

港灣 ノ高度并其近傍海底ノ深淺及漁獵ノ多寡物産種類
 燈臺 何浦、何所ニ、設立及ヒ燈照遠近ノ里程、
 岬角 何方位ニ突出、其陸地ヨリ岬角迄ノ里程并邊海ノ深淺、
 海峽 海峽間ノ距離、并潮滿落遲速、及深淺、
 暗礁 海岸ヨリ里程
 河渠 四時ニ於テ深淺ノ差異如何、舟上下源流ノ位置及流出口ノ形狀、流水ノ遲速
 河流里程、并幅員、橋梁ヲ架スルヤ及橋梁ノ結構、舟楫ヲ以テ渡ルヤ或ハ徒涉シウルヤ
 溫泉 何町、村、効驗、如何及泉質、
 神社寺院 何町、家屋ノ大小幾干ノ兵ヲシテ容ル、ヘキカ糧食課、炊事場、等ニ適否
 及戰時、病院等ニ適否及近傍村落ノ形況
 物産
 鑛山 何村、何山、源質良否、官地、私地ノ分區、
 谷山 名稱、及ヒ山谷樹木ノ種類、并大小
 耕地 水田ナルヤ畑地ナルヤ其栽スル處ノ植物ノ大略
 池沼 何村字所其周邊里程并深淺
 備考 人情、風俗、農商ノ勤惰物産ノ盛否、各港浦々ノ貿易狀態、及漁獵形況等概旨

○(第九十一) 十三年八月十六日

第八款 郡區務

乙第百十三号

郡區役所備付品其他反古等ノ不用物品ハ公ノ入札拂取計年度末ニ至リ明細仕譯書ヲ添ニ該金上納可致此旨相達候事

郡區

百

○(第九十一) 十三年九月廿五日

乙第百廿八号

地所質入ノ節ハ租稅并諸掛金正金主ニ於テ相辨候義ニ付追テ何分相達候迄ハ右届書扱所ニ留置戸長ニ於テ諸事届出之通可取計旨明治十一年乙第百四号ヲ以テ相達置候處諸稅収納及ヒ地券取扱正郡區長ヘ委任ノ上ハ該達ハ消滅ニ屬シ候條已來郡區長ヘ可届出儀ト可相心得此旨相達候事

郡區

○(第九十二) 十三年十月二日

乙第百三十一号

懲戒ニ據リ罰俸ヲ追徴法左之通相定候條此旨相達候事
郡區吏懲戒ニ據リ罰俸ヲ追徴スルノ法其一月給俸半額以下ハ一月俸中ニテ追了シ其以上ハ毎月給俸ノ半額ヲ預置シ數滿テ納附スヘシ
但月俸支給後罰俸ニ係ルモノハ其翌月之俸ヨリ追徴スヘシ尤延期乞願スルモ聽許セサルモノトス

郡區

第九款 布告達

揭示場

○(第九十三) 十一年二月廿一日

番外

地券証並ニ諸車鑑札盜難遺失又ハ紛失候節ハ時々布達致來候得共相廢止候條以來右等届出候ハ、左ノ書式ニ依リ揭示可致此旨相達候事

各警察署分署

書式

番号

何國何郡何町(村)居住身分

一何車鑑札

持主 何ノ某

右之鑑札何年何月何日被盜取或ハ何所ニ於テ遺失(紛失)候段届出候條若シ右鑑札所持ノ者有之候ハ、當警察署(分署)ヘ可届出此旨揭示候事

年 月 日

何地 警察署

番号

何國何郡何町(村)居住身分

一畑(田)何反何畝步

持主 何ノ某

此高何斗何升

此地代金何圓何拾錢

右地券証何年何月何日以下右同シ

○(第九十四) 十一年十一月二日

乙第百三十五号

郡區長

第九款 布告達

百一

十二年乙廿一號(第百三十五號)第七(百七)番照

郡區長限リ其部内ニ布達スル事件又ハ其町村戶長限リハ達スル事件等ハ其事ノ大小トナク發行ノ後子直ニ當廳ヘ可届出此旨相達候事

○(第九十五) 十一年十一月二日
丙第八十九号

郡區長

郡區長ヨリ其郡區内一般へ相達スルモノト町村戶長限リ可相心得モノ、達書ト相混同セサルカ爲メ左ノ區別ニ從ヒ夫々取計候様可致此旨相達候事

記号ノ區別

天第何号
地第何号
人第何号

郡區内一般へ布達ノ例
町村戶長限リ達ノ例
同 一時爲心得達ノ例

結文ノ區別

云々候條此旨及布達候事
云々候條此旨爲心得及達候事

郡區内一般へ布達ノ例

町村戶長限達ノ例

同 一時爲心得達ノ例

○(第九十六) 十一年十一月六日

丙第九十号

各郡區長

布告布達類揭示場設置之儀左之通相心得不用之分ハ拂下可取計旨内務省ヨリ被相達候條此旨相達候事

但不用揭示場民費建設ニ係ルモノハ人民へ下渡官民兩費ニテ涉ルモノハ拂下ノ上其費途支出之割合ヲ以テ分配候様可取計事

一 揭示場ハ本廳及郡區役所共廳門外便宜之地ヲ撰ヒ壹箇所宛設置スヘシ

但從前揭示ヲ要セサル地方ニ在テハ故ラニ設置ニ及ハス尤人民協議ヲ以テ各町村ニ設置スルト警察署ニ於テ揭示スル違式註違條列表札類ハ此限ニ非ス

一 從前建設スル揭示場郡區役所最寄町村ノ内設置有之分ハ追テ各廳へ移轉之積相心得目今新設ニ及ハス破損等アルニ臨ミ最寄ノ廳へ移轉シテ修繕スヘシ

一本廳其他各廳へ設置スヘキ員數ヲ差繰リ人民輻輳之地へ建設スル等其地ノ便宜タルヘシ

○(第九十七) 十一年十一月七日

乙第四百十二号

郡區

布達々文例左之通相定候條此旨可相心得候事

第一管内一般へ布達ノ例
云々候條此旨布達候事

福岡縣令渡邊清

第九款 布告達

百三

十五年甲一號ヲ以改
正ニ屬スレバ卷中布
達々ノ文例記號等ニ
關係アルヲ以テ茲ニ
掲載ス
第十四号乙百廿三號ヲ
以第一第二之區別ス

第二華士族或ハ社寺へ布達ノ例

云々候條此旨(華士族)(社寺)へ布達候事

第三各役所限リ達ノ例

福岡縣令渡邊清

云々候條此旨(相達)(内達)(可相心得)候事

郡 區

第四各戸長限リ達ノ例

福岡縣令渡邊清

云々候條此旨戸長へ相達候事

郡 區

第五一郡區役所限リ達ノ例

福岡縣令渡邊清

二三郡ヲ畫シテ

何郡 何郡

一郡役所タル處ハ

何郡

云々候條此旨(相達)(内達)(可相心得)候事

福岡縣令渡邊清

記号ノ例

一第一第二ノ布達ヲ甲号トス

一第三第四ノ達ヲ二類ニ分チ其規則トナルモノヲ乙号トシ一時心得ノ爲メ達スルモ

ノチ丙号トナス

一第五ノ達ヲ番外トス

○第九十八 十二年一月廿一日

乙第十八号

郡 區

客年乙第四百四十二号達布達々文例中第四項取消シ渾テ郡區へ相達候條此旨可相心得

○第九十九 十一年十一月十三日

廳内第五百五十六号

各 課

郡區長其部内布達スル事件又ハ其町村戸長限リへ達スルノ事件等ハ發行ノ後チ直ニ

當廳へ届出候ニ付右調査ノ順序左ノ通可相心得此旨相達候事

一施行届ハ第一課庶務科(當分改正委員)之ヲ受ケ通常回議法ニ因リ直ニ上局ニ出ス

一上局ノ檢印畢レハ施行届簿ニ綴リ込ミ尙ホ一通ヲ謄寫シ施行届簿ト割印シテ之ヲ

主務課ニ回達スヘシ

一主務課ニ回達スル時ハ施行届簿ニ(何月何日主務課回達)ト記シ主任ノ印ヲ捺シ置

クヘシ

一各課ハ速ニ回閱シ其郡區長ガ施行シタル事件法律命令ニ違ヒ又ハ行政上ニ妨害アルト認ルルハ取消ヲ命スルノ達案ヲ起稿シ通常回議法ニ依リ上局へ出スヘシ

第九款 布告達

十二年七月七日付達 (第四百四)參照

十二年乙十八號ヲ以テ第四項取消シ(第九十八)參照
十二年一月廿四日付達外ヲ以テ第四項取消シ(第九十八)參照
十二年一月廿四日付達外ヲ以テ第四項取消シ(第九十八)參照
十二年一月廿四日付達外ヲ以テ第四項取消シ(第九十八)參照
十二年一月廿四日付達外ヲ以テ第四項取消シ(第九十八)參照

一此回議ハ渾テ第一課庶務科(當分改正委員)ヘ合議スヘシ

○(第百) 十一年十二月十日

乙第百八十五号

郡 區

郡區長ニ限リ其部内布達スルハ事件ハ其都度長崎裁判所福岡支廳及所轄區裁判所並ニ最寄警察署ヘ通知可致此旨相達候事

○(第百一) 十二年一月二十一日

番外

第一課ヨリ各郡區役所ニ通知

本年乙第十八号ヲ以テ布達々文例第四項取消之義被達候ニ付テハ以來町村戶長事務上ニ關係候事件ハ達書欄外ヘ(戶)ノ字ヲ記シ活版ニ付スル分ハ客年乙第百六拾二号配達部數第二類ニ依リ配布可取計候條郡區ニ於テ戶長ヘ可相達見込之分ハ郡區長之姓名ヲ以テ別段添書ヲ付スル歟若クハ右書ヲ附スルカ又ハ便宜之法ヲ以テ達方取計可有之爲念此段及御達候也

○(第百二) 十二年一月二十四日

乙第廿一号

郡 區

郡區長限リ其部内ヘ布達及戶長ヘ達スル事件ハ其事ノ大小ト無ク發行後チ直ニ可届出此旨客年乙第百三拾五號ヲ以テ相達置候處間ニハ等閑ニ付シ取纏メ差出候モノモ有之不都合之至ニ候條爾後ハ必ス其時々可届出此旨相達候事

○(第百三) 十二年六月十七日

乙第百七号

郡 區

郡區長權内ノ事件ニ付之レテ施行センガ爲メ要用ナリトスルモ法律命令及縣令ヨリ達スル所ノ諸條規ヲ奉シ之レテ部内ニ布達シ又ハ順序手續ヲ指示スルヲ得ルト雖モ別ニ規則ヲ設立シテ頒布スルヲ得サル義ト可相心得此旨相達候事

○(第百四) 十二年七月四日

廳内第百廿八号

各 課

郡區長ノ郡内ニ施行スル布達々類調査順序ノ義兼テ相達置次第有之候處以來第一課ヨリ其主務課ヘ回議シ上局ヘ差出スヘシ尤主務課ニ於テハ該布達々面ニ就キ異見有之片ハ別段起議候義ト相心得ヘク此旨相達候事

○(第百五) 十二年七月七日

廳内第百三十五号

各 課

管内布達々文案ヲ起稿シ上局ヘ差出候時ハ原議者ニ於テ甲乙丙又ハ番外ト朱書シ其乙丙番外達シテ戶長ノ事務ニ關涉スルモノハ更ニ戶長ノ二字ヲ其文ノ欄外ニ朱書シテ可差出此旨相達候事

但標記ノ區別ハ左之通可相心得事

甲 管内一般ヘ布達スルモノ

乙 各郡區ヘ達スルモノニシテ後來ノ規則トナルモノ

第九款 布告達

丙 同上一時ノ達ニシテ後來ノ規則トナラサルモノ
番外 一郡或ハ數郡ニ達スルモノニシテ全管内ニ達セサルモノ

○(第百六) 十二年七月十一日
廳内第百十二号

- 第一 第一 第二 課
- 第三 第四 課
- 第五 第六 課

管内布達々官省進達各寮局鎮臺裁判所府縣ノ照會回答及ヒ郡區戶長并ニ人民願伺ノ指令決議ノ後取扱順序左ノ通相定候條此旨相達候事
但明十二日ヨリ施行候事

一原議者ハ上局ヨリ管内布達々官省進達各寮局鎮臺裁判所府縣ノ照會回答及ヒ郡區戶長并ニ人民願伺指令ノ決議案ヲ受クレハ第一課記録科書記擔當ニ交付スヘシ但シ計算書規則書及ヒ本文書ニ附屬スル諸書類ハ原議者ニ於テ淨書ノ上交付スヘシ其他管内布達々ハ其活版原書ヲ副ヘテ交付スヘシ

一第一課記録科書記擔當ハ原議者ヨリ決議案ヲ受クレハ直ニ通覽シ若シ其動議アレハ之ヲ動議者ニ回付シ其見留印ヲ取り而シテ後番号ヲ記シ淨書調印シテ發遣ノ手續ヲナスヘシ

但布達々ハ其原議者ヨリ受ケタル活版原書ヲ以テ印刷ニ附スヘシ
一都テ原案ニハ書記擔當ニ於テ執行ノ月日ヲ記シ捺印ノ上直ニ主務課編輯擔當ヘ交

附スヘシ其控登通ハ原議者ノ承印ヲ取り第壹課記録科編輯擔當ニ交付スヘシ但郡區戶長并人民願伺ノ指令ハ書類擔當ニ於テ其件名ト指令文ヲ指令簿ニ抄録シ之ニ指令書ト割印シ原議者ノ承印ヲ取り置クヘシ
一原案ハ前項ノ如ク都テ主務課編輯擔當ニ交付スト雖モ其原案首尾未完結セサルモノハ原議者ニ交付スヘシ

○(第百七) 十二年十月廿五日
乙第百八十五号

郡區長ニ於テ施行之布達々類ハ一切届出之成規ニ有之候處自今郡區長縣達ヲ受ケ繼キ(即チ縣達ノ全文ヲ掲ケタル分)所轄内ヘ達スル分ニ限り別段届出ニ不及候條此旨相達候事

○(第百八) 十三年一月六日
乙第一号(戶)

從來諸官省布告布達ハ縣廳ニ於テ右書之上布達致シ來候處自今右書ヲ用ヒ印刷之上直ニ配附候條從前之通頒布可致此旨相達候事

○(第百九) 十三年二月十七日

- | | |
|-----|-----|
| 庶務課 | 勸業課 |
| 租稅課 | 警察署 |
| 學務課 | 衛生課 |

第九款 布告達

廳内第十四号

出納課

從來拂下物品或ハ諸受負等之儀ニ付揭示方郡區役所へ命令シ手數爲取計候處福岡區外ニ關スル事件ニシテ是迄福岡區へ相達シ揭示爲致候分縣廳直下ニ屬スル揭示場ニ限り以來縣廳ニ於テ手數取計候儀可致爲心得此旨相達候事

○(第百拾) 十三年十月十四日

乙第百三十六号(戶)

郡

區

一 諸營業鑑札盜難ニ罹リ或ハ落失候旨届出候ハ、右之事由直ニ所轄町村役場郡區役所へ揭示可致事

一 布達ノ外廣告并揭示ニ止ルモノハ郡區役所及町村役場へ揭示可致事
右相達候事

第十款 諸願伺届

○(第百十一) 十年二月一日

甲第拾六号

退隱家督遺跡相續嫡子立換養子願並忌明養子離別届等ノ書式這般別冊之通更定候條以來雛形ニ照準可差出尤右書式外ノ種類有之節ハ可成丈別冊ニ準據シ可差出此旨士族ニ布達候事

十二年甲廿壹號ヲ以テ族平民家督相續養子實籍登ノ義自今出願ニ及ハズ戸長ニ可届出旨ヲ示ス(第百十二)ニ在リ
十二年甲二百十號ヲ以テ戸長ハ宛條差出ス條件ヲ示ス
十二年甲二百十號ヲ以テ取消シ更ニ差出方區別ヲ得シ

(別冊)

書式目錄

(○又ハ○点ヲ加ヘルハ朱字)

- 第一号 一 退隱家督願 ○五十年以上ノ者隱居スルノ書式
- 第二号 一 同上 ○五十年以下ノ者隱居スルノ書式
- 第三号 一 退隱再相續願 ○實男子無之ニ付父再相續スルノ書式
- 第四号 一 同上 ○退隱シテ實家へ復籍スルノ書式
- 第五号 一 病氣危篤ニ付家督願
- 第六号 一 病氣危篤ニ付女子へ家督願
- 第七号 一 病氣危篤ニ付相續願
- 第八号 一 病氣危篤ニ付他ヨリ養子家督願 ○第五号ヨリ第八号迄ノ願中本人死去カ或ハ第五号ヨリ第八号迄ノ願中本人死去カ或ハ願書相認メ候儘死去スレハ直ニ親戚ヨリ追願書式
- 第九号 一 死去ニ付遺跡願 ○夫ヲ迎ヘ家督相讓ルノ書式
- 第十号 一 迎夫相續願 ○不取締ニ付親戚中ヨリ退隱ナサシムルノ書式
- 第十一号 一 不取締ニ付親族ヨリ退隱願 ○徴兵服役中之者ヲ養子スルノ書式
- 第十二号 一 養子願
- 第十三号 一 同上
- 第十四号 一 嫡子立換願
- 第十五号 一 廢嫡他ヨリ養子願

第十款 諸願伺届

十二年甲三十四號ヲ以テ届書式ニ改正ニ付本文ヲ除ク

十二年甲三十四號ヲ以テ届書式ニ改正ニ付本文ヲ除ク

第十六号 一承諾書

士民ノ別ナク其養子或ハ迎夫トナル者ノ實
○家戶主ヨリ此書面ヲ取都テ養子願迎夫願ニ
相副フヘシ

第十七号 一忌明届

第十八号 一養子離届

(書式)

(第二号) 退隱家督願

私儀何年幾月ニ罷成候處何年何頃ヨリ病ニ罹リ別紙診斷書之通ニ有之候間。(無病ノ者不得止次第有之者ハ何年何頃ヨリ以下ノ句ヲ除キ此處へ(何々ニ付)ト其事由ヲ委詳書加フヘシ) 退隱被差許家督之儀長男誰何年幾月ニ罷成候ニ付同人エ被仰付度奉願候也

何國第何大區何小區

何郡何村(町)何番屋敷居住

士族

何ノ誰印

年号月日 長官宛

前書之趣事實相違無之候也

區長 何ノ誰印

(第三号)

退隱再相續願

私儀何年幾月ニ罷成候處何年何頃ヨリ病ニ罹リ別紙診斷書之通有之候間。(無病ノ者不得已次第有之者ハ何年何頃ヨリ以下ノ句ヲ除キ此處へ(何々ニ付)ト其事由ヲ委詳書加フヘシ) 退隱被差許度然ルニ實男女子共無之候ニ付實父(或ハ養父)誰儀何年幾月ニ罷成未々壯健ニ付同人へ再相續被仰付度奉願候也

何國第何大區何小區

何郡何村(町)何番屋敷居住

士族

父何ノ誰印

年号月日 長官宛

前書之趣相違無之候也

區長 何ノ誰印
戶長 何ノ誰印

(第四号)

退隱再相續願

私儀何年幾月ニ罷成候處何年何頃ヨリ病ニ罹リ別紙診書之通ニ有之候間。(無病ノ者不得已次第有之者ハ何年何頃ヨリ以下ノ句ヲ除キ此處へ(何々ニ付)ト其事由ヲ委詳書加フヘシ) 退隱被差許養父誰何年幾月ニ罷成未々壯健ニ付再相續被仰付度尤私儀ハ實家へ復藉療養相加へ申度。(無病者ナレハ療養ヨリ以下ヲ除キ(仕度)ト登記スヘ

第十款 諸願伺届

シ)雙方遂協議連署ヲ以奉願候也

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族(或ハ平民)

實方 何ノ誰印

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族(或ハ平民)

實方當主 何ノ誰印

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族(或ハ平民)

養方 何ノ誰印

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族

養父 何ノ誰印

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

年号月日

長官宛

士族 何ノ誰印

前書之趣事實相違無之候也

區長 何ノ誰印

(第五号)

病氣危篤ニ付家督願

戶長 何ノ誰印

私儀何年幾月ニ罷成候處病氣危篤ニ有之候間長男某儀何年何ヶ月ニ相成候ニ付同人
へ家督被仰付度奉願候也

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族 何ノ誰印

年号月日

長官宛

前書之趣相違無之候也

戶長 何ノ誰印

(第六号)

病氣危篤ニ付女子へ家督願

私儀何年幾月ニ罷成病氣危篤ニ有之候處男子無之且差當相應之養子無之候間實幾女
某儀何年何ヶ月ニ相成候ニ付同人ニ家督被仰付度奉願候也

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

第十款 諸願伺届

年号月日

長官宛

前書之趣相違無之候也

士族 何ノ誰印

病氣危篤ニ付相續願

戸長 何ノ誰印

(第七号) 私儀何年幾月ニ罷成病氣危篤ニ有之候處男女子共無之且差當相應之養子無之候間弟〔或ハ姉妹伯叔父母〕某儀何年何月ニ相成候ニ付同人ニ相續被仰付度奉願候也

何國第何大區何小區

年号月日

長官宛

前書之趣相違無之候也

士族 何ノ誰印

何郡何町(村)何番屋敷居住

(第八号)

病氣危篤ニ付他ヨリ養子家督願

戸長 何ノ誰印

私儀何年幾月ニ罷成病氣危篤ニ有之候處男子無之候ニ付第何大區何小區何郡何町何〔村〕何番屋敷居住士族(或ハ平民)何誰次男(或ハ三男四男弟)誰儀何年幾月ニ罷成(親戚ヨリ養子ナレハ此處へ)私何々之縁ニ相當リ)ノ句ヲ加フヘシ)候ヲ養子仕同人ニ家督被仰付度(實娘有之後年配偶ノ譯ヲ以養子ナレハ此處ニ(尤後年ハ實娘某へ配偶仕度)ノ句ヲ加フヘシ)別紙承諾書相添奉願候也

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

年号月日

長官宛

前書之趣相違無之候也

士族 何ノ誰印

(第九号)

死去ニ付遺跡家督願

戸長 何ノ誰印

私共一族何國第何大區何小區何郡何町(村)何番屋敷居住士族何誰儀病氣危篤之處養生不相叶今何日死去仕候就テハ本人存生中奉願候通誰へ遺跡家督被仰付度連署ヲ以奉願候也

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族(或ハ平民)

何ノ誰印

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族 何ノ誰印

年号月日

長官宛

前書之趣相違無之候也

區長 何ノ誰印

第十款 諸願伺届

(第拾号)

迎夫相續願

私儀何年幾月ニ罷成過ル何々年何月亡父(或ハ夫兄)誰跡家督。(夫兄ノ跡ナレハ家督ヲ省キ相續トナスヘシ)被仰付置候處第何大區何小區何郡何町何番屋敷居住士族〔或ハ平民〕何ノ誰次男(或ハ四男三男弟)誰儀何年幾月ニ罷成候ヲ迎夫仕直ヲニ家督相讓申度別紙承諾書之通逐協議候間同人へ相續被仰付度一族連署ヲ以奉願候也

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族(或ハ平民)一族

何ノ誰印

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族 何ノ誰印

年号月日

長官宛

前書之趣相違無之候也

(第十一号)

不取締ニ付親族ヨリ退隱願

私共一族何國第何大區何小區何郡何町(村)何番屋敷居住士族何某儀何年幾月ニ罷成候處平日不取締ニテ家政向行届兼候ニ付一族協議再三教諭ヲ加ヘ候得共一圓悔悟不

區長 何ノ誰印
戶長 何ノ誰印

仕此儘差置候テハ一家ノ浮沈ニ相關シ候間本人儀ハ退隱御届被成下長男(或ハ幾男弟)誰儀何年何ヶ月ニ相成候ニ付同人エ家督。(弟ナレハ家督ヲ省キ相續トスヘシ)被仰付度一族連署ヲ以奉願候也

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族(或ハ平民) 何ノ誰印

何國第何大區何小區

士族(或ハ平民)

何ノ誰印

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族(或ハ平民)

何ノ誰印

年号月日

長官宛

前書之趣事實取糾候處相違無之候也

(第十三号)

養子願

私儀男子無之候ニ付第何大區何小區何郡何町(村)何番屋敷居住士族(或ハ平民)何誰次男(或ハ三男四男弟)誰儀何年幾月ニ罷成。(親戚ヨリ養子ナレハ此處へ(私何々之

區長 何ノ誰印
戶長 何ノ誰印

第十款 諸願伺届

縁ニ相當リノ句ヲ加フヘシ候ヲ養子仕嗣子ニ相立申度尤何年ヨリ徴兵ニテ既ニ何
鎖臺へ入營中之者ニ付服役之儀ハ御規則之通。(本人入營前ナレハ何年ヨリ以下ナ省
キ(服役中之者ニ付召集ハ勿論徵募之節ハ速ニ就役)ノ句ヲ加フヘシ)爲任可申候條
別紙承諾書相添奉願候也

年号月日
長 官 宛
前書之趣事實相違無之候也
何國第何大區何小區
何郡何町(村)何番屋敷居住
士 族 何ノ誰 印

(第十四号) 嫡子立換願

私長男誰儀何年幾月ニ罷成候處別紙診斷書之通(廢疾篤疾)ニテ一家相續之儀無覺束
依テ次男誰儀何年幾月ニ罷成候ヲ嗣子ニ相立申度一族遂協議連署ヲ以奉願候也

何國第何大區何小區
何郡何町(村)何番屋敷居住
士 族(或ハ平民)一族 何ノ誰 印
何國第何大區何小區
何郡何町(村)何番屋敷居住
士 族 何ノ誰 印

前書之趣事實相違無之候也

(第十五号) 廢嫡他ヨリ養子願

私長男誰儀何年幾月ニ罷成候處別紙診斷書之通(廢疾篤疾)ニテ一家相續之儀無覺束
他ニ實子無之候ニ付第何大區何小區何郡何町(村)何番屋敷居住士族(或ハ平民)何誰
次男(或ハ三男四男弟)誰儀何年幾月ニ罷成。(親戚ヨリ養子ナレハ此處へ(私何々之
縁ニ相當リ)ノ句ヲ加フヘシ)候ヲ養子仕嗣子ニ相立申度承諾書相添一族連署ヲ以奉
願候也

區 長 何ノ誰 印
戶 長 何ノ誰 印
何國第何大區何小區
何郡何町(村)何番屋敷居住
士 族(或ハ平民)一族 何ノ誰 印
何國第何大區何小區
何郡何町(村)何番屋敷居住
士 族 何ノ誰 印
年号月日
長 官 宛
前書之趣事實相違無之候也

第十款 諸願伺届

(第十六号) 承諾書

拙者次男(或ハ三男四男弟)誰儀(死去跡ハ親戚ノ者ヨリ養子ナレハ此處ヘ(士族何誰亡跡ヘ)ノ句ヲ加フヘシ)養子(迎夫ナレハ養子ヲ省キ(迎夫)トスベシ)ニ被成(該家ヘ女子アリ後年配偶スル協議ノ上ナレハ此處ヘ(貴殿幾女ヘ後年配偶爲致)ノ句ヲ加フベシ)度段(約定書有之ハ此處ヘ(別紙約定書ヲ以テ)ノ句ヲ加フヘシ)任御所望候也

區長 何ノ誰印
戸長 何ノ誰印

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族(或ハ平民)

何ノ誰印

年号月日

何ノ誰殿

(第十七号) 忌明届

私實父(或ハ養父)士族何誰儀病氣之末養生不相叶去ル何月何日死去本日忌明ニ付此段御届仕候也

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族

何ノ誰印

年号月日

長官宛

前書之趣相違無之候也

戸長 何ノ誰印

(第十八号)

養子離別届

私養子何某儀事故有之實家ヘ差戻ノ儀雙方遂協議本月何日離縁致シ候此段御届仕候也

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族(或ハ平民)

何ノ誰印

何國第何大區何小區

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族

養方 何ノ誰印

年号月日

長官宛

前書ノ趣事實相違無之候也

戸長 何ノ誰印

○(第一百十二) 十二年二月廿八日
甲第廿一号

第十款 諸願伺届

十二年甲三十三號ヲ
以士族ノ下ニ(平民)
二字追加
十二年甲三十四號ヲ
以庶民式ヲ示ス(第
百十四)參照

十二年甲六十七號ヲ
以庶民中(知事等)
ノ四字ヲ削除ス

十二年甲五十五號ヲ
以テ撤註十五年トア
ルヲ(二十年)ト改正

士族家督相續養子貫籍替ノ義ハ是迄出願許可ヲ請來候處自今出願ニ不及戸長ハ可届
出此旨布達候事

但廢嫡ニ屬シテ特許ヲ經ヘキモノハ從前ノ通タルヘシ

○(第百十三) 十二年三月十四日

甲第三十三号

本年甲第二十一号布達文中士族ノ下ハ平民ノ二字追加候條此旨布達候事

○(第百十四) 十二年三月十五日

甲第三十四号

士民家督相續養子貫籍替之義自今出願ニ及ハス可届出旨甲第二十一号ヲ以布達候處
右ハ別紙書式ニ照準可届出此旨布達候事

但五十年以內ニシテ退隱シ其他御養子等特許ヲ受クヘキ分ハ從前之通出願候義ト
可相心得事

(別紙)

退隱家督届

(○印ヲ付スハ朱字)

私儀何年幾月ニ罷成候ニ付退隱致シ家督之儀ハ長男誰何年幾月ニ罷成候ニ付同人ハ
相續爲致候。(家督ノ者十五年以下ナレハ此處ヘ〔尤幼年ニ付後見ノ儀ハ士族或ハ平
民何誰ヲ相立申度連署ヲ以〕ノ句ヲ加フヘシ以下皆做之)此段及御届候也

何郡何町(村)何番屋敷居住

○後見人ヲ書スル式

士族(或平民)

後見人

何ノ誰印

何郡何町(村)何番屋敷居住

士族(平民)

何ノ誰印

年号月日

戸長宛

養子届

私儀男子無之候ニ付何郡區何町(村)何番屋敷居住士族或ハ平民何誰次男(或ハ三男
四男弟)誰儀何年幾月ニ罷成。(親戚ヨリ養子ナレハ此處ヘ〔私何々之縁ニ相當〕ノ句ヲ
加フヘシ)候ヲ養子仕嗣子ニ相立申度雙方遂協議連署此段及御届候也

何郡(區)何町(村)何番屋敷居住

士族平民

年号月日

實方

何ノ誰印

何郡(區)何町(村)何番屋敷居住

士族(平民)

養方

何ノ誰印

戸長宛

他府(縣)ハ貫籍替届

私儀今般何府(縣)何區(郡)何町(村)何番屋敷ハ貫籍替候ニ付成規之通送籍御取計有
之度此段及御届候也

第十款 諸願伺届

年号月日

戸長宛

何郡(區)何町(村)何番屋敷居住

士族(或ハ平民)

何、誰

他府(縣)ヨリ貫籍替届

私儀今般當何町(村)何番屋敷へ自今轉籍致シ候ニ付成規之通入籍御取計有之度別紙本貫送籍狀相添此段及御届候也

何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地

士族(或ハ平民)

何、誰

年号月日

戸長宛

○(第百十五) 十二年四月廿二日

甲第五十四号

本年甲第三十四号布達退隱家督届書式依註十五年トアルハ二十年ト改正候條十年甲第百九十一号士族へ布達之通一般可相心得此旨布達候事

○(第百十六) 十二年五月一日

甲第六十七号

縣廳本年甲第三十四号布達但書中聲養子等ノ四字ヲ削除候條此旨布達候事

○(第百十七) 十年五月十六日

甲第六十号

諸願等醫証ヲ要スルモノハ以來掛リ醫員ヨリ左之書式ノ條件ヲ明瞭ニ記載シタル証書申受進達候様可致此旨布達候事

書式雛形

何國何郡何村何番屋敷居住

士族カ平民カ

姓、名、年齢何年何ヶ月

體質
病名
原因
症候
經過
處方
豫後
右之通相違無御座候也

何國何郡何村何番屋敷居住

士族カ平民カ

醫師、姓名、印

年号月日

○(第百十八) 十年五月廿四日

第十款 諸願伺届

甲第六十二号

賣藥検査願弁受賣願廢業届トモ用紙區々相成候テハ主省進達上不都合ニ付自今右願届トモ總テ美濃界紙可相用此旨布達候事

○(第百十九) 十年六月廿五日

甲第八拾貳号

公私文書ニハ必ス年號月日詳記可致儀ハ本年甲第七拾三号諭達之通ニ候處人民諸願同届等右年月日記載無之テハ調査上大ニ差間ヲ生候條自今屹度詳記可致若シ記載漏之分有之候時ハ一切受付不致候條此旨布達候事

○(第百二十一) 十一年七月九日

甲第百五十五号

盜難及遺失物届又ハ告訴告發或ハ吟味願等ハ爾來村吏ノ與印ヲ要セス其本人ヨリ直ニ可差出尤盜難及ヒ遺失物届等ニ至テハ届方時日遷延候テハ探偵ノ時機ヲ失シ不都合ニ付以來盜難及ヒ遺失物届ハ左之書式ニ倣ヒ其節ノ實況并金錢紙幣ノ區別物品ノ摸樣等成丈々精細明記シ速ニ最寄警察署又ハ分署へ可届出此旨布達候事

盜難及遺失届書式

一金何百何拾何圓何拾何錢

內金貨何箇

何圓何箇
何圓何箇

金貨幣又ハ新紙幣太政官札民部省札國立

銀貨何箇

何圓何箇

金札何十圓

何圓札何枚
銀行何圓札何枚
何十錢札何枚

銀行紙幣或ハ銅貨及ヒ天保錢銅錢等何箇
(朱) 何枚何錢ト悉ク其種類ヲ譯書シ何枚ニ包
ミアルカ又ハ皮ノ三徳ニ入レアルカ明記
スヘシ

一木綿何縞男單物 壹枚

一、、、、、、、、

一、、、、、、、、

(朱)衣類物品等ハ縞柄摸樣柄等知り得ヘキ丈ケ明記スヘシ

右ハ明治何年何月何日居宅戸締リ致シ家族一同農事ニ罷越(家族一同寢臥或ハ未ダ夜職致シ居リ)午前後何時頃歸宅ノ上(或ハ目覺シ或ハ物音ニ驚キ家内ヲ見廻リ候處何所ヲ切破リ(或ハ押外シ)盜賊忍入或ハ拔刀ニテ押入金錢可差出旨申威シ其面貌并衣時ハ詳細ニ筆筒或ハ何所ノ錠前ヲ破リ又ハ引放シ金錢衣類物品前書ノ通盜取(又ハ奪取)ヲレ候 若シ賊ノ置去品アラハ其品ヲ、、、、、、、、、此段御届申上候也

何國何大小區何郡何町(村)番地

身分職業

年月日

長官宛

何某印

第十款 諸願届

百二十九

十七年第三號ヲ以品目記載方改正参照ス

遺失御届

一金何十圓何十錢、、、、
一何品

私儀年月日午前何時用達途中何郡町〔村〕通ヨリ何町〔村〕邊迄ノ間又ハ何所邊ニテ前書ノ金錢物品遺失致候間此段御届申上候也

年月日 長官宛 國郡大小區番地身分職業 何某印

○〔第百廿一〕十二年一月十四日 甲第五号

屠牛營業ノ者屠殺ノ節届書式左ノ通相定候條爾來右書式ニ照準可届出屠牛營業人ハ此旨布達候事

書式 屠牛御届

一牡牛 年齡凡何歳 何頭
一牝牛 白毛又ハ黒或ハ赤斑色

右ハ本日午前第何時何處屠牛場ニ於テ屠殺致度候間御檢査相成度此段御届仕候也

年月日 住所族籍 姓名印

何警察署

御中

○〔第百廿二〕十二年一月廿九日

乙第廿三号

當廳へ差出ス人民願届書等戸長與書記裁方之儀區々相成居候條爾來ハ左之通可爲相認此旨相達候事

但意見アルモノハ別ニ意見書ヲ附シ必ス與書スルノ限ニ非ス

前書之通相違無之候ニ付與印仕候也

何町村戸長 某印

○〔第百廿三〕十二年二月廿七日

乙第三十九号

非役帶勳并有位ノ輩三大節拜賀昨明治十一年第三拾六号公布相成候ニ付テハ左ノ項目ニ照シ當人又ハ相續人ヨリ直ニ式部寮へ可爲届出此旨相達候事

一非役有位及帶勳ノ輩即今ノ屬籍并住所早々届出ヘシ

一同上轉居或ハ管轄改替姓名又ハ他管下へ寄留本管へ歸着等ノ節ハ其都度々々届出ヘシ

十四年甲六十二號ヲ以テ届方ヲ賦ニス等照スヘシ

第十款 諸願届

一同上死亡ノ節ハ子孫或ハ親戚ノ者ヨリ届出ヘシ

○(第百廿四) 十三年六月廿一日

甲第七拾壹号

本年縣廳甲第六十七号布達ヲ以テ客年縣廳甲第九号布達第二項削除候ニ付テハ自
今後見人並管財人(立置立換)之儀ハ其時々戸長ヘ可届出此旨布達候事

○(第百廿五) 十三年七月廿九日

庶務課通知

本年本廳甲第七拾一号布達中第二項ハ(三項)ノ誤リ

○(第百廿六) 十二年七月二日

甲第百号

從來左之件々ハ郡區長ヘ願出來候處自今當廳ヘ宛可差出此旨布達候事

一水火風震ノ災ニ罹ル者木屋掛料並農具代拜借願ノ事

一縣社以下神宮進退ノ事

一寺院住職進退ノ事

一無告窮民救助願ノ事

○(第百廿七) 十二年九月卅日

乙第百七十号(戸)

郡 區

勸等年金拜受ノ者事故アリ姓名ヲ改メシクハ本籍戸長ノ奥印アル届書ヲ年金証ニ添
ヘ當縣廳ヘ可差出旨年金拜受ノ者ヘ可相達此旨相達候事

○(第百廿八) 十三年二月五日

乙第二千号(戸)

郡 區

公立學校教則伺書ハ自今正副三通可差出此旨相達候事

○(第百廿九) 十三年四月廿日

甲第三十一号

人民伺書指出方之儀ニ付テハ從來慣例モ有之候得共自今郡區戸長職權外ニ涉ル事項
ハ郡區戸長ヲ經由シ一切縣令ヘ宛可指出此旨布達候事

○(第百三十) 十三年五月十五日

乙第六十五号(戸)

郡 區

町村衛生事務ニ付衛生委員ヨリ差出スヘキ諸伺届書等ハ戸長ト連署致シ可差出此旨
相達候事

但届ニシテ極メテ急ヲ要スル場合ハ壹人ノ記名ニテ不苦候得共其旨互ニ通知候様
可致候事

○(第百三十一) 十三年五月廿一日

甲第五十六号

第十款 諸願伺届

十三年七月廿九日付
ヲ以テ三項ヲ(三項)ト
正誤

私學ニ關スル伺届等ハ渾テ學務委員ノ意見書ヲ付シ可差出此旨布達候事

第十一款 會議

○(第百卅二) 十一年八月二日
乙第九拾壹号

各區々戸長

郡區町村編制法並ニ府縣會規則地方稅規則等別紙之通布告相成候ニ付而ハ施行之順序モ有之候條追テ何分被達候迄ハ事務取扱總テ從前之通可相心得此旨相達候事
(別紙)

第十八号

府縣會規則左ノ通り被定候條此旨布告候事

明治十一年七月廿二日

太政大臣三條實美

第九号

從前府縣稅及民費ノ名ヲ以テ徵收セル府縣費區費ヲ改メ更ニ地方稅トシ規則左ノ通被定候條此旨布告候事

明治十一年七月廿二日

太政大臣三條實美

○(第百卅三) 十一年十一月十六日

丙第九十七号

郡區

縣會之儀ハ來明治十二年三月ニ於テ開會可致候條議員撰舉順序左之通相心得夫々撰

定ノ上當撰人住所姓名等來十二月廿八日限可届出此旨相達候事

議員撰舉順序

第一條 議員ノ員數ハ一郡郡内人員五万人以下ハ貳人五万五千壹人ヨリ六万五千人マテハ三人六万五千壹人ヨリ以上ハ四人ト定ム此ノ員數ハ初度ノ撰舉ニ限ルモノニシテ第二度撰舉ヨリハ議會ノ議決スル所ノ員數ニ從フモノトス但シ各郡區ノ定員ハ別ニ之ヲ掲ケ

第二條 議員ヲ撰舉セントスル時ハ規則第拾三條ニ因リ被撰人名簿及ヒ第十四條ニ因リ撰舉人名簿ヲ製ス可シ其書式左ノ如シ

被撰人名簿書式

何郡何町村士族(平民)

何ノ誰

年齡何年

地租上納金何圓何拾錢

撰舉人名簿書式

何郡何町村士族(平民)

何ノ誰

年齡何年

地租上納何圓何拾錢

第十一款 會議

十三年(四月)第十五號布告ヲ以改正ニ付本文ヲ略ス

十三年(四月)第十六號布告ヲ以改正ニ付本文ヲ略ス

十一年(内)百十號ヲ以テ改正ス(五)十一年(内)百十號ヲ以テ改正ス(五)十一年(内)百十號ヲ以テ改正ス(五)

第三條 規則第十三條第四款官吏教導職トハ勅奏判任官等外吏及ヒ軍人軍屬教導職試補以上又ハ官廳ノ御用掛俯等ニシテ公立學校醫院ノ教員縣郷社ノ神官等ハ此限ニ非ラサルモノトス

第四條 撰舉會場ハ最寄寺院又ハ學校等場廣ノ家宅ヲ以テ會場ト定メ規則第十五條ノ通り豫シメ開會スヘキ日及ヒ其時限ヲ定メ少クトモ十五日前ニ之ヲ撰舉人ニ公告スヘシ

但豫定ノ時限マテニ出頭セサルカ投票ヲ出サハルモノハ當日撰舉ノ事ニ付遺憾ナキモノト看做スヘキノ文字ヲ公告文中ニ記載シ置クヘシ

第五條 開會ノ日ハ郡區長之ニ臨ミ豫定ノ時限ヨリ三時間ヲ過キ尙ホ出頭セサルモノハ彌出頭セサルモノト見做シ用紙ヲ配附シテ投票セシムヘシ但數人ヲ撰舉スルモノ一紙ニ認ムヘシ

投票書式用紙半紙全紙

地租上納金何圓何拾錢

何郡何町村士族(平民)

何

誰
年齡何年

地租、、、、

、、、、、、、、

右縣會議員ニ撰舉ス

年号月日

何郡何町村士族(平民)

何

誰

上封書式

縣會議員投票

何郡何町村士族(平民)

何

誰

第六條 撰舉人投票ヲ出シ畢レハ衆中ニ於テ一封毎ニ之ヲ開キ其撰舉狀ヲ朗讀ス而シテ規則第十八條ノ通り撰舉人名簿被撰舉人名簿ニ就キ其投票ノ當否ト當撰人ノ當否ヲ查シ若シ法ニ於テ不適當ノ者アル時ハ順次投票ノ多數ヲ得タルモノヲ取り以テ其當撰人ヲ定メ之ヲ撰舉人ニ公告ス

但當撰人相定リタル上ハ其撰舉狀ヲ一括ニシ郡區役所ヘ備ヘ置クヘシ

第七條 撰舉會畢レハ當撰人ヲ郡區役所ニ呼出シ當撰狀ヲ渡シ其請書ヲ徴スヘシ但シ當撰人當日撰舉會場ニ在レハ即日當撰狀ヲ渡スヘシ
當撰狀書式奉書四ツ切

縣會議員當撰狀

何

誰

右依公撰授與之

第十一款 會議

福岡縣何郡々長 何ノ誰

何年何月何日

郡區役所ノ印

第八條 若シ當撰人其撰ヲ辭スル時ハ順次投票ノ多數ヲ得タルモノヲ以テ之ニ代ル
モノトシ直ニ郡區役所ニ呼出シ當撰狀ヲ渡スヘシ
第九條 當撰人各請書ヲ出シタル後ハ其住所姓名ヲ其郡區内ニ公告シ直ニ縣廳ニ届
出ヘシ

縣會議員々數

福岡區	三	人
粕屋郡	三	人
宗像郡	三	人
遠賀郡	三	人
軟手郡	三	人
嘉麻郡	四	人
上座郡	四	人
下座郡	三	人
夜須郡	四	人
御笠郡	三	人
那珂郡	三	人
席田郡	四	人
怡土郡	三	人
志摩郡	三	人
早良郡	三	人
企救郡	三	人
京都郡	三	人
仲津郡	三	人

十四年甲八號ヲ以照
數區及職員ノ數改正

十一年丙百十號以三
入ヲ(三)人ト正誤

築城郡	上毛郡	三	人
田川郡	生葉郡	二	人
竹野郡	御井郡	四	人
御原郡	山本郡	四	人
三潞郡	上妻郡	四	人
下妻郡	山門郡	四	人
三池郡	合五拾五人	二	人

○(第百卅四) 十一年十二月廿五日

丙第百十号

郡 區

本年丙第九十七号達議員撰舉順序第一條中五万千壹人トアルハ五万壹人ノ誤リ且職
員々數中生葉郡竹野郡二人トアルハ三人ノ誤リ爲必得此旨相違候事

○(第百卅五) 十三年五月一日

甲第三十八号

明治十一年第十八号公布第廿一條議員任期四年トハ通常會ヲ四度勤ムル儀ト可相必
得此旨布達候事

但第一回二年期モ本文ニ準シ二度トス

第十一款 會議

○(第百卅六) 十三年六月十日
乙第七十六号(戶)

郡 區

本年太政官第拾五号公布府縣會規則第廿一條ニヨリ議員半數退任之節ハ其人名公告ノ日ヨリ三十日以内補闕議員撰舉可致第廿四條ノ場合ニ於テハ其時々撰舉スルニ及ハス縣會開會前取纏メ撰舉候儀ト可心得此旨相達候事
但客年四月乙第六拾五号達ハ廢止候事

○(第百卅七) 十三年十月十二日
甲第百三拾号

縣會議員選舉ノ際郡區相當人員ノ外辭選補欠ノ爲メ別ニ數名(五名以下)ヲ副選シ置トモ妨ケス此旨爲心得布達候事

○(第百卅八) 十三年二月十七日
甲第十五号

今般衛生會ヲ設ケ規則別冊ノ通相定候條此旨布達候事
但シ施行期限ハ更ニ可及布達候事

(別紙)

衛生會規則

第一條 本會ハ縣下衛生ノ全体ヲ視察シ人民ノ健康ヲ保持増進スルノ目的ニシテ縣令ヲ輔翼スルカタメ設立スルモノトス

第二條 本會ハ左ノ人員ヲ以テ之レヲ編成ス

- 醫師 五 名
- 縣會議員 三 名
- 公立病院長 一 名
- 公立病院藥局長 一 名
- 衛生課長 一 名
- 警察官 一 名

第三條 本會ハ縣令ノ管理ニ屬シ其委員ハ縣令之レヲ命ス

但醫師ハ縣會議員ヲシテ管内ノ開業醫師ヲ公撰セシメ縣會ヨリ出ス所ノ委員ハ其縣會ニ於テ之レヲ公撰セシム

第四條 會長ハ縣令之レニ任シ副會長ハ委員中ヨリ投票ヲ以テ之レヲ撰定ス

第五條 公撰委員ノ在任ハ滿二ケ年トシ滿期毎ニ之レヲ改撰ス
但前任ノ者ヲ再撰スルヲ不得

第六條 委員ノ外書記一名若クハ二名ヲ命シ雜務ヲ處辨セシム

第七條 委員ハ俸給ナシ但開會ノ地ヲ距ル三里以外ニ住スル者ニハ相當ノ旅費ヲ給シ又非職無給ノモノハ相當ノ手當ヲ給ス

第八條 本會ハ毎月一回之レヲ開クモノトス
但臨時又ハ至急ヲ要スル事件アル時ハ會長ノ招集ニ依リ之レヲ開キ又ハ委員半數以上ノ請求ニ依テ之レヲ開クヲ得

第十一款 會議

十四年甲五號ヲ以テ
農學校教師一名(増
加ノ處同年甲廿二號
ヲ以テ取消)

第九條 本會ニ於テ議定スヘキ事件左ノ如シ

一 衛生上ニ關スル布告布達等ヲ實施スルノ方法

二 縣ニ於テ發行スヘキ衛生上ニ關スル布達ノ草案

三 縣令ヨリ發セル議案并ニ中央衛生會内務省衛生局及ヒ郡區町村衛生掛ノ尋問ニ係ル事項

第十條 本會ハ各郡區役所ヨリ縣廳ニ上申セル衛生上ノ諸報告等ヲ檢察スヘシ

第十一條 本會ハ縣内ヘ實施スヘキ衛生事項ニ就キ其考案ヲ縣令ニ建議スルヲ得

第十二條 本會ハ各地衛生上ニ關スル實況ヲ檢察スルカタメ擔當吏員ノ派出ヲ縣令ニ建議スルヲ得

○(百三十九) 十三年六月廿六日

廳内三十九号

衛生會

衛生會委員非職無給之者手當之儀ハ月割ヲ以支給スヘキ旨相達置候處辭職并ニ補欠新撰之者ハ其月現日數ニ應シ日割支給候條此旨相達候事

第十二款 印章

○(第四百一) 十年五月十四日

丙第四十号

各區々長

士庶一般ノ印鑑簿縣廳ヘ備設可致等之處事務ノ都合モ有之以來不及其儀候條各小區
報所ニ於テ更ニ其所轄人民ノ印鑑簿二冊ヲ製シ一村町一冊ニ分別シ各自ノ姓名ヲ記載シ其實印ヲ捺サシメ一部ハ小區報所ニ置キ一部ハ調所ニ備置キ候條早々製帖可致爾後磨滅或ハ紛失等ノ譯ヲ以改印申出之節ハ新舊印トモ夫々何年月日改廢ノ旨ヲ記載シ萬一他日照會ノ場合ニ於テ不明瞭ノ虞無之様兼テ丁寧致置シヘシ且縣廳ヘハ正副區戶長ノ印鑑簿ヲ要シ候條美濃白紙堅八ツ切りヘ姓名ヲ記シ所轄大小區名並ニ本轄大小區名身分ヲ肩書シ何年月日正副區戶長拜命ノ旨ヲ頭書シ姓名下ノ實印ヲ捺シ來ル六月十五日限リ一大區分取經メ指出候様可致此旨相達候事

第十三款 圖書

現行ノ記載スヘキモノナシ

第十四款 河港道路 堤防橋梁溜池

○(第四百十二) 十一年一月廿五日

番外

筑前國各區々戶長

溜池新築々廣等出願之儀季節逼迫願出願ニ指令ヲ促シ候向往々有之處右ハ主省經伺等ノ手數ニ涉リ無餘儀時日ヲ移シ自然其期ヲ誤リ不都合不勘ニ付向後新築出願等ノ儀ハ豫テ村中協議ヲ遂ケ潰地反別一筆限帳及繪圖面等明細取調毎年九月十五日限リ可差出此旨相達候事

但本年ハ二月廿八日限リ願書可差出候右期限相過キ願出候向ハ延期タルヘク候事

第十二款印章 第十三款圖書 第十四款河港道路 百四十三

○(第百四十二) 十一年三月十一日
番外

筑前國各區々戶長

道路橋梁堤防修繕用材拂下願出之儀季節區々ニシテ渡方ニ差支候儀有之候條爾來天
災事變非常之工事ヲ除ク之外平常修繕用材之分ハ左ニ記載スル期限ノ通聊無遲滯可
願出此旨相達候事
一溜池修繕用材拂下願
是ハ該年九月十五日限
一道路橋梁堤防其他修繕用材拂下願
是ハ該年十一月三十日限

○(第百四十三) 十一年十一月廿二日
乙第百六十五号

郡 區

國縣里道及橋梁修築ニ付工事中諸通行差留候節是迄經伺ノ上施行致來候處以後伺出
ニ及ハス左ノ手續書ニ據リ可取扱此旨相達候事
手 續 書

第一條 各道修繕工事中ト雖凡實際差支無之ニ於テハ成ル丈通行差留サルヲ要ス
第二條 國縣道路橋梁修繕ニ付諸通行差留候節ハ着手竣功迄ノ期限ヲ概定シ其工事
ニ着手スル五日以前其旨届出ヘシ
但急破修繕至急ヲ要スル箇所ハ其事由ヲ以速ニ届出着手スヘシ

第三條 國縣道路ニ於テ諸車牛馬留ノ節ハ其旨届ノ上速ニ着手スヘシ
但里道ノ義ハ届出ルニ及ハス

第四條 各道修繕ノ爲諸通行留及諸車牛馬留ノ節ハ其最寄警察署及分署へ通知スヘ
シ

○(第百四十四) 十二年一月廿四日

筆記 (企救郡田川郡京都郡津津郡上妻下妻郡福岡區三池郡ヲ除ク) 各 郡
各地渡船場并ニ橋梁賃錢之儀從前區々ニシテ稍々過當之賃錢請求之箇所モ有之不都
合ニ付今般更ニ川流水勢之緩急淺深廣狹並ニ通行人馬ノ繁閑ヲ酌量シ別紙調書之通
改定候條夫々河岸へ揭示來ル二月十六日ヨリ履行可爲致此旨相達候事
但建設費ハ渡船橋梁受持人之自費タルヘシ
○築城上毛郡へハ左之追書ヲ加
追テ上毛郡小犬丸渡之儀渡船開場中揭示セシムヘシ
(同年五月十三日生葉竹野御井御原山本ニモ同轍ノ達アリ省之)

左之ヶ所第一号書式ニ倣ヒ甲号雛形ノ如ク揭示スヘシ

郡	兩岸	川名	増水尺	留川尺	一人	兩掛一荷	牛馬一疋	人力一輛	物取一輛	馬一疋	長持
名	地名					持夫共	口付共	取夫一人共	取夫一人共	持夫二人共	
遠	垣生	嘉摩	四尺ヨリ	八尺以上	三厘	五厘	六厘	五厘	八厘	九厘	
中	間	摩	八尺マテ	八尺以上	三厘	五厘	六厘	五厘	八厘	九厘	
賀	二村		三尺ヨリ	五尺以上	四厘	六厘	八厘	六厘	一錢	一錢二厘	
同	渡		三尺マテ	五尺以上	四厘	六厘	八厘	六厘	一錢	一錢二厘	

第十四款 河港道路

第十四款 河港道路

山門	同	同	同	同	御井	竹野	同	同	御井	山本	竹野	同	竹野	下坐
中島	德島	豆津	大石	水屋	小森野	眞木	小森野	金島	石島	山崎	御井	竹野	立野	中野
中島	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一丈二尺マテ	八尺ヨリ	一丈六尺マテ	八尺ヨリ	一丈二尺マテ	六尺ヨリ	七尺マテ	五尺ヨリ	一丈マテ	五尺ヨリ	一丈二尺マテ	六尺ヨリ	一丈マテ	五尺ヨリ	三尺ヨリ
一丈二尺以上	一丈六尺以上	一丈二尺以上	七尺以上	一丈以上	一丈二尺以上	四厘	五厘	四厘	一丈以上	一丈二尺以上	四厘	五厘	四厘	五厘
三厘	同	同	四厘	五厘	六厘	同	同	同	五厘	四厘	同	同	同	同
四厘	同	同	六厘	八厘	八厘	同	同	同	八厘	六厘	同	同	同	同
六厘	同	同	八厘	一錢	八厘	同	同	同	一錢	八厘	同	同	同	同
五厘	同	同	六厘	八厘	六厘	同	同	同	八厘	六厘	同	同	同	同
八厘	同	同	一錢	一錢三厘	一錢	同	同	同	一錢三厘	一錢	同	同	同	同
九厘	同	同	一錢五厘	一錢五厘	一錢二厘	同	同	同	一錢五厘	一錢二厘	同	同	同	同

同	竹野	同	同	上座	同	同	同	同	生葉	上坐	手鞍	同	同	同
同	八幡川	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
七尺マテ	四尺ヨリ	三尺ヨリ	一丈四尺マテ	一丈九尺マテ	一丈七尺ヨリ	一丈六尺マテ	一丈三尺ヨリ	一丈四尺ヨリ	一丈七尺ヨリ	一丈四尺ヨリ	一丈七尺ヨリ	八尺マテ	四尺ヨリ	同
七尺以上	五尺以上	一丈六尺以上	一丈九尺以上	一丈六尺以上	一丈六尺以上	一丈六尺以上	一丈六尺以上	二丈以上	一丈七尺以上	六厘	八尺以上	同	同	同
同	五厘	同	六厘	七厘	六厘	九厘	九厘	同	九厘	同	同	同	同	同
同	八厘	同	九厘	一錢二厘	一錢二厘	一錢二厘	一錢二厘	同	一錢二厘	九厘	同	同	同	同
同	一錢八厘	同	一錢九厘	一錢五厘	一錢五厘	一錢五厘	一錢五厘	同	一錢五厘	九厘	同	同	同	同
同	一錢三厘	同	一錢五厘	一錢八厘	一錢八厘	一錢八厘	一錢八厘	同	一錢八厘	八厘	同	同	同	同
同	一錢五厘	同	一錢八厘	一錢八厘	一錢八厘	一錢八厘	一錢八厘	同	一錢八厘	八厘	同	同	同	同

那珂 志 賀 三月廿八日迄
同 九月廿二日迄

左之ヶ所第七号書式ニ倣ヒ甲号ノ通り

遠賀	本城	二	三	四	三	二	三	四	三	二
陣原	堀川	三	四	三	二	三	四	三	二	三
		四	三	二	三	四	三	二	三	四
		三	二	三	四	三	二	三	四	三
		二	三	四	三	二	三	四	三	二
		一	二	三	四	三	二	三	四	三

第一号 定

何國何郡 何川 何厘

- 一人壹人 持夫共
 - 一兩掛壹荷 口付共
 - 一牛馬壹疋 車夫一人共
 - 一人力壹輛 車夫一人共
 - 一荷車壹輛 持夫二人共
 - 一獨籠長持 持夫二人共
 - 一増水何尺ヨリ何尺マテ本額賃錢ニ倍增何尺ニテ留川之事
 - 一一日中往復ノ向ハ賃錢一度分ノ事
 - 一年齡滿十三年以下五年マテ本額賃錢半減五年以下無賃ノ事
- 今般渡船賃錢改正晝夜平均シ前書之通り相定候條通行ノ際異無儀仕拂フヘシ自然船方ノ者定外ノ賃錢或ハ酒代心付等申立ツルトモ一切相渡ニ不及此旨心得之爲メ揭示スル者也

第二号 定

何國何郡 何川

福岡縣

第十四款 何港道路

一人壹人 何厘
 一兩掛壹荷 持夫共 同
 一牛馬壹疋 口付共 同
 一人力車壹輛 車夫一人共 同
 一荷車壹輛 車夫一人共 同
 一駕籠長持 持夫二人共 同
 一增水何尺ヨリ何尺マテ本額賃錢貳倍增何尺ニテ留川之事
 一年齡滿十三年以下五年マテ本額賃錢半減五年以下無賃ノ事
 今般渡船賃錢改正晝夜平均シ前書ノ通相定候條通行ノ際無異議仕拂フヘシ自然船方
 ノ者定外ノ賃錢或ハ酒代心付等申立ツルトモ一切相渡ニ不及此旨心得ノ爲メ揭示ス
 ル者也

第三号 定

何國何郡

何 川

何 厘

一人壹人 何厘
 一兩掛一荷 持夫共 同
 一牛馬一疋 口付共 同
 一人力車一輛 車夫一人共 同

福 岡 縣

一荷車一輛 車夫一人共 同
 一駕籠長持 持夫二人共 同
 一一日中往復ノ向ハ賃錢一度分ノ事
 一年齡滿十三年以下五年マテ本額賃錢半減五年以下無賃ノ事
 今般渡船賃錢改正晝夜平均シ前書ノ通リ相定候條通行ノ際無異議仕拂フヘシ自然船
 方ノ者定外ノ賃錢申立ツルモ一切相渡スニ不及此旨心得ノ爲メ揭示スル者也

(第四号) 定

福 岡 縣

何國何郡

何 川

名 稱	舟 渡 賃	橋 渡 賃
一人壹人	何 厘	何 厘
一兩掛一荷 持夫共	同	同
一牛馬一疋 口付共	同	同
一人力車一輛 車夫一人共	同	同
一荷車一輛 車夫一人共	同	同

第十四款 何港道路

一 駕籠長持 持夫二人共

同

同

一 増水何尺ヨリ何尺マテ本額賃錢貳倍増何尺ニテ留川ノ事

一 一日中往復ノ向ハ賃錢一度分ノ事

一 一年齡滿十三年以下五年マテ本額賃錢半減五年以下無賃ノ事

今般渡船橋賃錢改正晝夜平均シ前書ノ通相定候條通行ノ際無異儀仕拂フヘシ自然船方ノ者定外ノ賃錢或ハ酒代心付等申立ルトモ一切相渡スニ不及此旨心得之爲メ揭示スル者ナリ

(第五号)

定

福岡縣

何國何郡

何川

名 稱

舟 渡 賃

橋 渡 賃

一人壹人

何 厘

何 厘

一兩掛一荷 持夫共

同

同

一牛馬一疋 口付共

同

同

一人力車一輛 車夫一人共

同

同

一 荷車一輛 車夫一人共

同

同

一 駕籠長持 持夫二人共

同

同

一 増水何尺ヨリ何尺マテ本額賃錢貳倍増何尺留川ノ事

一 一年齡滿十三年以下五年マテ本額賃錢半減五年以下無賃ノ事

今般渡船橋賃錢改正晝夜平均シ前書ノ通相定メ候條通行ノ際無異儀仕拂フヘシ自然船方ノ者定外ノ賃錢或ハ酒代心付等申立ルルモ一切相渡スニ不及此旨心得ノ爲メ揭示スルモノ也

(第六号)

定

福岡縣

筑前國那珂郡

志 賀 浦

名 稱

每年 三月ヨリ 八月マテ

毎年 九月ヨリ 翌年 二月マテ

一 一人

壹 錢 五 厘

三 錢

一 兩掛一荷 持夫共

貳 錢 五 厘

四 錢

一 牛馬一疋 口付共

貳 錢

三 錢 五 厘

一 人力車一輛 車夫一人共

貳 錢 八 厘

四 錢 貳 厘

第十四款 何港道路

百五十七

一 荷車 <small>一輛</small> 車夫一人共	貳 錢 八 厘	四 錢 貳 厘
一 駕籠長持 持夫二人共	三 錢	四 錢 五 厘

一 一日中往復ノ者ハ賃錢一度分ノ事
 一年齡滿十三年以下五年マテ本額賃錢半減五年以下無賃ノ事
 今般渡船賃錢改正晝夜平均前書ノ通り相定候條通行ノ際無異儀仕拂フヘシ自然定外ノ賃錢或ハ酒代心付等申立ツルモ一切相渡スニ不及此旨爲心得揭示スル者也

(第七号) 定

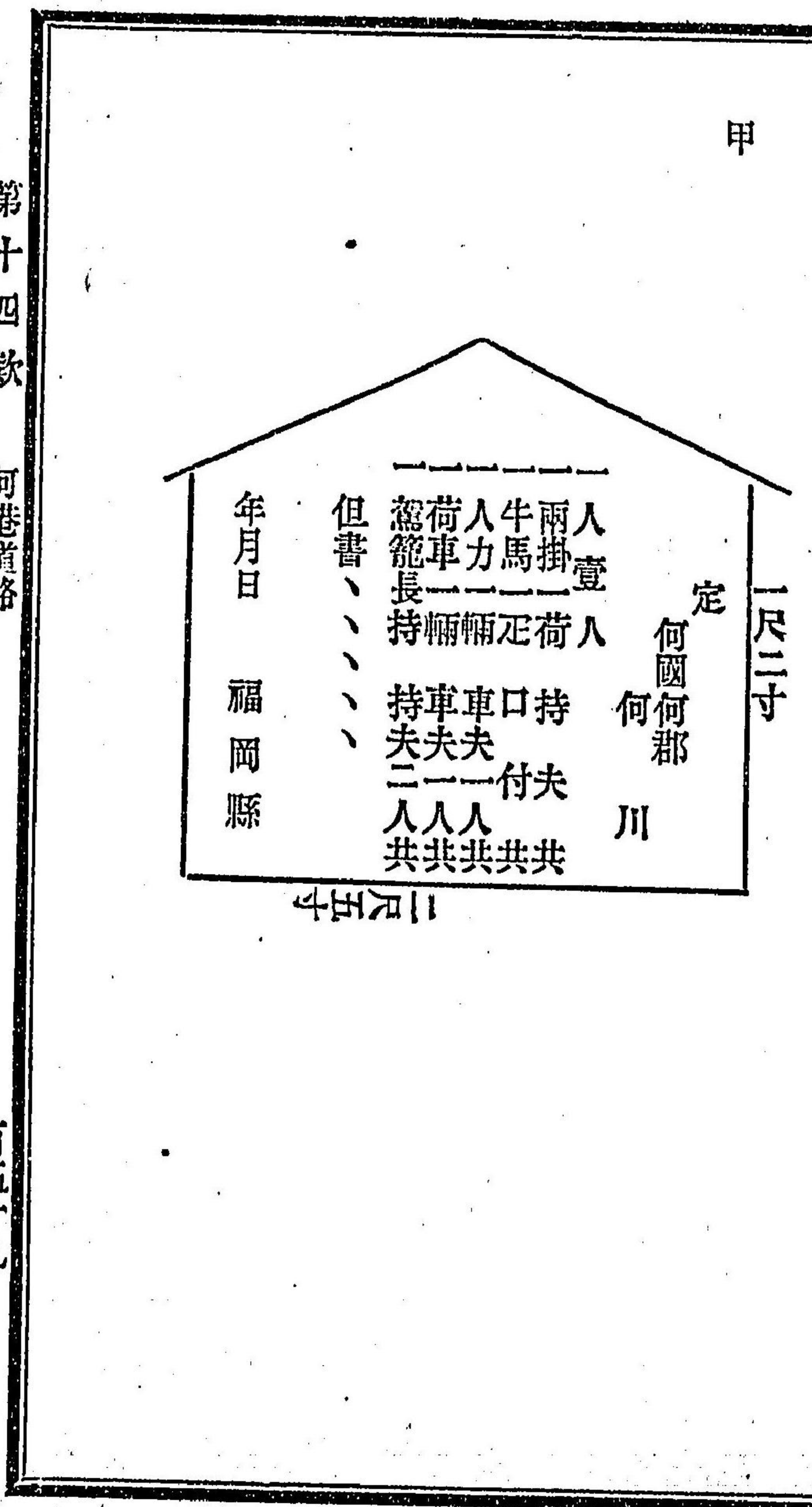
筑前國遠賀郡

堀 川

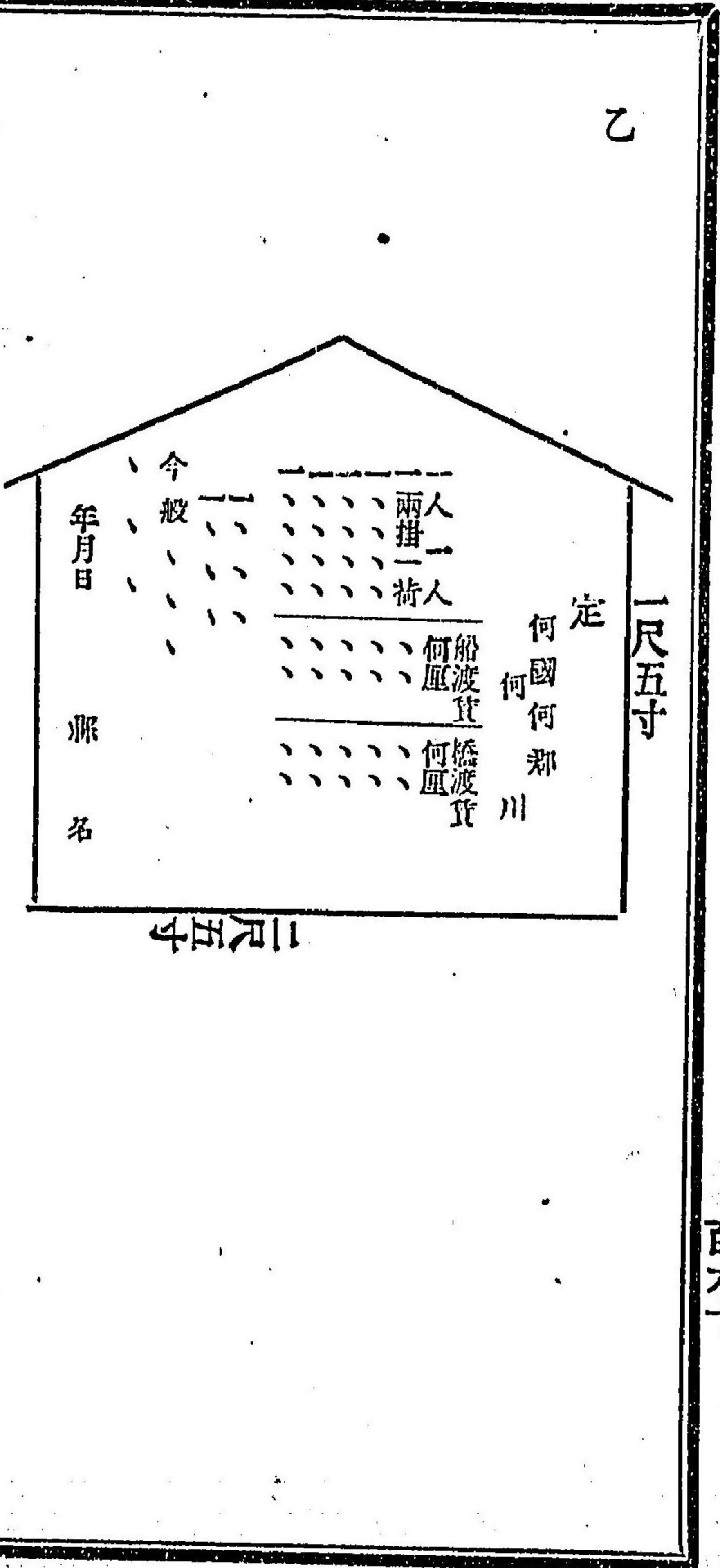
- 一人 壹 人 貳 厘
- 一兩掛一荷 持夫一人共 三 厘
- 一牛馬一疋 口付共 三 厘
- 一人力車二輛 乘客車夫一人共 三 厘
- 一荷車一輛 車夫一人共 四 厘
- 一駕籠長持 持夫二人共 四 厘
- 一 一日中往復ノ者ハ賃錢一度分ノ事
- 一年齡滿十三年以下五年マテ本額賃錢半減五年以下無賃ノ事

今般渡船賃錢改正晝夜平均前書ノ通り相定候條通行ノ際無異儀仕拂フヘシ自然定外ノ賃錢或ハ酒代心付等申立ツルモ一切相渡スニ不及此旨爲心得ノ爲メ揭示スル者也

福 岡 縣



第十四款 何港道路



十三年乙五十四號ヲ
以河海堤防ハ一切貸
與難相成旨ヲ示ス
(第百四十六番照)

○(第百四十五) 十二年五月廿三日
乙第九十四号

郡 區

官有ノ堤防及ヒ堤外川敷其他水利關係之場所往々拜借出願之向有之候處爾來家屋ヲ
建築シ且ツ地形變換ニ關スル分ノ拜借願ハ貸與難相成候條爲心得此旨相達候事
但從前既ニ貸渡候分モ拜借年季明後ハ悉皆引上貸渡サル義ト可相心得事
○(第百四十六) 十二年五月四日

郡 區

乙第五十四号
官有堤防貸與之義ニ付テハ客年本縣乙第九十四号達ノ次第モ有之候處爾今以後河海
堤塘ノ義ハ一切貸與難相成候條爲心得此旨相達候事

筑前國郡區

○(第百四十七) 十二年十月卅一日
番外
河港道路橋梁其他溜池堤防等修繕用材官林竹木拂下之儀者其筋經伺之上ニ無テハ伐
採難相成所兎角時季切迫ニ至リ中出調査上差支候條以來該修繕着手三十日前燃ス申
出候儀ト心得ヘシ此旨相達候事

筑前國郡區

○(第百四十八) 十三年一月十三日
番外
河港道路橋梁堤防溜池其他修繕用材官林竹木拂下代價明治十年九月十日付テ以テ相
達置候處今般其筋ヨリ達シノ旨モ有之ニ付爾來郡長ニ於テ實地相當代價取調拂下可
申出此旨相達候事
但當木帳之義ハ從前之通調整可差出事

甘木警察署

○(第百四十九) 十三年三月十八日
警察筆記
其所轄内夜須郡甘木川及下座郡相窪川通川敷中ニ有之轉石之義者該川々堤防修繕用
石ニ充候儀ニ有之處往々人民官私用拾取候モノ有之由所轄郡長ヨリ届出候條精々取

締可致此旨相達候事

○〔第百五十一〕 十三年三月三十一日

筆記

上妻下妻郡

縣道三等上妻郡福島町ヨリ三瀧郡若津港へ達スル路線之儀稻宮村踏出シ長濱村ヨリ分岐上牟田口村迄數ヶ村ヲ經過之線ニ有之候處右ハ實際不便ニ付這回長濱村ヨリ分岐水田村以下數村ヲ通シ上牟田口村金屋町ニ出ル、線ニ引直シ候條此旨相達候事
(同日三瀧郡へモ同轍ノ達アリ零之)

○〔第百五十二〕 十三年九月十六日

筆記

糟屋郡 宗像郡

東京ヨリ本縣廳ニ達スル假定國道第三等道路線ノ内是迄宗像郡赤間驛ヨリ畝町青柳之兩驛ヲ經テ糟屋郡箱崎驛ニ至ル處今般赤間驛ヨリ陵殿寺東鄉村山田下西郷古賀下府等村々ヲ經テ箱崎驛ニ達スル新路落成候ニ付該道路ヲ以テ國道第三等路線ニ改定候條爾後其所轄内保存方同位國道ト一般同様之振合ヲ以テ關理可致此旨相達候事
但前項古道ノ儀ハ爾後里道之儀ト可相心得候事

○〔第百五十二〕 十三年十月二十八日

筆記

築城郡 上毛郡

縣界山國川筋小大丸船橋之義大分縣へ依頼シ是迄該縣ニ於テ修繕取計來候處向後ハ兩縣ニ於テ隔年(本年度ハ大分縣)受理之等相定候條此旨可相心得就テハ破損ニヨリ

修繕出願之節ハ兩縣下該關係町村戶長連署ヲ以申出候様可致此旨相達候事

第十五款 船舶 燈臺 難破船

○〔第百五十三〕 十年一月八日

甲第一号

愛媛縣下讚岐國多度郡多度津港費償却之爲明治九年十一月ヨリ明治二十二年十月迄滿十三ヶ年間別紙諸冊入港錢取立之儀内務省ノ許可ヲ得施行候旨同縣ヨリ掛合越候條此旨船持ノ者へ布達候事

(別紙)

入港錢取立規則

日本形船

一 貳拾石積以內

壹艘ニ付 金貳錢

一 貳拾石以外五拾石積以內

同 金三錢

一 五拾石以外何千石積ニ至迄

帆壹反ニ付 金壹錢

西洋形船

一 八噸以外三拾噸積以內

拾石ニ付 金五厘

但西洋形船噸數ヲ以唱へ候分壹噸ハ六石七斗貳升ノ割ヲ以石ニ直シ取立ツルモノトス

一 三拾噸以外七拾噸積以內

同 金三厘七毛五糸

第十五款 船舶

但前同斷
一七拾噸以外何百噸積ニ至迄
但前同斷

同

金貳厘五毛

○(第百五十四) 十年一月十九日

筆記

三國沿海大區々長

明治七年太政官第百四十号ヲ以テ御達相成候難破船届方之儀内外國船艦ヲ論セス西洋形ハ端船ヲ除キ大小共日本形ハ漁船解船ヲ除キ積石五十石以上ハ左ノ雛形ニ照準每一ケ年分ヲ取纏メ翌年一月三十一日限り無遅延届出候様浦役兼務候戸長以下ノ者へ可相達此旨相達候事

但昨九年分ハ來ル二月十日限り無遅漏可届出候事

(別紙)

雛形

本貫何々又ハ外國船ナレハ何國何々

持主 何 某
船長 何 某

外何人乘

帆船又ハ蒸氣船内車又ハ外車

軍船 帆船 船 船 船 船

何号

鉄木製

長 幅 檣數
噸數 馬力

行方不知

何年月日出帆

遭難ノ時

何年月日

遭難ノ地

航海中歟碇泊中歟

難破ノ因由

難風ノ爲カ暗礁ニ觸ル、カ

難破ノ景狀

皆破皆没カ修繕ニ堪ヘキカ船体機械ノ破損カ

乗組人船客ノ死傷

重傷何人輕傷何人死亡何人

積荷ノ損否

濡破何石カ何箇カ沈没何石カ何箇カ

本貫何々

持主 何 某
船頭 何 某

外何人乘

何反帆

何丸

第十五款 船舶

百六十五

石 數

以下前全斷

○(第百五十五) 十年六月五日

丙五拾七号

各區々戶長

青森縣下陸奥國津輕郡青森港へ去ル七年中同町平民角田平左衛門自費ヲ以テ竿燈築造其經費消却及ヒ點火費該港出入船舶ニ付同年十一月ヨリ別紙之通り石數ニ應シ取立候等之處間々其取立ヲ拒ミ候者有之哉ノ趣同縣ヨリ照會致來候條右等必得達ノ者無之様船乘渡世ノ者へ此旨相達候事

(別紙)

入港船舶ヨリ竿燈料取立金額左ノ通

一積石百石ニ付金貳拾錢宛

内

金 拾 錢

築造費消却ノ爲メ明治七年十一月ヨリ同十二年十月マテ滿五ヶ年間取立ノ分

同 拾 錢

點火費トシテ明治七年十一月ヨリ永年取立ノ分

但西洋形ハ壹噸六石七斗貳升ノ割ヲ以テ石數ニ直シ取立候事
右之通候事

○(第百五十六) 十年八月十一日

筆記

筑前國第一二三四九大區筑後第二三四調所

區

長

豐前國第一三四五六八區
難破船漂着物有之節ハ直ニ浦役人ニ於テ其漂着ノ月日船ノ大小破損ノ摸樣ヲ精細ニ書記シ漂着物ハ其品名箇數等精細ニ記載シ其漂着近傍ノ幅峽ノ地ノ揭示場ニ揭示致シ置キ最寄警察署及ヒ分署へ届出候様浦役人ニ可相達此旨相達候事

○(第百五十七) 十年八月廿五日

甲第百貳拾四号

今般塚縣下埠港へ燈臺ヲ設置シ來ル九月十五日夜ヨリ點火致候段同縣ヨリ通知有之其位置状況等左之通ニ候條航海者へ此旨布達候事
(別紙)

埠 港 燈 臺

一明治十年九月十五日即チ西曆一千八百七十七年第九月十五日ノ夜ヲ初トシテ以後毎夜日没ヨリ日出マテ埠港入口南端ヲ示ス爲ニ同港南方波戶塙ノ極端ニ設築シタル燈臺ニ於テ五等不勵綠色燈ヲ點ス

一右燈臺ハ英國海軍局第十六号(兵庫弁大坂)ノ海圖ニ依レハ北緯三十四度三十五分十二秒ニシテ「グリーンウイツ」ヨリ東經百三十五度二十七分四十四秒ニ當ル
一燈臺ハ木製白色ニシテ其形六角ナリ但シ基礎ヨリ燈籠ノ中央マテ高サ三丈二尺五寸ナリ右燈臺ハ滿潮ノ時水面ヨリ高サ二丈一尺ノ圓形基石上ニ設立ス
一該燈ハ海面二百七十度照暉シ一方ハ南十四度三十分西又一方ハ南七十五度三十分

東ノ方位ニ於テ蔽陰ス但シ眞方位ナリ
一燈火ハ水面ヨリ高サ五丈三尺五寸ニシテ光線凡十里(海里)ニ達ス

○(第百五十八) 十年九月十日

甲第百二十八号

長崎縣下肥前國島原港字七ツ瀬ニ於テ工部省之允可ヲ受テ燈明臺ヲ建築シ既ニ本月一日ヨリ點燈候ニ付右建築費償却之爲メ入港之諸船ヨリ左ノ割合ヲ以テ帆別錢取立候段同縣ヨリ通報有之候條航海者ニ爲心得此旨布達候事

一三反帆ヨリ六反帆迄壹艘ニ付 金 三 錢

一七反帆ヨリ九反帆迄同 同 五 錢

一十反帆ヨリ十五反帆迄壹反ニ付 同 貳 錢

一十六反帆以上同 同貳錢五厘

右

○(第百五十九) 十年十月十五日

筆記

沿海 各區々戶長

新瀉縣下佐渡國雜太郡二見港臺ヶ島海岸ニ工部省許可ヲ得自費ヲ以燈臺建築本年五月ヨリ點燈候就テハ右建築ニ係ル費金爲償却該港入津ノ諸船ヨリ左ニ記載ノ通帆別錢取立候旨該縣ヨリ通報有之候條航海者へ此旨布達候事

入港船舶ヨリ點燈費取立金額

一貳百石以上 帆幅壹反ニ付四厘 兩幅ニ反ヲ除ク

一百石以上貳百石迄 右同斷 三厘 右同斷

一五十石以上 壹艘ニ付 壹錢五厘

一貳拾石以上 壹艘ニ付 壹錢

○(第百六十) 十年十月卅一日

甲第百六拾号

青森縣下青森藩ニ竿燈ヲ再築シ來ル十一月一日ヨリ點火爲致以來右ニ係ル費用トシテ入港船舶百石ニ付金貳拾錢宛取立候段掛合有之候條此旨航海者へ布達候事

○(第百六十一) 十年十一月廿二日

乙第八十九号

各區々戶長

曾テ相達置候輝漁船並海川小廻船等官員出張検査相廢シ候條向後造船檢印出願之節ハ板札へ檢印烙記相渡候ニ付所轄戶長ニ於テ舳梁ヨリ舳梁マテ間敷検査ノ上願書面間敷へ小印ヲ捺シ差出可申尤モ印鑑ハ舳梁適宜看易キ所へ釘着致シ候様區内へ可相達此旨相達候事

○(第百六十二) 十年十一月廿六日

甲第百八十三号

石川縣下越中國射水郡伏木港ニ於テ燈臺ヲ建設シ既ニ本月十日夜ヨリ點燈候ニ付該港出入ノ船舶ヨリ積石ニ應シ左ノ通帆別錢取立候段同縣ヨリ通報有之候條航海者へ

此旨布達候事

- 一五拾石以上
- 一五拾石以下
- 一西洋形船

- 壹石ニ付金三厘ツ、
- 壹艘ニ付金拾錢ツ、
- 壹噸ニ付金貳錢ツ、

○(第百六十三) 十一年六月廿七日
甲第百五十一号

今般私費ヲ以テ土佐國第十大區五小區竜村崎山ノ岬端ニ一個ノ燈臺ヲ設置シ去ル三月四日ヨリ點燈候ニ付該港出入船舶ヨリ左ノ通取立度旨願出聞屆候旨該縣ヨリ通知有之候條此旨布達候事

- 一五拾石積以內
 - 一五拾石以上貳百石以內
 - 一貳百石以上五百石以內
 - 一五百石以上
 - 一材木竹等物
- 一艘ニ付金貳錢
 - 拾石ニ付金七厘
 - 拾石ニ付金五厘
 - 拾石ニ付金三厘五毛
 - 一床ニ付金貳錢

○(第百六十四) 十一年十一月廿日
甲第百三十一号

長崎縣壹岐國勝本港之儀今般民費鑿浚スルヲ以テ右消費ノ爲メ西洋形船ヲ除ク之外入港之船舶ヨリ別紙之通碇泊錢當年十一月ヨリ向二十七ヶ年間取立候儀願出聞

屆置候旨該縣ヨリ申越候條爲心得此旨布達候事
土第二十号

當縣壹岐國勝本港之儀今般民費鑿浚スルヲ以テ右消費ノ爲メ西洋形船除ノ外入港ノ船舶ヨリ左之通碇泊錢當年十一月ヨリ向貳拾七ヶ年四ヶ月間取立之儀聞屆候條御治下船主之者共へ御達ニ相成度此段及御掛合候也
明治十一年十一月十一日

長崎縣令内海忠勝

福岡縣令渡邊清殿

碇泊錢取立割合

- 一五拾石以下壹艘ニ付
 - 一五拾石以上百石迄全
 - 一百石以上貳百石迄全
 - 一貳百石以上三百石迄全
 - 以上
- 金五錢
 - 金拾錢
 - 金拾五錢
 - 金貳拾錢

○(第百六十五) 十二年二月十七日
乙第三十二号

郡 區

兵庫縣下攝津國神戸及ヒ兵庫兩港へ出入ノ蒸氣船及ヒ西洋形帆前船ノ内所有ノモノ(右兩港間ニ支店等無之者)港内取締ノ爲メ至急ノ達ヲ要スル節等差支ノ難有之候間以來ハ右兩港ノ間ニ名代人ヲ設ケ置キ至急ノ達等ハ其名代人へ相達シ名代人ヨリ傳

違為致度ニ付至急名代人取極メ人名届出候様該縣ヨリ依頼有之候條右船所有之者共
へ可相達此旨相達候事

○(第百六十六) 十二年六月九日

番外

沿海郡區

日本形船百石積以下ノ船舶(大小漁船ヲ除ク)ニハ從前舷燈之制限無之處往々略製ノ
舷燈ヲ用ユルカ爲メ却テ衝突ノ患害ヲ醸生候哉ノ趣相聞右ハ百石積(大小漁船ヲ除
ク)以下ノ船舶タリト雖モ舷燈ヲ用ユルモ合規ノ品ニ無之テハ危險不勘候條心得
違ヒ無之様各船主へ懇篤諭達可致此旨相達候事

○(第百六十七) 十二年六月十日

番外

沿海郡區

本年太政官第十九号公布西洋形商船免狀改正相成候ニ付自今其免狀請願スル者ハ左
記ノ件名書相添出願可爲致且從前ノ免狀所持ノ者モ同様ノ手續ヲ以テ免狀書換出願
爲致可申此旨相達候事

但左ノ件名中詳カナリサルモノハ其項下ニ不詳ト書記セシムベシ

一船 名

漢字ヲ以テスルモノハ
仮名ヲ附スベシ

一信号符字

外國人ヨリ買受ケタルモ
及ヒ新造ノ片ハ除ク

一定 繫 港

何府縣何國何郡何港

一本船管轄廳名

何府縣廳

一船ノ種類

蒸氣又ハ
風帆

一甲板ノ層數

何層

一船體ノ材料

鐵又ハ木

一橋ノ數

何本

一船骨ノ材料

鐵又ハ木

一綱具ノ裝置

バルク、フリツク、
スクーテル等

一船尾ノ形狀

方形 又ハ
田形

一製造地名

何國何地造船所等

一製造年月

何年何月

一造船工長ノ氏名

何國何地何某

一船ノ原名

最初製造シタルモ但外國人ヨリ買受ケタルモノハ其外
國文字ヲモ併セテ記スベシ

一 舊船免狀ノ番号

外國人ヨリ買受ケタル片
及ヒ新造ノ片ハ除ク

一 船主若クハ會社ノ名

船主ハ二人以上ナルモ其總代一人ノ名及ヒ其本貫
宿所ヲ記シ又會社ハ其社所在ノ地名ヲ記スベシ

一 一ヶ年ノ船稅

何圓

一 量噸甲板上最大ノ長

曲尺 船首ノ内板ヨリ船尾ノ内板迄○量噸甲板トハ三層以
上ノ船ニ於テハ最下ノ甲板ヨリ第二層目ニ在ルモノ
又二層以下ノ船ニ於テハ上甲板ヲ以テ量噸甲板トス

一 内法リ最大ノ幅

曲尺 船幅最モ濶大ナル部ニ於ケル内板
ヨリ内板迄

一 艙室ニ於テ量噸甲板ヨリ船底中央ノ内板ニ至ル深

曲尺

一 量噸甲板下部ノ噸數

何噸

一 量噸甲板上諸部ノ噸數(若シアレハ)
即チ甲板間ノ場所

何噸

○ 三層以上ノ船ニ於テハ上甲板ト
量噸甲板ノ間ノ場所但シ二層以
下ノ船ニ於テハ甲板間ノ場所ヲ
有セズ

船尾室

何噸

○ 上甲板ニ於ケル船尾ノ
部ニ於テ設タルモノ

圓室

何噸

○ 上甲板中央線(船首ヨリ船尾ニ至ル中央線)若クハ中央
線ノ近傍ニ設タルモノニシテ其外圍ヲ回歩シ得ルモノ

其他ノ場所若シアレバ)

上甲板ニ於ケル船首室ハ舷室厨室浴室
等ノ如ク上ニ掲ケザルモノ

一 總噸數

何噸

一 内除去スヘキ噸數

何噸

一 機關室ノ噸數

何噸

一 乘組人常用室ノ噸數

何噸

一 登簿噸數何噸

蒸氣船ニ於テハ機關室ノ噸數及乘組人常用室ノ噸數ヲ總噸數ヨ
リ除去シ其殘數ヲ以テ登簿噸數トナシ風帆船ニ於テハ總噸數ヨ
リ乘組人常用室ノ噸數ヲ除去シ其殘數ヲ以テ登簿噸數トナス

一 機關ノ數

一箇又ハ
二箇

一箇ノ肘手ニ因リ車軸ノ運轉ヲ起スモノヲ一箇ノ機關ト稱
シ二箇ノ肘手ニ因リ車軸ノ運轉ヲ起スモノヲ二箇ノ機關ト稱
稱ス以下之ニ準ズ

一 公稱馬力

何馬力

○(第百六十八) 十二年六月十六日
番外

大阪港へ出入之蒸氣船及西洋形帆前船之内各府縣下ニ所有主有之モノ多分ニ候處港
内取締之爲メ至急之達方等ヲ要スル節差支之廉不勘ニ付以來同港ニ於テ代理人ヲ取
極其人各早々同府へ可届出旨申越來候條各所有主へ達方可取計此旨相達候事

○(第百六十九) 十二年六月廿四日

番外

沿海郡區

愛媛縣下伊豫國喜多郡黒ノ田村長濱港修繕維持資金ノ爲本年六月ヨリ滿十ヶ年間入港ノ船舶ヨリ左ノ通取立候旨同縣ヨリ申越來候條此旨布達候事

入港錢取立規則

一漁業船

但壹ヶ年壹艘ニ付

金貳十錢

一日本形海川小廻商船五十石積未滿

但壹艘ニ付

金五錢

一全上商船五十石積以上貳百石積未滿

但拾石積ニ付

金壹錢

一全上商船貳百石積以上五百石積未滿

但拾石積ニ付

金九厘

一全上商船五百石積以上

但拾石積ニ付

金八厘

一西洋形商船

但壹噸ニ付

金貳錢

○(第百七十) 十二年六月廿四日

乙第百十号

郡

區

本人大政官第九号公布西洋形商船海員雇入雇止規則ニ據リ雇入之公認ヲ願出ルルハ明治九年第八十二号公布西洋形商船々長以下試驗免狀規則前款第八條ニ遵ヒ船長運轉手及機關手之免狀ヲ檢査シ檢査証書ヲ交付可致且雇入雇止証書並ニ檢査証書ハ右町村役場等ヨリ發出之順次ニ隨ヒ其番号ヲ記入之義ト可相心得此旨相達候事

○(第百七十一) 十二年七月二十日

乙第百四十四号(戶)

郡

區

本年第九号公布西洋形商船海員雇入雇止証書福岡區博多洲崎町並ニ三潯郡若津町ノ兩所役場ニ於テ發行爲致候條此旨相達候事

○(第百七十二) 十三年一月十六日

乙第十二号(戶)

郡

區

客年乙第百四十四号ヲ以西洋形商船海員雇入雇止証書發行之義相達置候處尙少數之人員雇入便宜之爲メ更ニ雇入証書發行右用紙ハ從前相達候役場ニ於テ左之定價ヲ以テ拂下候條此旨相達候事

海員雇入証書用紙定價 貳錢

○(第百七十三) 十二年七月廿二日

乙第百三十九号

郡

區

各會社及人民所持ノ船舶取調ノ義本年乙第七十八号及ヒ丙第五十号ヲ以テ相達置候處自今左ノ通り改正候旨其筋ヨリ達有之候條毎年二月八月兩月一日ノ現數別紙雛形

第十五款 船舶

ニ倣ヒ取調三月九月兩度ニ差出ヘク此旨相達候事
(別紙)

- 一 毎年二月八月ノ兩月一日調ヲ以テ四月十月ノ兩度ニ差出スヘシ但其時實用ニ差支ナキ船ノミヲ掲クベシ
- 一 河海沼湖ヲ論セス運漕ノ用ニ適スル船ハ悉皆掲クベシ
- 一 確タル定繫地無之カ或ハ散在セル村落ニ屬スル分ハ沿岸凡ソ三四里毎ニ取纏メ其首立タル地名ヲ掲クヘシ
- 一 河海沼湖ニ在テ耕作一途ニ用ユル免稅船ノ如キモ有事ノ際物品運漕ニ差支ナキ者ハ之ヲ掲クベシ
- 一 五十石未満ノ船ハ船數ノミヲ調其石數間數ハ掲グルニ及ハズ
- 一 表中區畫ノ内其種類ノ船舶無之分ハ雛形ノ如ク○ヲ記スベシ (△印ヲ付スハ朱字)

形 洋 西		船 名	噸 數	馬 力	所持人姓名	定繫地名
走 帆	蒸 氣					
全	全	△何々	△幾	何	△幾	何
全	全	全	全	何	△住所何某	△何地
全	全	全	全	全	全	全

形 本 日						定繫地名	船 數	惣 石 數
五 百 石 以 上	二 百 石 以 上	五 拾 石 以 上	五 拾 石 未 滿	二 百 石 以 上	五 十 石 未 滿			
△	△	△	△	△	△	何 國 郡 村 地	何	何
○	○	○	○	○	○	何 國 郡 村 地	何	何

○(第百七十四) 十二年八月三十日
甲第百廿五号

兵庫縣神戸港出入蒸氣船吹笛鳴鐘規則ノ儀ニ付豫テ布達候次第モ候處今般該規則左
之通改定候旨同縣ヨリ通知有之候ニ付此旨布達候事
神戸港出入蒸氣船吹笛規則

- 第一條 出船前及入船投錨ノ時トモ吹笛ハ一回ニ限ルヘキ事
- 第二條 吹笛ハ壹分時間ニ不可過事
- 第三條 進行中合圖ヲナスノ外不時吹笛不相成候事

○(第百七十五) 十二年九月廿日

乙第六十六号(戶)

沿海郡區

北海道出產物積載ノ船舶暴風等ノ災難ニ罹リ當縣下へ入港スルモノハ明治十年第五十六号公布及別紙ノ順序並書式ニ照準出港稅徵収納附可致此旨相達候事
(別紙)

明治十年第五十六号公布北海道諸物產出港稅則並ニ各港船政所規則第十一條ニ依リ出港稅徵収ノ順序並書式

第一

一北海道諸物產積載ノ船舶ハ五十六号公布出港稅則第五條ニ附與セシ檢印帳ニ記載セル產物ノ個數斤量等ニ照シテ現存セル物品ノ税金徵収ノ事

第二

一出港稅則第七條ニ據リ直隸許可ノ船舶產物積取場ニ至リ前納濟目錄ノ外產物積載ルモノハ全第五條ノ手續ニ據リ檢印帳ヲ附與シ彙ニ納稅セシ船政所へ回漕セシムルト雖モ其中途暴風等ノ難ニ罹リ府縣下へ入船スルモノハ税金徵収ノ際前納目錄ノ斤量ニ不拘積取場ニ於テ附與セシ檢印帳ノ積載高ニ照シ現存スルモノヲ以テ更ニ出港稅納目錄ヲ調製セシメ税金徵収ノ事

但此場合ニ於テハ北海道ニ於テ前納濟ノ税金ハ下戻シ請取証ヲ取り前納目錄檢印帳及入船ノ顛末書等一同ニ送致スルモノトス若更ニ徵収セシ税金不足シテ前納金額下戻シ難キハ檢印帳ニ照シ税金ノミヲ徵収シ前納ノ金額難下戻事故ヲ前納目錄へ登記捺印シテ船長へ下附ノ事

十三年乙百廿六號ヲ以但書更正(第百七十六)參照

第三

一出港稅納目錄ハ貳通ヲ製シ壹通ハ船長へ下附シ一通ハ當使函館支廳へ送致ノ事

第四

一出港稅ヲ課スル產物ノ斤量ハ個造莖繩等ノ量目ハ引去リ入目ト唱フモノノ類及問屋或ハ中買等ノ口錢手數料等引去ラスシテ現存ノ產物ニ付税金徵収ノ事

明治何年何月中北海道何國何郡ニ於テ積載產物出港稅納目錄

船主何府(縣)何國何郡何所何誰

船形

一船名

乘組船長

積高

何ノ誰
外人

何百何十石
何拾噸

何所第何号檢印帳

積載高

何百何十何石何斗

内何拾何石何斗何升

流沒カ又ハ繩莖量目カ

引去石

何百何十何斗何升

此譯

何郡產品位

品名

何百石

但百石ニ付

金何百圓相場

此代金何千何百何十何圓何十錢何厘

厘位ニ止ム
以下同シ

第十五款 船舶

內金何百何十圓 但百石ニ付運賃 金何十圓

引去 金何千何百圓何十錢何厘

此税金何十何圓何十何錢何厘

全上

品名 何十何石何斗 但百石ニ付 金何百何十圓相場

此代金何百何十何圓何十何錢

內金何十何圓何十錢 但百石ニ付運賃 金何十圓何十錢

引去 金何百何十何錢

此税金何圓何十何錢

全上

品名 何百何十何個 但一個ニ付 金何圓何錢相場

此石何十何石何斗

此代金何十何圓何十錢

內金何圓何十何錢 但百石ニ付運賃 金何十何圓

引去 金何十何圓何十何錢

此税金何圓何十何錢

稅合金何十何圓何十錢何厘

但代金百分ノ四

右之通上納仕候也

右册長

何縣何國何郡何所

何 / 誰 印

明治何年月

福岡縣何國何郡

何郡(區)役所御中

明治何年何月中北海道產物出港稅徵収差立証

一金何百何十圓何十錢 何九何ノ誰船外何艘出港稅徵収高

但稅納目錄何通副

內

金何錢 何國何所何誰船何九何港へ前納目錄ノ外何郡ニ於テ產物積載ニ依リ

更ニ徵収ニ付前納稅金下戻候分

但何港何号前納目錄副

引去

金何百何十圓何十錢 但何銀行爲換券何葉分

右差立候也

明治何年月日

福岡縣令何誰殿

何郡(區)長何 / 誰 印

○(第百七十六) 十三年九月廿二日

第十五款 船舶

乙第百廿六号(戶)

郡 區

北海道出產物積載ノ船舶暴風等ノ難ニ罹リ當縣下へ入船出港スルモノ納稅之節徵収方順序等客年(九月)乙第百六拾六号ヲ以相達置候處右順序ノ内第二但書左ノ通更正候條此旨相達候事

出港稅徵収順序

第 二

但此場合ニ於テハ北海道ニ於テ前納濟ノ税金ハ下戻シ請取証ヲ取り前納目錄檢印帳及ヒ入船ノ顛末書等一同ニ送致スルモノトス若更ニ可徵収税金不足シテ前納ノ金額難下戻并ハ税金徵収セス右事故ヲ前納目錄へ登記捺印シテ檢印帳ト共ニ船長へ下附ノ事

○(第百七十七) 十二年十月廿四日

番外

沿海郡區

西洋形商船ノ難破衝突等ノ災害ニ罹ルモノハ九年第八十二号公布ノ條款ニ遵ヒ該船乘組船長以下海員ニ就テ其實況ヲ推究シ夫々處分可相成ニ付其筋へ可届出等ニ候條自今右難破衝突等ノ災害ニ罹ルモノハ其船主ヨリ必ス左ノ廉々詳細取調速ニ當廳へ可届出此旨相達候事

十五年甲九十四號ヲ以難形ヲ示ス察照スル

一 汽船又ハ帆船々名
一 船長ノ本貫氏名並ニ海技免狀ノ等級

一 運轉手同斷

一 機關手同斷

一 遭難ノ年月日時分 夜陰ナラバ燈火ノ有無

一 遭難ノ場所 航海中又ハ碇泊中

一 難破ノ因由 暴風ノ爲メ或ハ暗礁ニ觸レ若クハ衝突

一 難破ノ景況 皆破或ハ沈沒若クハ大破又ハ小破

一 海員並ニ乘客死傷ノ有無

一 積荷ノ存否

○(第百七十八) 十三年二月九日

丙第十八号(戶)

郡 區

管下西洋形船舶所有主ノ人名其船名員數及ヒ買入之年月日等取調本月廿日限無遲滯可指出此旨相達候事
但今後異動有之都度々々可届出候事

○(第百七十九) 十三年七月十九日

乙第百五号

郡 區

難破船及ヒ漂流物有之節ハ其品目ヲ詳記シ直ニ縣廳へ可届出此旨相達候事

○(第百八十) 十三年九月六日

第十五款 船舶

乙第百廿一号

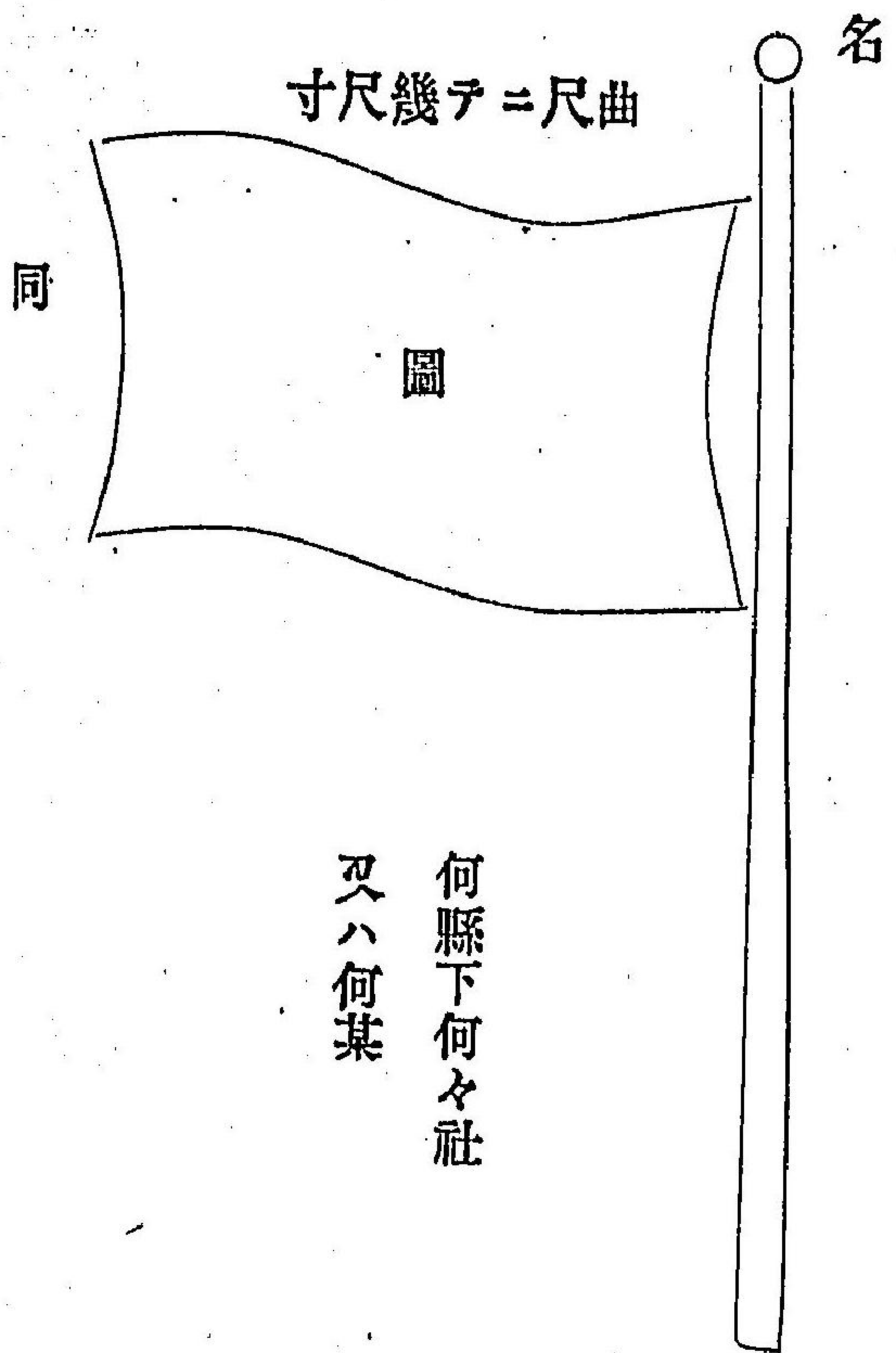
郡 區

人民所有ノ西洋形漁船ニ相用候旗章別紙雛形ニ照準取調正副三通至急可爲届出此旨
相達候事

但自今本文之船舶増減及所轄替等ニテ旗章改正又ハ廢止ノ節ハ其都度可爲届出候
事

(別紙)

十三年九月十三日付
ヲ以テ上(船)ノ字
脱漏ヲ示ス



何縣下何々社
又ハ何某

但何年何月ヨリ相用ヒ又ハ改正候事
前書之通旗章相用ヒ候此段御届仕候也

社長又ハ代理姓名又ハ

何縣下國郡村族籍

年号月日

縣 令 宛

姓

名

印

○[第百八十二] 十三年九月十三日

本年九月六日乙第百廿一号達雛形中名ノ上船ノ字脱漏候條此旨及御達候事

○[百八十二] 十三年三月十九日

番外

沿海郡區

難破ニ懼リ沈没セシ船舶ハ海底ノ淺深ト船体ノ大小ニ因リ航海上暗礁ニ等シキ妨害
有之ニ付水路誌記載ノ都合有之依テ沈没船有之候節ハ其地位狀況等取調之義其筋ヨ
リ達有之候條左之ヶ條ニ倣ヒ可届出此旨相達候事

一 船 体

日 本 形
西 洋 形

一 石 數 噸 數

一 積 荷 有 無 及 其 種 類

一 沈 没 セ シ 場 所 及 海 底 凡 幾 尋

第十五款 船舶

一 近接地方并ニ島嶼ヨリ方位及凡距離

○(第百八十三) 十三年三月廿二日

番外

沿海郡區

陸奥國西津輕郡深浦港へ私費ヲ以燈臺ヲ設置シ本年三月一日ヨリ點火ニ付該港出入船舶ヨリ左記之通取立候旨通知有之候條沿海町村へ告示可致此旨相達候事

陸奥國西津輕郡深浦港燈臺建築費消却點火費船舶ヨリ取立方法

一 積石五十石以下 壹艘ニ付金三錢

一 同五十石以上五百石迄 十石ニ付金八厘

一 同五百石以上千貳百石迄 同 七厘

一 同千貳百石以上 同 六厘

一 西洋形日本船 一噸六石七斗貳升ノ割ヲ以前書石數ニ應シ取立候積右之通點火即日ヨリ滿十七ヶ年取立候事

○(第百八十四) 十三年四月二日

番外

沿海郡區

西洋形船名之義ニ付信號符字點附其他目今詮議之次第有之候間當分改稱不聞屆旨其筋ヨリ照會致來候條今後賣買讓渡等ニ依リ船名改稱免狀書換等願出候節ハ前文之旨趣ヲ以テ願人へ示諭可致尤船名ニ變換無之免狀書換等ハ從前之通差支無之候條此旨相達候事

○(第百八十五) 十三年六月廿四日

番外

沿海郡區

愛媛縣下伊豫國新居郡新居濱浦ノ内御代島へ竿燈建築本年六月十日ヨリ點燈候ニ付該港出入ノ船舶ヨリ左記之通點燈費取立候旨同縣ヨリ通知越候條船主及船乘之者共へ可相達此旨相達候事

入港船舶ヨリ竿燈費取立金額

一 日本形積石二拾石以下壹艘ニ付 金 貳 錢

一 同貳拾石以上五拾石迄壹艘ニ付 金 三 錢

一 同五拾石以上千石迄帆壹反ニ付 金 壹 錢

一 西洋形八噸以上三拾噸迄拾石ニ付 金 五 厘

一 同三拾噸以上七拾噸迄同 金 四 厘

一 同八拾噸以上何百噸ニ至ル同 金 三 厘

但一噸ハ六石七斗二升ノ割ヲ以テ石數ニ直ス

第十六款 輸出入

現行ノ記載スヘキモノナシ

第十七款 驛遞 行旅

○(第百八十六) 十年十二月十三日

第十六款 輸出入 第十七款 驛遞

十二年百乙八十六號
 ナ以事故アルモノヲ
 除ク外遞送廢止云々
 ナホス(第百八十七號)
 發照

乙第九拾七号

各區々戸長

犯罪人處刑濟其他遞送ヲ以テ原籍引渡ノ際途中各宿村ニ於テ休泊賄費ノ外人力車或ハ駕籠ヲ以テ遞送候者往々有之夫レガ爲メ旅費相嵩返消之場合ニ至リ父兄親族ノ者難澁不勘趣ニ付以來仮令本人望ニ候共病者ノ外ハ説諭ヲ加ヘ可成人力車駕籠等不差出様右關係之者共ヘ無遺漏可相達此旨相達候事

○(第百八十七) 十二年十月廿五日

乙第百八十六号(戸)

郡 區

一昨十年(十二月)第九十五号公達ヲ以犯罪決放及脱籍無産之輩縱放シ難キ(瘋癲白痴等)事故アルモノヲ除クノ外遞送被廢候就テハ去ル已年四月以前脱籍之者等依願復歸セシメタルモノハ途中練替費悉皆原籍ヨリ取立償却候儀ト可相心得此旨相達候事

○(第百八十八) 十一年一月十四日

番外

通運會社

遞送人取扱方針ニ費用受下等各分社區々相成候テハ不纏リ之儀有之趣ヲ以テ一ヶ國ヘ壹人宛惣代人ヲ置諸車爲取扱度旨願出先般及指令置候次第モ有之遞送人取扱心得書別紙之通相定メ候條當明治十一年ヨリ右ヶ條ニ據リ不都合無之様注意可致此旨相達候事
 (別紙)

遞送人取扱心得

(△ヲ付ス行及、ヲ付スモノハ朱書)

第一條

一遞送人ハ總テ各府縣或ハ警察署等ノ添書アルモノニ限り遞送スルモノトス

第二條

一遞送初發(初發トハ縣廳ヨリ遞送スルモノハ福岡通運分社其他假令ハ熊本縣ヨリ山口縣ヘ遞送スルカ如キハ原ノ町等ヲ云)ノ宿驛ニ於テハ左ノ雛形ノ用紙兼テ各驛ヘ下渡置候條記入ノ上順次宿驛ヘ送り管内終尾ノ驛(終尾ノ驛トハ假令ハ縣廳ヨリ山口縣下ヘ遞送スルモノハ大里驛等之レナリ)ニ至リ右届書帶封イタシ郵便ヲ以テ該驛到着ノ日ヨリ三日以内ニ必ス縣廳(官費ハ第六課自費ハ第一課)ヘ宛テ可差出右届書不差出モノハ後日受取方申立候共一切不相渡モノトス

官、費用治何年月何日何々縣ヨリ遞送人護送費并ニ食費其他練替御届
 自

△何縣何國何大區何小區何郡何村
 △士族平民 △何ノ誰

練替年月日	護送人并ニ不兼番賃	合	計	食費其他本人ニ係ル入費	合	計	驛名
何年何月何日	金	何	程金	何	程	何々	驛
通	計						

明治何年何月何日

終尾何々驛

何ノ誰

第三條

一各通運分社ヨリ縣廳へ届出候郵便税ハ該社ニ於テ操替置每三ヶ月ツ、取纏メ翌月五日ヲ限リ(假令ハ一月ヨリ三月迄分ナシハ四月五日ヲ云フ以下右ニ準ス)明細仕譯書ヲ以テ第一課ノ証印ヲ受ケ受取方第六課へ申立ツヘシ

第四條

一各驛ニ於テ操替金官費ハ每三ヶ月括ヲ以テ翌月五日限リ決算シ且自費ノ分ハ六ヶ月括ヲ以テ毎年一月七月兩度ニ結算ノ上下戻候條兼テ協議ノ上管内三ヶ國へ各一人宛通運分社惣代人ヲ設ケ右惣代人ヨリ取纏メ受取方申立ツルモノトス

第五條

一惣代人ニ於テ遞送人護送入費受取方ノ手續ハ先ツ第六條ニ出入處ノ明細書ヲ各通運分社ヨリ取纏置該明細書ヲ總計シタル受取目錄左ノ雛形之通り相認メ該明細書相添受取方第四條ノ例ニ依リ申立ツルモノトス

明治何年何月ヨリ何月迄遞送人護送入費受取目錄

一金何拾何圓何拾錢

但別紙明細書何通添

内譯

何縣下 何ノ誰 分

金何圓何拾錢

右正ニ奉受取候也

何國通運分社惣代

何々驛通運分社

何ノ誰 印

年号月日

第六條

一各通運分社ニ於テハ左ノ雛形通り護送費并不寐番費明細書用紙兼テ相渡置候ニ付第二條屆書ノ例ニ倣ヒ初發ノ驛ヨリ順次記入終尾ノ驛ヨリ到着ノ日ヨリ三日以内ニ惣代人へ宛テ差遣スモノトス

護送費并ニ不寐番費明細書

△何縣何國何大區何小區何郡何村

△士族平民

△何

誰

合金何程

内譯

名	稱	人	員	里	數	數	一	一	一	人	ノ	賃	通	計	繼	立	驛	名	
差	添	人	何	何	里	何	里	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
不	寐	番	人	何	何	何	日	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何

第十七款 驛遞

第七條

一 惣代人ニ於テ遞送人食費其本人他ニ係ル費用受取方手續ハ第八條ニ出ス處ノ明細書ヲ各通運分社ヨリ取纏メ置該明細書ヲ總計シタル受取目錄左ノ雛形ノ通相認メ右明細書相添受取方第四條ノ例ニ據リ申立ツルモノトス

明治何年何月ヨリ何月迄官(自)費遞送人食費其他本人ニ係ル費用受取目錄

一金何圓何拾錢

但別紙明細書何通添

内 譯

金何圓何拾錢

右正ニ奉受取候也

何 縣 下

何 / 誰 分

何國通運分社總代

何々驛通運分社

何 / 誰 印

年号月日

第八條

一 各通運分社ニ於テハ本人ニ係ル費用明細書ハ兼テ左ノ雛形ノ用紙相渡置候ニ付官費ノ分ハ甲乙二葉ニ區分相認メ自費ノ分ハ丙印ノ通一葉ニ認メ第二條屆書ノ手續ニ倣ヒ初發ノ驛ヨリ順次記入終尾ノ驛ヨリ到着ノ日ヨリ三日以内ニ惣代人へ宛テ差遣スモノトス

甲、官費遞送人食費其他明細書

△何縣何國何大區何小區

△何郡何村

△士族平民 △何 / 誰

合金何程

内 譯

何年何月何日何縣遞出

費 目	數	量	通 計	繼 立 驛 名
脂 泊	幾	泊	金、何、程	何年何月何日何々驛
全 上 晝	幾	晝		
服 藥	何	程		
草 鞋	何	程		

乙、遞送人官費諸備給明細書

△何縣何國何大區何小區

△何郡何村

何年何月何日何縣遞出

△士族平民 △何

誰

第十七款 驛遞